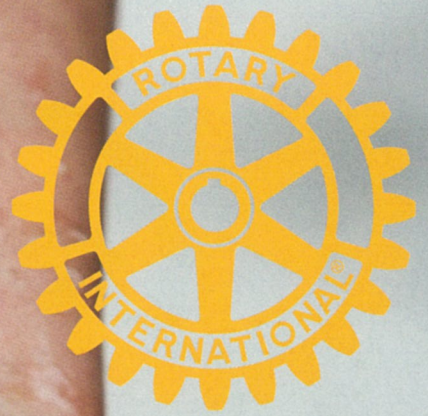


THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

3

2017
MARCH
VOL.65 NO.3



過去から今、そして未来へ
ローターアクター

心は共に
Fukushima, JAPAN



アトランタで 一緒に祝おう

私はこれまで10回ほど国際大会に参加しています。初回参加は父に随行した1977年のサンフランシスコ大会でした。国際大会の魅力は、世界中のロータリアンとすぐに友人になれること、素晴らしいエンターテインメントや興味深い分科会、地元の人たちのホスピタリティなど枚挙にいとまがありません。アトランタ大会では、財団100周年行事や米国南部の文化を体験することを楽しみにしています。1度参加すると、その楽しさや意義深さがきつと理解できる国際大会、皆さんもぜひご参加ください。



東京西ロータリークラブ（第2750地区）
矢島 幹也

大会へのご登録は
riconvention.org/jaから

Rotary



ロータリー国際大会
米国ジョージア州・アトランタ
2017年6月10日～14日

多様性が私たちの強み

親愛なるロータリアンの皆さん、40 年前、カリフォルニア州デュアルテ・ロータリークラブ（RC）は、国際ロータリー（RI）の定款に反して 3 人の女性の入会を認めました。その結果、RI は同クラブの加盟を終結しました。

しかし、会員たちはこれに屈することなく例会を続けました。ロータリーの徽章の上に「X」をつけた新しいバッジを作り、デュアルテ元 RC として、女性がロータリアンとして奉仕する権利のために闘い続けました。その 10 年後、RI に再加盟したデュアルテ RC から、ロータリー初の女性クラブ会長としてシルビア・ウィットロック氏が会長エレクト研修セミナー（PETS）に参加しました。ほどなくして、1989 年、規定審議会は男性だけの入会資格条件を永久に削除しました。

今日、ロータリークラブには 24 万人以上の女性会員が所属し、かつてないほどに強い組織となっています。私たちは、自らの地域社会に奉仕する 3 万 5,000 を超えるクラブに所属している世界中のほぼすべての国からの男性会員と女性会員です。クラブレベルにおいて、ロータリーはあらゆる種類の経歴、年齢、文化、職業の男性と女性を必要としています。国際レベルでは、世界中のあらゆる地域、国、町でクラブを必要としています。クラブが地域社会を反映していればいるほど、地域社会により良く奉仕できます。多様性はロータリーの強みです。

ロータリーに女性会員を迎えるという考えになぜそんなにかたくなに反対したのか——今となっては、私たちの大半にとって想像しがたいことです。振り返ってみると、その反対は、ただ単に変化することへの抵抗にすぎなかったのだと思います。ロータリアンたちは当時のロータリーのあり方を信奉していたために、ほかのあり方など想像もつかなかったのです。

今でも、私たちのロータリーに対する情熱は少しも色あせることはありません。私たちはロータリーで自分たちが育む友情や絆、そして人類に奉仕するためにロータリーが私たちに与えてくれる力量を、心から大切に思っています。自らの人生にとっても、世界にとっても、ロータリーには非常に大きな価値があると信じています。また、ロータリーが成長し続けるためには、私たちが奉仕するこの世界をありのままに受け入れなければならないこと——その多様性、その多種多様なあり方、そして変わり続ける奉仕のニーズを受け入れなければならないことを、これまで以上に実感しています。

今日のロータリアンは 40 年前のデュアルテ RC に恩義があります。このクラブの会員たちの強固な意志、不屈の精神、不変の善意が、「人類に奉仕するロータリー」という今日の私たちの土台を築いたのです。



John F. Germ
2016-17 年度 国際ロータリー会長



ジョン F. ジャーム RI 会長の講演とニュースは www.rotary.org/office-president から。

3月は水と衛生月間です
3月13～19日は世界ローターアクト週間です

- | | |
|---|--|
| <p>3 RI 会長メッセージ
多様性が私たちの強み 
RI 会長 ジョン F. ジャーム</p> <hr/> <p>14 水と衛生
勝浦 RC 関 一憲 / 松戸西 RC 山本 衛 /
猪苗代 RC 中村 岳嗣</p> <hr/> <p>18 心は共に
東日本大震災
Fukushima, JAPAN
写真家・ロータリー平和フェロー Allison Kwesell</p> <hr/> <p>23 ロータリー衛星クラブがロータリークラブに
衛星クラブの不思議な力
八戸中央 RC 中村 勉</p> <hr/> <p>24 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 3月号から</p> <hr/> <p>26 ロータリー財団100周年を祝う
ラオスポリオミッション
第2650地区ガバナー 刀根莊兵衛</p> <hr/> <p>28 視点 ガバナーのページ
第2770地区 浅水 尚伸 / 第2790地区 青木 貞雄
第2800地区 長谷川憲治 / 第2820地区 白戸 伸久
第2830地区 長嶺 康廣 / 第2840地区 豊川 一男
第2580地区 上山 昭治 / 第2590地区 高良 明</p> <hr/> <p>6 ■ロータリーとは
43 ■パズルdeロータリー
44 ■エバンストン便り
44 ■管理委員長の思い 
45 ■「パズルdeロータリー」(12月号)の答えと解説
46 ■お知らせ
新クラブ・新 RAC・2017-18年度版ロータリー手帳のご案内・
地区別クラブ数/会員数一覧表・『友』4月号主要記事予定
47 ■日本ロータリー分布図
47 ■奥付</p> | <p>7 特集
過去から今、そして未来へ
ローターアクター</p> <hr/> <p>8 ローターアクト いま
第2560地区 / 第2590地区 / 珠洲 RAC /
高知西 RAC / 川越 RAC / 第2520地区 /
第2800地区 / 第2640地区 / 第2700地区 /
第2680地区 / 第2510地区 / 第2710地区 /
第2650地区 / 堺 RAC / 第2660地区 /
名寄 RAC / 松本 RAC</p> <hr/> <p>12 ローターアクト むかし
有田 RAC / 八幡 RAC / 松山 RAC /
水俣 RAC / 東京品川 RAC / 高岡西 RAC /
井原 RAC / 東京立川 RAC / 岐阜西 RAC</p> <hr/> <p>32 2017-18年度国際ロータリー会長
イアン・ライズリー 
SERIOUS FUN
THE ROTARIAN 3月号から</p> <hr/> <p>36 ロータリー:変化をもたらす
2017年 国際協議会リポート</p> <hr/> <p>40 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ②
米山がひらく未来、平和への道
札幌幌南 RC 羽部 大仁
米山学友 李 英愛</p> <hr/> <p>42 ようこそ Rotary
一人、一本の木を植えましょう</p> |
|---|--|

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp

© Allison Kwesell

P18～22 2011年11月26日、福島市：放課後、一人の高校生がバッティングをしています。
ロータリー平和フェローのAllison Kwesellはファインダーを通してFukushimaを見つめてきました。

ロータリーの友 委員会

委員長 清水 良夫 (横浜)
副委員長 片山 主水 (名古屋東南)
R I 理事 斎藤 直美 (豊田)
R I 理事 石黒 慶一 (鶴岡西)

特別顧問 神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)

顧問 井原 實 (さいたま新都心)
田中 賢三 (茅ヶ崎)
東 良輝 (宇部西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)

地区 代表委員

2500 福地 博行 (北見)
2510 松原 良次 (札幌南)
2520 熊谷 雅也 (大船渡西)
2530 白岩 良子 (三春)
2540 佐野 公彦 (秋田北)
2550 真尾 進一 (足利わたらせ)
2560 杉本 俊夫 (長岡東)
2570 古屋 一生 (熊谷西)
2770 伊藤 悟 (大宮シティ)
2790 金井 淳 (岡田コスモポリタン)
2800 林 政俊 (山形)
2820 関根 一彦 (古河中央)

2830 米内 安芸 (八戸南)
2840 板垣 忍 (前橋)
2580 林 茂男 (東京ベイ)
2590 小黒 久男 (川崎西)
2600 西堀 恒司 (松本)
2610 川合 声一 (南砺)
2620 西貝 誠一 (清水中央)
2630 清水 幸平 (高山中央)
2750 井上 直行 (東京町田サルビア)
2760 尾本 和弘 (名古屋東南)
2780 井島 誠行 (小田原中)
2640 寺崎 勝彦 (堺)

2650 浅野 一裕 (旧ロータリークラブ2650)
2660 一瓢 秀次 (大阪北)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 佐茂 省治 (尼崎中)
2690 岡田 端 (堺港)
2700 坂井 圭子 (甘木)
2710 澁谷 紀子 (広島中央)
2720 赤川 治之 (大分中央)
2730 祝迫 哲哉 (顕鏡)
2740 阿部 芳男 (長崎北)
編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,263、会員総数1,227,217人（2016年11月30日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,263、会員数89,025人（2016年12月末現在）となっています。

2016 - 17 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

ROTARY SERVING
HUMANITY

ロータリーの目的

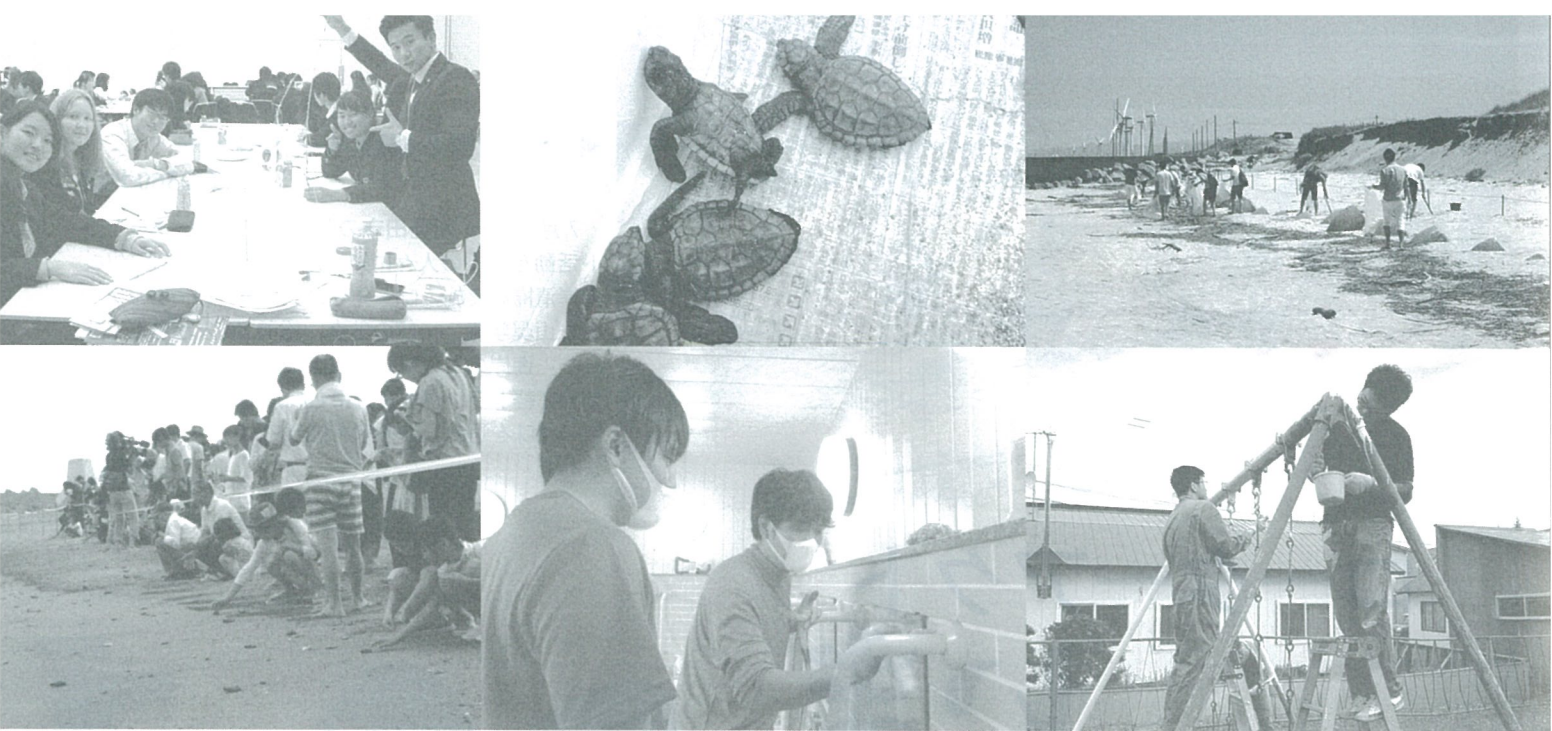
ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

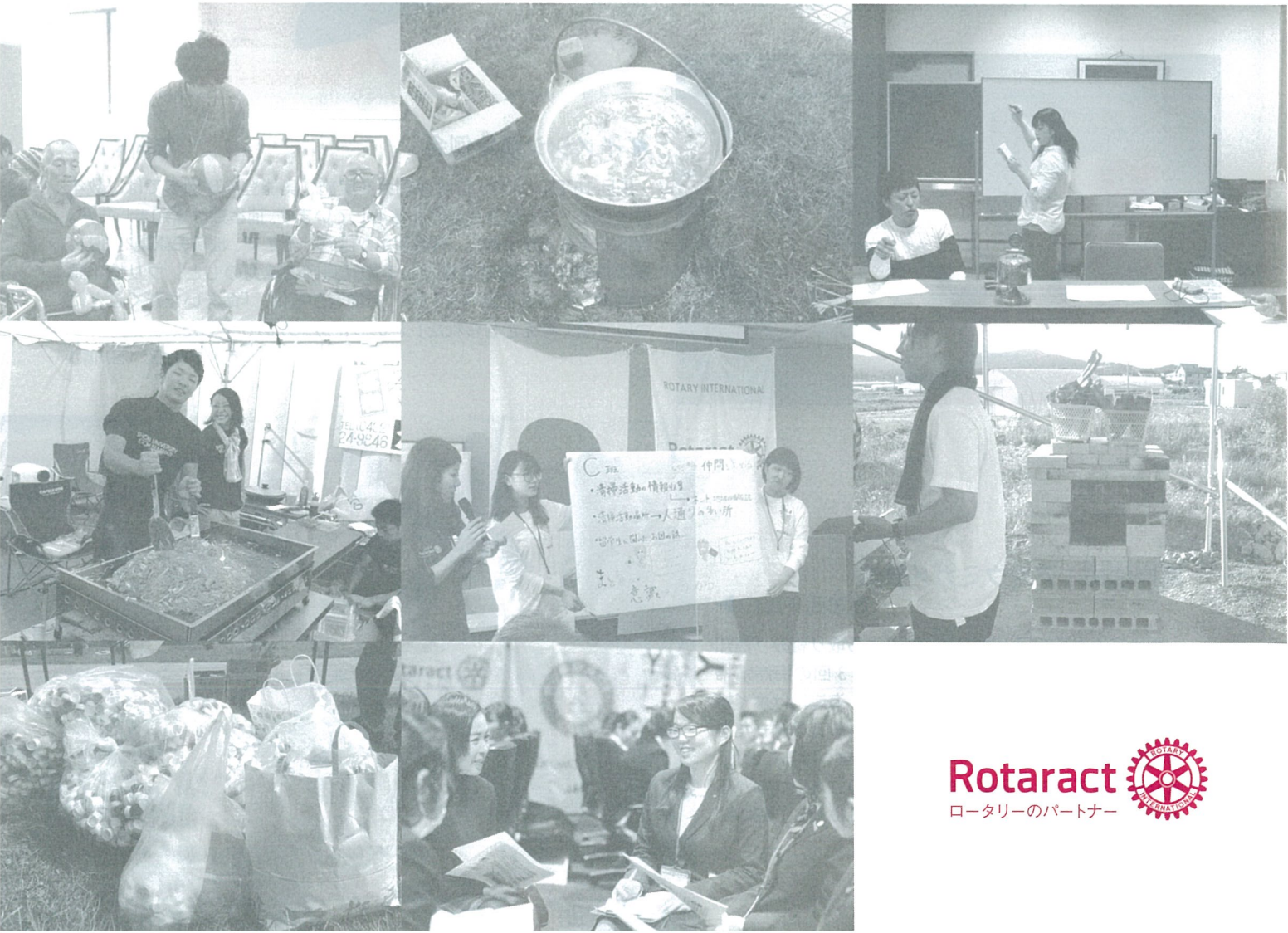
言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



過去から今、そして未来へ ローターアクター

日本で最初に結成されたローターアクトクラブ（RAC）は、1968年6月1日結成の埼玉県・川越RACです。それから約40年、これまでのローターアクターの活動を振り返ってみると、時代とともに変わってきていることがわかります。今回は、今と昔のローターアクターたちのさまざまな取り組みを写真でご紹介します。





◀ 海岸清掃 & 懇親バーベキュー

第 2560 地区

7月24日、新発田市の藤塚浜で、ローターアクト活動を多くの人々に知ってもらうことを目的に、海岸清掃を実施。ローターアクター、ロータリアンや米山奨学生、一般の若者、総勢56人が参加しました。海岸のごみは想像以上に多く、1時間ほどの清掃で軽トラック数台分にも。清掃後は、慰労と懇親の意味を込め、海の家を借りてバーベキューをしました。
(新潟県)

ローターアクト いま

青少年交歓会でマシュマロチャレンジ 第 2590 地区 ▶

11月12日に開催された地区大会で、青少年交歓会のホストを務めました。青少年交換学生やインターアクター、米山奨学生、財団奨学生ら約200人が一堂に会し、交流を深めました。年齢や国籍もさまざまな中、多くの言葉を必要としないでコミュニケーションがはかれる「マシュマロチャレンジ」に挑戦。パスタやマシュマロなどを使って自力で立つタワーを作るゲームで、大いに盛り上がり、世界記録を上回る記録が続出。今後のロータリー学友の連携にもつながる活動となりました。(神奈川県)



◀ イノシシ解体例会

珠洲RAC

8月16日、イノシシ解体例会を実施。奥能登の珠州市では、数年前からイノシシによる被害が増えています。捕獲数は増えましたが、解体できる人が少なく、肉の利用が課題。そこで、地域の課題を知り、解体技術を学ぶ食育事業として地元猟師の協力のもと、ウリ坊1頭を解体、その場で食べました。参加者からは、「命をいただくことについて深く考えさせられた」といった感想がありました。

(第 2610 地区 石川県)

海岸清掃・アカウミガメ放流

高知西RAC ▶

国土交通省高知河川国道事務所による取り組み「高知海岸パートナーシップ」に参加し、年3回の海岸清掃とアカウミガメの放流を行っています。海岸にはゴミ捨て以外にも流れ着くゴミも多く、ローターアクトたちは、日ごろから意識してゴミを拾う習慣をつけることが、回りまわって、この海岸をきれいにすることにつながると思わされました。
(第 2670 地区 高知県)





◀ 石巻やきそばで「なりわい支援」

川越 RAC

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市を支援するため、川越市近郊で行われる祭りや学園祭などに屋台を出し、地域グルメの石巻やきそばを販売。多くの人に食べてもらうことで、石巻やきそばの認知度を上げ、生産者から直接購入してもらう「なりわい支援」を行っています。10月15～16日に行われた川越まつりでは、2日間で用意した800食が完売し大盛況でした。

(第2570地区 埼玉県)

気仙沼 RAC サマーレク

第2520地区 ▶

9月10～11日、地区アクトの日記念事業として、宮城県気仙沼市にて、気仙沼ローターアクトクラブ主催でサマーレクリエーションを開催。虫と格闘しながらさまざまな花を植えたほか、コンクリートブロックでピザ窯をつくり、翌朝、ピザを焼いて食べ、夕方からはバーベキューで地区内の仲間と交流を深めました。毎年共に活動することで、地区内の結束を高める、大事な交流の場となっています。

(岩手県・宮城県)



◀ 東北鍋フェス

第2800地区

9月10日、東北鍋フェスを開催。山形の芋煮のほか、東北内の各地区からローターアクターが参加し、青森のせんべい汁、岩手・宮城のまめぶ汁、福島芋煮を調理してもらい、交流を深めました。また、ポリオ撲滅活動として、ワクチン代に充てられるペットボトルキャップの回収競争も行い、ワクチン65人分に相当する約130kgを集めました。ローターアクトのつながりを感じられる活動となり、有意義な交流会となりました。

(山形県)

全国統一アクトの日

第2640地区 ▶

9月11日、和歌山県の日高川交流センターで全国統一アクトの日を開催。ロータリアンやローターアクター、元ローターアクター、米山奨学生ら70人以上が参加しました。グループに分かれてカレー作りコンテストを行いました。どの班のカレーも甲乙つけがたく、代表者は何度も食べ比べて投票していました。昼食後、ディスカッションを行い、各班が趣向を凝らした発表をしました。(第2640地区 大阪府南部・和歌山県)

アクトの日とは アク(9)ト(10)にちなみ、9月10日前後の休日を中心に、日本全国でさまざまな活動が行われる日です。ローターアクターの仲間意識を高め、ローターアクトを広報することを目的としています。



◀ 青少年交流フェスタ

第 2700 地区

1 月 15 日に開催された地区主催の青少年交流フェスタの運営に参加。会場を下見し、世界の貿易を疑似体験して国際関係を学ぶ「貿易ゲーム」を実施するために勉強したり、米山奨学生たちとフレンドリーシップマーケットで販売する商品の交渉や準備、インターアクターとロータリー財団 100 周年ブースのパネル製作をしたりと、企画力やリーダーシップが求められる作業を行いました。当日は、60 人ほどのロータリーアクターがスタッフなどで参加し、フェスタの成功に貢献。全員が体験を自己の成長につなげました。

(福岡県・佐賀県・長崎県)

青少年交流会

第 2680 地区 ▶

インターアクトクラブや RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)、青少年交換などの青少年奉仕プログラムの参加者が一堂に会する機会として、地区行事「青少年交流会」をロータリーアクト中心で企画、実施。そのほか、インターアクトや RYLA、青少年交換の行事に参加したり、ロータリーアクトクラブを提唱していないロータリークラブの行事にも積極的に参加したりすることで、プログラムの壁を超えた交流を図っています。

(兵庫県)



◀ 台湾のロータリーアクターと合同例会

第 2510 地区

12 月 3 日、札幌市で台湾・第 3500 地区の新竹北区ロータリーアクトクラブと合同例会を開催。第 2510 地区では海外研修を年 1 回行っており、昨年度は台湾を訪れ、今年度も継続的な交流を盛んに行ってきました。合同例会当日は、互いの地区紹介やバナー交換を行い、日本の「ロータリーアクトの歌」を披露、台湾からは自作のクラブソングの披露がありました。互いの文化に触れ、言葉の壁をも超えた、とても和気あいあいとした例会になりました。

(北海道西部)

▼ 分区勉強会

第 2710 地区

地区活動の一つとして分区勉強会を行っています。広島と山口の分区に分け、地区内のロータリーアクター一人ひとりがロータリーアクトをしっかりと理解し、考え、行動できるようにする取り組みです。クラブ間の情報を交換し、近隣クラブとの連携を図り、クラブの発展および地区の活性化につなげることで、今後の活動をより有意義なものにしようと開催しています。

(広島県・山口県)

マカオへ海外研修 ▶

第 2650 地区

年に 1 回、海外で研修を実施。現地ロータリーアクターとの交流はもちろん、その国で取り組んでいる奉仕活動を視察し共に活動することで、地域の人々に貢献し、異文化理解を深め、今後の奉仕活動に役立てようというものです。今年度は、11 月 3～6 日にマカオへ行き、高齢者施設を訪問して、土産の贈呈や、簡単にできる日本の手遊びなどを紹介し、体験してもらいました。

(福井県・滋賀県・京都府・奈良県)





◀ チャリティーバザー

堺RAC

10月16日、毎年恒例の堺ローターアクトクラブ・チャリティーバザーを開催。開催場所は、第43回堺まつりが行われ、堺市民でにぎわうメインストリートの大小路筋。ローターアクトたちは、前日から値付け、テントの準備などを行いました。当日は晴天に恵まれ、ロータリアンの指導のもと、今年度も無事、ロータリアンから提供の品物を完売。収益金は、児童福祉施設や老人介護施設に訪問した際、有意義に使う予定です。

(第2640地区 大阪府)

▼ 献血の啓蒙活動

第2660地区

1994年から地区行事として献血の啓蒙活動を実施。大阪府では1日400ml献血約800人分が必要で、特に血液が不足する夏と冬の年2回、ローターアクトが主体となり、大阪各所で献血の呼び掛けを行っています。近年ではインターアクトやロータリアンも協力し、ロータリー家族としての活動となりました。ローターアクトをPRする好機にもなっています。

(大阪府北部)



▲ 公園でペンキ塗り

名寄RAC

15年前から、名寄市内の公園で、遊具など設備のペンキ塗りを継続して行っています。気候の影響が少ない6月上旬に実施。ロータリアンや町内会の人々と交流を深めながら、さび落とし、やすりかけ、シンナー塗り、ペンキ塗りの4つの作業を一日がかりで行っています。

(第2500地区 北海道)

穂高悠生寮の風呂掃除

松本RAC ▶

10月23日、アクトの日活動として、恒例となっている障がい者支援施設・穂高悠生寮で風呂掃除を実施。担当職員から鏡の汚れや黒カビなどを落としてほしいとの依頼があり、長年の間にたまった頑固な汚れと格闘し、きれいに掃除をしました。施設での奉仕活動、ボランティア活動を行う団体が減ってきていると聞き、ローターアクトたちは今後の支援について訪問を増やすなど、再検討する必要性を感じました。

(第2600地区 長野県)





◀ 忘れ物の傘を駅へ配置

有田RAC

国鉄資材部から忘れ物の洋傘を安く譲ってもらい、さらにロータリアンや地域の人々から不用な傘を寄付してもらい、地元・黒潮国体を前に地域内8駅へ配置して喜ばれました。(第366地区 和歌山県)
—1972年10月号—



▲ 老人ホームで肩たたき

八幡RAC

ロータリアンとともに、老人ホーム・西峰園を訪れ、備品購入費として金一封を贈り、お年寄りの肩たたきなどをして大変喜ばれました。
(第370地区 福岡県)
—1973年12月号—

ローターアクト むかし

1970年代

美容室に招待

松山RAC ▼

9月25日、松山盲学校の児童を会員の美容室に招待し、洗髪からカットまで丹念に仕上げ、児童に大変喜ばれました。

(第267地区 愛媛県)
—1979年12月号—



カーブミラー磨き

◀ 水俣RAC

交通安全に協力するため、交通量が少なく、人通りもない早朝、会員総出でカーブミラー磨きを行っています。目立たない活動ながら、その成果は多大で、会員の親睦にもつながり、続けようと全員張り切っています。(第373地区 熊本県)

—1975年7月号—



餅つきで子どもたちとふれ合い

東京品川RAC ▶

ロータリアンとともに1978年12月、聖フランシスコ子供寮を訪問、親のない子どもたちと餅つきをして楽しく過ごしました。子どもたちからはその後たくさんのお礼状が届きました。

(第258地区 東京都)
—1979年3月号—

※『ロータリーの友』バックナンバーから転載しています。地区番号表記ならびにクラブ名は当時のものです。





◀ 買い物袋を持参しよう

高岡西RAC

8月30日、創立22周年記念事業「買い物袋持参推進キャンペーン」を高岡市内の大型スーパーで実施。環境保全に関して、リサイクルや買い物袋持参などについてアンケートを取ったところ、多くの人が買い物袋持参の必要性を感じていることがわかりました。アンケートに協力した人には買い物袋をプレゼントしました。

(第2610地区 富山県)

—1999年5月号—

1990年代

▼ 録音テープを収録

井原RAC

井原市内の視覚障がい者に対して、市が毎月発行する広報「いばら」の掲載記事を録音テープに収録し、声の広報にして送り続けて丸3年、大変喜ばれています。発行から1週間以内に、夜間に5時間ほどかけて録音されるこのテープは、現在30人の障がい者宅へ届けられています。1984年8月には岡山県の「明るい県民運動賞」を受賞し、心温まる奉仕活動として多くの新聞に紹介されました。

(第269地区 岡山県)

—1984年12月号—



▲ お米一握り運動

東京立川RAC

9月1日、立川市市民会館に航空中央音楽隊を招いて「第15回チャリティ音楽会」を開催。今回は干ばつで飢えに苦しむアフリカの子どもたちを救おうと「入場料の代わりにお米を」と呼びかけ、当日は、小中学生や主婦たちが次々と米をビニール袋につめて持ち寄りました。またニュースでこの「お米一握り運動」を知った愛知、岩手、茨城からも宅配便で米が届けられました。集まった約500kgの米と善意の募金は、マザーランドアカデミーと駐日アルジェリア大使館を通じてアルジェリアに送られ、マリ、モーリタニアなどの飢餓地帯に届けられます。

(第275地区 東京都)

—1985年2月号—

1980年代

ワープロやパソコンへの理解を深める

岐阜西RAC ▶

来たるべきコンピュータピア(コンピューターによる理想社会)に対する過度の期待と恐怖を除去するため、まず会員自身がワープロやパソコンへの理解を深めることにしました。身に付けた技術や知識は岐阜市内の他のローターアクト、さらには地域社会に広め、望ましいコンピュータピア建設に奉仕しようと意欲を燃やしています。

(第263地区 岐阜県)

—1985年2月号—



スリランカの子どもたちに清潔な飲料水を

勝浦 R C 関 一憲

スリランカ北部の内陸、とりわけアヌラダプラ県とその周辺の井戸は、水質が極めて悪い。原因は農薬とされ、人体に悪影響を与える物質が流れこみ、地下水を汚染し、さまざまな病気などの元となっている。そこでクラブではグローバル補助金を利用し、水と衛生のプロジェクトを実施することに決めた。

参加クラブを募った結果、K. R. ラビンドラン元国際ロータリー会長が所属する、スリランカのコロombo・ロータリークラブ（R C）、ドイツのニュールンベルクシゲナ R C、シンガポール R C、そしてわがクラブの 4 クラブで事業を行うことになった。

2015 年 3 月、当時会長エレクトだった漆原摂子会員が現地調査に出向き、実態を把握。2016 年 2 月にプロジェクトメンバー 5 人（漆原会員、中村満会員、岩瀬文夫会員、千葉正徳会員、関一憲会員）が現地を訪問し、浄水設備を設置する村や学校について、コロombo R C の会員たちと相談するため 5 日間滞在した。気を使わないでほしいと事前に伝えてあったにもかかわらず、行く先々で盛大でとても心に染みわたる、温かい歓迎を受け、感動のあまり、同行した仲間と各地で涙を流した。

浄水設備完成までの間、現地の人々に、各地で水の大切さ、汚染水の人体への影響について教育を行い、管理組織をつくり、運営のための指導などを行った。1 l あたり 1 ルピーで水を販売し、システムの維持管理に当てる計画だ。このプロジェクトを「持続可能」なものにするためには、現地の人々の理解や資金的な裏づけは欠かせない。

2016 年 9 月、設備が完成し、竣工式^{しゅんこうしき}に出席するため、クラブを代表して漆原会員と中村会員、地区ロータリー財団委員会グローバル補助金小委員長の時田清次氏（市原中央 R C）が現地に向かった。数日間かけて、シッダールダ・マハ・ビディアラヤ学校、キリガレワ村、アバガスウェワ村、カンデラスメール村、ララバナワ学校での各竣工式に出席。今回の事業で約 1,200 世帯 6,200 人ほどに清潔な飲料水を供給できるようになった。

今回のプロジェクトの総額は、60,188 ドル（約 722 万円）。このプロジェクトを実施する過程で、遠く離れた異国の地のロータリアンや現地の人たちとの出会い、経験、気づき、学び、感動、そして命の大切さ、生きることへの懸命さなど、たくさんの得るものがあった。一人でも多くの人たちが安心して生活できる環境を得られることを心から願う。

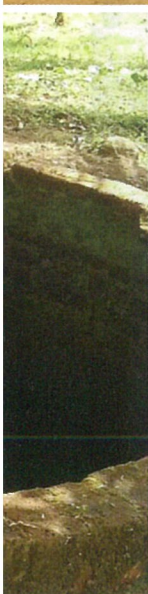
（第 2790 地区 千葉県）





The
Rotary
Foundation

GIFTED TO THE SCHOOL
A / SIDDHARTHA MAHA VIDYALAYA, PEMADUWA.
BY
THE ROTARY FOUNDATION OF ROTARY INTERNATIONAL
A PROJECT IMPLEMENTED UNDER GLOBAL GRANT NO GG 1634195
INITIATED BY THE ROTARY CLUB OF COLOMBO
TOGETHER WITH
ROTARY CLUB OF KATSUURA, JAPAN
ROTARY CLUB OF NURNBERG - SIGENA, GERMANY
ROTARY CLUB OF SINGAPORE
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790, JAPAN
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 1880, GERMANY
29th SEPTEMBER, 2016



モンゴル・ゲル地区の子どもたちに きれいな水を！

松戸西RC 山本 衛



当クラブは今年度、モンゴルのウランバートル郊外にあるバヤンズルフ地区の保育所に、井戸を寄贈した。ウランバートルでは、過去10年間で、人口が50万人から100万人と倍増し、特に、遊牧をやめ都市周辺にゲルを建てて遊牧民族が住むゲル地区が拡大を続けているが、そのような状況下で、水の供給が深刻な問題となつつある。

視察に行った保育所では上下水道がなく、飲料水が1週間に1度配給されるだけであった。子どもたちは約20分の道のりを歩いて水を運搬するが、冬は道が凍結して危険であり、夏はネズミや昆虫などを媒介して微生物などの温床となって、健康被害が出ているそうだ。

そこで、クラブでは保育施設に井戸を掘り、施設の子どもたちと近隣住民が利用できるような水源をつくることを目指した。約80の子どもと住民300～500人が自由に水を使えるようになり、危険な水の運搬から解放され、健康問題も解決された。

9月5日の寄贈式では、当クラブから会員有志が出席し、保育所の子どもたちにおもちゃも贈った。

子どもたちには水の運搬から解放されるという精神的肉体的な支援と、物的な支援を併せて行うことにより、より効果的な奉仕になることを目指した。

なお、寄贈式には地元マスコミが取材に訪れ、テレビや新聞で紹介された。

(第2790地区 千葉県)



猪苗代湖をきれいに

猪苗代RC 中村 岳嗣

水と衛生



福島県中央部にある猪苗代湖は、近隣市の上水道の水源などとして多様に活用されています。2002～05年、環境省から水質日本一と評価されていました。11年には湖を含む磐梯山周辺が「日本ジオパーク」に認定され、16年には文化庁によって、猪苗代湖・^{あさかぞうい}安積疏水・安積開拓を結ぶストーリーとして、当地区を流れる「一本の水路」が「日本遺産」に認定されました。湖は福島県の豊かな自然の象徴であり、県民共通の故郷の風景、宝です。

しかし、2006年以降、水質の目安となる大腸菌群数が基準値を上回り、環境省の水質ランク外になりました。主な原因は15年以上前からの中性化傾向、それに影響されたCOD（化学的酸素要求量）の上昇と考えられます。

そこで当地区では、湖周辺のクラブで「あぶくま清流協議会」を組織し、阿武隈川の浄化活動を行って成果を得ました。河川浄化後の課題は、河川が流れ込む猪苗代湖の浄化と目されるようになり、2010年に「ロータリ

ー猪苗代湖水環境協議会」を組織しました。

同協議会では、「漂着枯死した水草を回収してCOD値を下げる」ことが、汚濁防止に有効な方法の一つで、大腸菌群数が環境基準値を下回れば、従来と同様、日本有数の清澄な湖という評価を得られる。多人数で簡単にできる作業を行えば効果的である」と主張する、日本大学工学部名誉教授の中村玄正氏の指導のもと、汚濁の要因となる、湖北部の砂浜に流れ着いた水草を除去する作業を開始。同協議会解散後はNPOが主管し、当クラブが協力して運営しています。

当地区では除去作業を「ロータリー地域社会共同隊(RCC)」事業として、また、地区内クラブに水草除去作業への参加を推奨しています。毎年9月には「あぶくま清流協議会」の時から継続している学生水泳大会を行い、湖中心部の清澄な水を体感してもらっています。

昨年10月1日～11月6日、地元企業の単独実施日を含め計13回、水草除去作業を行いました。今回は

51クラブからの会員472人を含め計1,991人が参加し、水草239㎡を回収しました。7年間で1万1,836人が参加しており、累積回収量は1,233㎡になりました。

年間の水草除去によって減少するCODはわずかですが、除去した体積分のCOD値は抑制できました。湖水浴のできる貴重な砂浜と水の環境をさらにきれいにするため、これからもクラブと地区では共に協力していきたいと思っています。

(第2530地区 福島県)



Fukushima, JAPAN

Allison Kwesell

写真家・ロータリー平和フェロー

私が2011年の地震を最初に知ったのは、インド・ニューデリーの私のアパートです。日本へ旅立つ数か月前のことです。私が日本に着いたのは2011年8月。原子力発電所の事故の被害が広がり、日本中が恐怖にさらされながら暮らしている、と噂されていたころのことです。

9月、私は初めて福島に行きました。

福島市は、人影がまばらでした。駅にはクリスマスのライトがつるされたままで、辺りに人はほとんどいません。まるでゴーストタウンのように感じました。

11月、私は新地町に行き、驚かされました。そこは私がそれまでに訪れたどの町よりも美しい町であっただけでなく、人々は心を開いて笑顔で私を迎えてくれたのです。

この6年間、私は福島への旅を続け、そのたびにロータリーは、私のことを助けてくれました。原子力発電所の事故と報道写真が及ぼす影響は、国際基督教大学（ICU）での私の研究の中心課題になりました。

福島県の郡山市、喜多方市、会津若松市、福島市、相馬市、南相馬市を訪れるたびに、私はますますそれらの地に愛着を感じるようになりました。2年間の予定で日本に来ましたが、福島との出会いのおかげで、5年以上も住むことになったのです。

福島の復興はとても遅く、また、物理的な復興によって、福島の傷が癒えるとも思えません。津波に襲われた地域の片づけられた瓦礫、新しいビルや道路といった目に見えるものと、目に見えないものとの間には、進展に違いがあるということを知りました。

福島の人々の心の奥底や感情をうかがい知ることはできません。除染に対する政府の取り組みは、不十分で遅いと思います。加えて、福島と日本の人々は、何が安全で何が安全でないのか、十分に知らされていません。これが噂や先入観、烙印、とてつもない不安を引き起こすのです。

郡山市も大熊町も、福島県内にあるために、日本人は同じ一つのものとして決めてかかるところがあるように思います。これは間違った判断です。福島県は広大で、放射線は県全体に広がったのではなく、限られた範囲の中でだけで広がったのです。また、人々は、宮城県や千葉県、東京都の方が、福島県よりも、放射線量が少ない



2012年7月13日

新地町：仮設住宅でトマトの栽培。広畑仮設住宅は、新地町福田で津波によって被害を受けた人々のために建てられ、原子力発電所の事故による放射線の影響から避難してきた人たちもここで暮らしています。ここは新地町に建てられた8か所の仮設住宅のうちの一つです



2012 年 7 月 28 日

相馬市：相馬野馬追の初日、通りを侍が馬に乗って走り抜けました



2012 年 7 月 13 日

新地町：津波に襲われる前までは美しい海辺でした。その残された浜辺で釣り人たちは、魚が釣れるのを待ちながら午後を過ごしています。津波警報が出たとき、漁師たちの 36 隻の船が大きな波を乗り越えて、果敢に沖へ出ました。35 隻の船は戻ってきました。1 隻は行方不明です

2012 年 7 月 25 日

新地町：海辺のすぐ近くの道路は、破壊されたままです。ここは、かつて福島県の浜通り地方に住む家族のリゾート地でした

2013 年 12 月 1 日

浪江町：ロータリー財団学友会で訪問。ゴーストタウンのようです



と決めてかかっています。しかし、これらの地域にホットスポットがあることによって、この判断が間違っていることが証明されています。

新地町は福島県の最北端の町です。福島県にあるために、放射線と結びつけられてしまっていますが、丘も町も線量が高くはありません。

放射線の問題、除染の問題、正しい情報が共有されていないこと、噂と烙印は、人々の理性や心、感情といった目に見えないものと同様に、復興が進んでいません。復興が遅れているにもかかわらず、福島はその傷を癒やしています。

仮設住宅は人々の絆を深めているという人がいます。なぜなら、全員が同じトラウマを抱えているからです。公園や学校にある放射線測定器は、徐々に低い数値を示してきていますが、さらに、計画的なコミュニティの支援や、コミュニティの関わり合いによって、人々は傷を癒やし始めています。

喜多方市のロータリアンである医師は、原子力発電所の近くにある放射線汚染地域から避難してきた多くの患者の治療を行いました。彼の病院は、支援を必要とする人々のために、ドアを開いています。相馬野馬追^{のまおい}の関係者は、手分けして放射線汚染地域から避難してきた馬を救う活動をしてきました。彼らは馬を世話するために仮設の馬小屋を建てました。

新地町の人々は祭りや集会を続けましたが、その数は震災以前より多くなりました。彼らは、コミュニティへの支援を増やし、ほとんど毎週末にイベントを開催してきました。住民は、参加を心待ちにし、協力し、楽しんでます。

こういった絆は、仮設住宅の中で強さを増していき、コミュニティをも強くしました。彼らは、目に見えない心の癒やしを必要とする人たちを救いました。しかしながら、人々が新しい家を建て、新しい生活に落ち着くにつれ、福島の、これらの絆で結ばれたコミュニティの結びつきは、また試されることになりました。

町が復興し、人々が再び自分たちの家を持つ時が来ました。しかし、コミュニティの必要性は残っています。今こそ、日本の政府は立ち上がり、日本の原子力発電所の事故による被害からの恐怖に終止符を打つべきです。

今、それは福島の住民の手の中にあります。そして、すべての福島のコミュニティは、津波の後に形成された絆を維持しようと、計画的に一生懸命行動しています。

私が学んだこと、それは、日本のコミュニティの絆は、人生を意味あるものにし、生き残り、癒やし、榮えていくためには不可欠なものであるということです。

2012 年 11 月 12 日

新地町：Photohoku と呼ばれる団体のボランティアが放射線量測定ステッカーを持っています。これらの測定器は、原子力発電所の事故の後から使われています



2015 年 4 月 27 日

新地町：休み時間に遊んでいる駒ヶ嶺小学校の児童たち。校庭の一番目立つところには、放射線測定器が



2015 年 6 月 9 日

双葉町：津波と原子力発電所の事故から 4 年



2015 年 10 月 25 日

新地町：子どもたちがコメの収穫を手伝っています

2015 年 6 月 9 日

浪江町：一人の男性が「立ち入り禁止」エリアの前に立って、クルマが入らないように監視しています。このエリアでは自宅に泊まることは許されません



2015 年 6 月 9 日

浪江町：2011 年の津波で亡くなった人々のために置かれた小さな祭壇の前で手を合わせる ICU の学生、飯塚帆南さん



2016 年 10 月 10 日

新地町：福田小学校の児童たちが、
畑仕事から帰ってきました

2016 年 12 月 12 日

新地町：新しい駅のオープンの日に、新地町の住人がキャ
ンドルに火をともしました。元の駅は、津波によって破壊
されました

2016 年 6 月 5 日

新地町：福田小学校の児童が植えたサツマイモ



Allison Kwesell

写真家。ロータリー平和フェロー
<http://www.allisonannekwesell.com/>

ロータリー衛星クラブがロータリークラブに

2013年規定審議会で「ロータリー衛星クラブ」についての立法案が採択されました。「標準ロータリークラブ定款」の「第1条 定義」には、「潜在的クラブ。その会員は本クラブの会員でもある」とあります。規定審議会の後、国際ロータリー（R I）から出された文章には「衛星クラブは、本格的な独立したロータリークラブとなるまでの短期間の移行的形態となるものです」とあります。

ロータリークラブを創立してR Iの承認を受けるためには、さまざまな条件があります。例えば、20人にならないと、新クラブとして承認されることはありません。そうすると、最初に声をかけ新クラブに入会することを決めてくださった人を長い間お待たせすることになってしまうかもしれません。しかし、ロータリー衛星クラブ

は20人にならなくても設立が認められ、新クラブの会員候補者たちは、ひとあし先にロータリアンとなることができます。そして、条件が整った時、クラブはR Iの認証を受け、独立したロータリークラブとしてスタートを切ることになります。

規定審議会で採択された後、日本でも7つのロータリー衛星クラブが誕生しました。その中で八戸中央西ロータリー衛星クラブが、日本で初めてロータリークラブとして承認され、八戸西ロータリークラブとして活動をスタートしました。同クラブは、2016年5月12日に12人でロータリー衛星クラブとしての認可を受け、同年6月23日にロータリークラブとして創立、7月20日にR Iから承認を受けるというスピードのある展開でロータリークラブになりました。

衛星クラブの不思議な力

八戸中央 中村 勉

私たちの八戸中央ロータリークラブ（RC）をつくってくださった八戸RCに「子クラブの私たちが親のために何か恩返しができるのか？」と考え、子クラブをつくることになりました。そのきっかけは、工藤武重ガバナー（2014 - 15年度）が「八戸市に新クラブをつくってください」と熱望され、私が地区会員増強委員長に就任したことです。

さっそくリサーチして新幹線八戸駅を中心に考え、八戸駅前商店会会長の工藤悠平氏にお願いすると、快く賛同いただきました。「一緒にロータリークラブに入りませんか」と候補者の方々を何度も訪問しましたが、全て断られました。ここでへこたれたら終わりと思い、諦めないで根気よく勧誘を続け、ようやく10人入会していただける方を集め、八戸中央RCの小澤本江会長（当時）にお願いして理事会を開催、クラブ内に新クラブ設立プロジェクトチーム（8人）を設けました。

会員候補者が12人集まったところで、八戸中央RC

をスポンサーとして、R Iに八戸中央西ロータリー衛星クラブを申請し、認可されました。この時点で、新クラブの会員候補の方々にロータリアンになっていただくことができました。その後、全員が奮起し、早く正式なクラブをつくろうと一致団結したのです。そのキーパーソンが、衛星クラブの議長、工藤威美子氏でした。彼女は、5月の衛星クラブ設立記念パーティーの席で、「一日も早く正式な新クラブ『八戸西ロータリークラブ』を発足したい」と希望を述べていました。

衛星クラブは、不思議な力と流れを呼び込む力です。2か月後、会員数が22人になり、直ちにR Iにロータリークラブ創立の報告をし、承認のための書類を送りました。7月20日、R Iから正式に承認され、10月に認証状伝達式を開催。160人のロータリアンに出席いただき、長嶺康廣ガバナーから『『人類に奉仕するロータリー』の伝統を受け継いで奉仕に邁進してください』との言葉をいただきました。（第2830地区 青森県）



World Roundup

世界のロータリーニュース



ナイジェリア

第9110地区のラゴス州にあるバガダ・ロータリークラブ(RC)、イコイRC、ラゴスRCの3クラブは、合計約1万3,000ドル(約150万円)を集め、ラゴス州立大学付属病院と協力して、足の先天性異常や内反足の治療プロジェクトを実施しました(イコイRCとラゴスRCが地区補助金を申請)。これにより、足の変形異常がある貧困家庭の子ども210人が治療を受けることができた、バガダRC会長のランレ・アキンティロ氏は話します。このプロジェクトは、2人の会員が、2015年にサンパウロで行われたロータリー国際大会に出席し、「内反足治療のためのロータリアン行動グループ」による分科会に参加したことが、大きなきっかけとなって実現しました。

95%の識字率を誇るマレーシアは、
112の固有の言語を持っています。



マレーシア

コタキナバルパール・ロータリークラブはわずか創立2年目で、ボルネオ農村部の小学生を対象とした英語力を高めるプロジェクトに乗り出しました。プロジェクトREAL(Rural Focus-English for All)は10月に開始され、3つの学校の4~6年生に400冊近くの英語の辞書を配布。11月にはコタバルのセント・エドモンド小学校の図書室の一角に、3つの計画の皮切りとして、DVDやオーディオ教材とともに600冊以上の英語図書でいっぱいにしたコーナーを設置しました。第3310地区最大の67人の会員を擁する同クラブは、この活動のために約1万2,000ドル(約139万円)の予

算を立てました。

会員のフィリス・ロー氏は、「英語の本しくないところで英語の標準レベルを向上させたい」と話します。主要言語のマレー語に加え、第2言語ではありますが、最も重要な言語である英語に徐々に愛着を持ってもらうことが目標です。「英語は、マレーシアの民間セクターで幅広く使用され、話されていますが、サバ州の農村部ではめったに使用されません。英語は若いうちに、確実に習得する必要があります。英語がある程度わかれば、仕事を見つける機会も増えるでしょう」

—ブラッド・ウェーバー



アメリカ

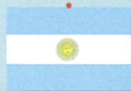
アメリカ・アリゾナ州ダグラス・ロータリークラブがスポンサーとなって、10月1日、第5回飛行大会とパンケーキ朝食会を開催し、100人以上の子どもたちのほとんどにとって初めてとなるごきげんな飛行を楽しみました。エクスペリメンタル航空機協会（EAA）の地方支部776の協力を得て、クラブは、コチセ・カレッジとEAAから提供された4人乗り小型機Piperに子どもたちを乗せました。ボランティアのパイロットが飛行機を操縦し、子どもたちの町やメキシコ国境付近の上空を飛行しました。「子どもたちは、飛行機に乗ることを本当に喜んでましたよ」と話すのは、救急輸送機の展示を行ったAirMedCareネットワークのバド・リード氏です。子どもたちが通う3つの学校で、航空史と飛行の基本情報を教えるフォーラムを実施しました。クラブはまた、慈善目的のパンケーキ販売を行って1,600ドル（約18万円）を集めました。

世界の視覚障がいのある人の90%が、低所得地域で暮らしています。



フィリピン

マニラのオルティガスセンター・ロータリークラブ（RC）は9月、アンティボロ市の特殊教育（SPED）センターで、Asian Eye Instituteと協力し、300人以上の生徒を対象に、白内障などの視覚異常を調べる医療プロジェクトを実施しました。白内障財団からも支援を受けて、132人の子どもたちに眼鏡を処方したほか、より深刻な視覚異常の疑いがある約20人に追加検査の手配を行いました。このプロジェクトの後、クラブが以前から支援を続けている小学校でも同様の活動が続けられ、ロレンソ・ルイスSPEDには、同じく第3800地区のマンドゥルヨンRCと協力して点字プリンターを提供したほか、机やテーブル、本や教材、視聴覚機材を提供しました。



アルゼンチン

アメリカ・ニューヨーク州のオーバーン・ロータリークラブ（RC）の元会長、マシュー・フェオラ氏は、ブエノスアイレスの空港付近にあるエセイサのスラム街で排水溝の水を飲んでいる男の子を見て、うろたえました。「ちょうど上流で2匹の犬の死骸を見たところでした」と、フェオラ氏は言います。「自分に何かできれば」と思ったフェオラ氏は、3年後の2016年11月の初め、クラブ会員などから集めた約5,000ドル（約58万円）とアルゼンチンのホセマリアエセイサRCから寄せられた少額の支援金を使って、井戸4基を設置。6つの小中学校の児童・生徒5,000人以上が利用できるこれらの井戸は、地元エセイサのロータリアンと学校関係者が監視と整備を行います。

ロータリー財団 100 周年を祝う

ラオスポリオミッション

第 2650 地区ガバナー 刀根莊兵衛

第 2650 地区では、1995 年から 21 年間にわたり、世界保健機関（WHO）、西太平洋地域事務所（WPRO）の協力を得て、東南アジアや西太平洋諸国を中心に、ポリオワクチンの一斉投与活動を行ってきました。

有名な「決議 23－34（社会奉仕に関する 1923 年の声明）」の中に「奉仕するものは行動しなければならない」という言葉があります。私たちは、ポリオ撲滅のためには、ただ単にお金を集めるだけでなく、ロータリアンが自ら現地に赴き活動することが大切であると考えております。そして実際に毎年、多くのロータリアンが長い時間をかけて現地へ赴き、地元子どもたちに直接 2 滴のポリオワクチンの経口投与を行ってきました。このことは、私たち第 2650 地区のロータリアンが最も誇れる活動だと考えております。

過去 21 年間、地区内ロータリアンから約 2 億円を超える浄財が提供され、毎年のポリオワクチン投与活動や現地の子どもたちの識字率の向上や保健衛生の改善事業などに活用してきました。



ワクチンを投与する刀根ガバナー

おかげさまで、2000 年には西太平洋地域のポリオフリー（無発生地域）が宣言され、この地域の野生株は根絶されました。しかし、アジア・西太平洋地域にはまだワクチン接種率の低い地域もあり、世界から完全にポリオが根絶されるまで、ワクチン接種率を高く維持しなければなりません。そのような観点から、私たちは現在も継続して、ポリオワクチン投与を続けております。





特に今年度、ロータリー財団 100 周年を迎えるにあたり、私たちはこのポリオミッションを第 2650 地区のロータリー財団 100 周年記念事業にしたいと考え、従来以上に力を入れました。11 月 2～7 日、地区内から 62 人ものが員が参加し、ラオスにおけるポリオワクチン接種と子どもたちへの教育支援を行うことができました。

2015 年、ラオスは、ワクチン由来株 I 型のポリオが発生していたこともあり、ポリオワクチン接種率向上は喫緊の課題でした。今回、ラオス保健省の全面的な協力を得て、その発生地域での大々的なポリオワクチン一斉投与と教育支援活動を行いました。この一斉投与では、ビエンチャン県ファン郡バスン村、サイニャブリ地区サイニャブリ総合体育館の 2 か所の会場において、合計約 900 人の子どもたちに経口投与をすることができました。

この私たちの活動が功を奏したのか、「2017 年の早いうちに終息宣言がされる見込みである」とラオス保健省、WHO から連絡がありました。

さらに、もう一つの目的であった子どもたちへの教育支援では、JICA（国際協力機構）のアドバイスをいただきながら、バンクン教員養成短期大学、ラオス柔道連盟、サイニャブリ子ども発育センター、サイニャブリ

教育スポーツ局の 4 か所で生活必需品、スポーツ用品、文具など、子どもたちのために充実した教育支援物資の提供を行いました。

これらの活動は、地元のニーズに即した支援活動であり、各会場では物資を待ち望むたくさんの子もたちが、満面の笑みで私たちを迎えてくれました。

また今回のミッション実施に先立ち、到着初日に首都ビエンチャンにおいて、今回のポリオミッションに関する第 2650 地区とラオス政府の調印式およびロータリー主催レセプションが開催されました。

式典にはラオス保健大臣 Bounkong Syhavong 氏、在ラオス日本大使の引原毅氏、WHO ラオス代表 Juliet Fleischl 氏、JICA 次長の牧本小枝氏をはじめ関係者各位のご臨席を賜り、厳粛な中で、ラオスと第 2650 地区との間で調印式を挙行することができました。

引き続いて行われたレセプションでは、大変和やかな雰囲気の中、ラオス政府関係者の皆さまとも懇談させていただき、ラオスと日本との友好親善を大いに深めることができました。

私たちの悲願であるポリオ撲滅まであと少しとなりましたが、私共第 2650 地区は全力を挙げてその撲滅に向けて、引き続き努力していきたいと存じます。

（福井県・滋賀県・京都府・奈良県）

学友とロータリークラブの関係再構築を

第 2770 地区

浅水 尚伸 ガバナー

(越谷南 R C)



当地区は今年度、31 人の米山奨学生、18 人の青少年交換学生、4 人のロータリー平和フェローをお預かりしています。この人数は、ここ何年も維持されてきていますから、地区としてかなりの数のロータリー学友を輩出してきただけになります。ちなみに当地区には、米山学友と財団学友がつくった、さいたま大空ロータリークラブがあります。

学友とロータリークラブの関係は、プログラムの終了とともに希薄になりがちです。お互いに遠慮があったり、学友が日々の生活に追われるなど、理由はいろいろです。私は、地区としても、クラブと学友との関係を再構築するための取り組みをすべきであると考え、今年度、地区に学友部門を創設しました。

年度開始前から部門委員長を中心に、クラブ、地区の情報から、できるだけ多くの学友の連絡先を把握すべく名簿作りを行い、これを足掛かりに、7 月には財団学友シンポジウムを開催。9 月には、学友を一堂に集めての大懇親会を開催しました。30 年以上前に留学した元青少年交換学生から帰国間もない学生までが集まり、留学時の思い出話を花を咲かせていました。ロータリアンが仲立ちとなり、財団学友を同じ専門分野に興味を持つ元青少年交換学生に紹介したりしました。

11 月には「ロータリーフェスタ」と銘打って、J R 浦和駅前にて米山学友に歌と踊り、民族衣装のファッションショーを披露してもらい、財団学友にはクラシックのミニライブを開催してもらいました。ロータリーの広報活動に、学友の皆さんの力を貸してもらいました。

学友とロータリークラブとの関係の再構築には、単にお互いの連絡方法を確保するだけでは足りません。行動を共にする機会を増やしていくことが不可欠だと思います。

これからは、学友相互の連携も生まれることを期待しています。

埼玉南東



(弁護士)

会員増強と会員維持

第 2790 地区

青木 貞雄 ガバナー

(成田コスモポリタン R C)



成田コスモポリタンロータリークラブ創立以来のモットー「和」のもと、クラブ一体となった取り組み、および地区の皆さまの協力により、地区大会をはじめとする恒例行事を無事終えることができました。

会員数が第 1 ゾーン最多の当地区ですが、1994 年 11 月末の 4,381 人をピークに減少に転じ、2012 年 6 月末の 2,684 人で底を打ったとはいえ、今年度期首は 2,729 人です。会員減少期も毎年 200 人余が入会していましたが、長期間、退会者数が入会者数を上回りました。退会者の 3 分の 1 は企業の人事異動で、多くは後任者で補填（ほてん）されました。問題は、ロータリーの理解が不十分な入会 5 年未満の退会者が多いことです。

私は、ロータリーのように志を同じくする人の集団は、その目的追求および活発な活動展開に仲間を増やすことが欠かせず、認知度向上にも会員数が一番大切と考えます。退会者増は、会員増強重視で入会基準が甘くなったからとの見方がありますが、私は、入会したクラブの活動に魅力がないからだと思います。なぜなら、私自身が会社の人事異動で、ロータリーの知識なしに前任者を引き継いで入会した経験を持つからです。また私は、ほぼ予備知識なく入会した仲間を数多く知っています。

従って、会員が素晴らしい仲間と出会い、また他の人のために役立つ機会を与えてくれるロータリーに感謝の念を持つと同時に、その感謝の気持ちを分かち合う仲間の輪を広げることには挑戦すべく、地区運営指針を「感謝と挑戦」としました。そして、会員がロータリアンになって良かったと思える活発な活動展開、仲間との強固な絆、会員歴が短い会員のロータリー活動に対する理解深化と関心向上につながる分区単位ロータリー情報研修の強化などに取り組み、せっかく入会した会員の退会を極少化すると同時に、ロータリー活動への理解者、仲間の輪の拡大につながる地区一体となった活動を、後期も目指しています。

千葉



(学校法人)

裾野の重要性

第 2800 地区

長谷川憲治 ガバナー

(山形 R C)



「パリのエッフェル塔と日本の富士山の共通点は？」と聞かれたら、皆さんは何と答えられますか？「共に世界遺産に登録されている」というのが一番多い答えかと思いますが、私が考える共通点は「裾野の広さ」です。

まずエッフェル塔ですが、それ自体の造形美もさることながら、素晴らしいのはエッフェル塔の建つ敷地の広さ、裾野の広さではないでしょうか。あの美しく広大な空間があればこそ、エッフェル塔が美しく見えるし、映えるのだと思います。それに比べると、東京スカイツリーも東京タワーも乱立するビル群の中に唐突に建っているようで、せせこましく感じられて仕方ありません。

同じようなことは、富士山にも言えます。富士山が美しく神々しくさえ見えるのは、山の高さや形の素晴らしさに加え、裾野の広さが大きいからだだと思います。あの美しく雄大な裾野の広がりがあるからこそ富士山です。もし富士山が日本アルプスのような山脈の中にあれば、いくらひととき高くそびえていようが、今のような神秘的なまでの美しさ、雄大さは感じられないと思います。

人間も全く同じではないでしょうか？収入であれ地位であれ、高望みする方は多いでしょうが、高ければ高いほど、逆にその高さに見合う裾野の広さが必要です。すなわち幅広い教養や人格、識見、良き交友関係など、尊敬に値する裾野の広さの支えがあってこそ、高さが引き立つのです。では、人間としての裾野の広さはどうしたら身に付けられるのか？少なくとも一つ良い方法があります。それはロータリークラブに入会し、良きロータリアンたらんとして真摯に努力することで得られます。高潔で高い倫理性を持つ素晴らしい会員との出会いと友情、奉仕、自己研鑽、感動……。ロータリーは多くの価値をもたらす、必ず裾野を広げてくれるはずです。



山形

っかく入会したロータリークラブです。ぜひ、そんな価値あるロータリーライフを送っていたければと願います。

(商業銀行)

出前 P E T S とマンネリ 化解消への取り組み

第 2820 地区

白戸 伸久 ガバナー

(古河中央 R C)



「光陰矢の如し」と申しますが、ガバナー年度もはや3分の2が過ぎてしまいました。就任前はあれやこれやと考えましたが「案ずるより産むが易し」の諺のごときでした。

私がガバナー就任前に地区で行った2つの革新的なことを紹介します。従来、次年度のガバナー補佐と分区内のクラブ会長が顔を合わせるのには P E T S (会長エレクト研修セミナー)の時が最初でした。その席で、お互いが名刺を交換していました。私は自治体の首長を経験したことから、行政の協力団体などの例を見ており、任期満了のお別れ会や慰労会が一番盛り上がることを覚えておりました。そこで一日も早く、関係する者同士が気心を通じ合わせることが最も大切と思い、ガバナー補佐に各分区内のクラブ会長を集めていただき、「出前 P E T S」と称し、地区内の8分区に私が出向き、次年度の方針や考えをお伝えし、その後懇親を深めました。その結果、P E T S 当日は以前のような光景では全くなく、全員和気あいあいとした雰囲気、その効果の大なることにうれしく思いました。

また、ロータリー研究会や会員基盤向上セミナーに参加した際、研修リーダーやコーディネーターなど、複数の方から必ずと言ってよいくらい「日本のロータリーは『高齢化とマンネリ化』に陥っている」という言葉を聞き、失望感を抱いていました。マンネリとは独創性や新鮮味がないことですが、私は物事を改善する向上心の欠如だと思い、前年度末に全クラブで会員満足度アンケートを実施しました。自クラブの長所・短所を現状分析してもらい、それを礎に中期計画の作成にも取り組んでいただいた結果、各クラブとも真摯に受け止めていただき、公式訪問時の事前協議会も非常に有意義であり、手応えを感じました。同時に、マンネリ化の解消に一石を投じることができたと自負しております。



茨城

(自動車販売)

戦略計画をクラブに根付かせる

第 2830 地区

長嶺 康廣 ガバナー

(八戸南 R C)



私は今年度の地区目標を「戦略計画をクラブに根付かせる」としました。ガバナー公式訪問では「今後、皆さんは自分たちのクラブをどうしたいのか、こういうことをしたい、こうなったら良い、こうなりたいというクラブの将来像や夢を語り合ってください。ただし、これは一部の人だけで考えるのではなく、全会員で自分たちの夢を熱く語り合ってください」とお願いしました。

夢を語るによりそれを実現するためには今、何をしなければならないのか、2年後、3年後に何をしなければならないのかという課題が見えてきます。その課題をクラブ全員で協力して一つひとつクリアすることによって、自分たちにもやればできるという自信と一体感が生まれてきます。この成功体験が、また次の課題克服の原動力になります。クラブの戦略計画は単年度の問題ではなく、継続性が求められます。計画を立て、実施し、達成度合いをチェックして見直しをします。

クラブの夢の実現に当たり、裏側に見えてきた障壁は、当地区の抱える問題の一つでもある会員の高齢化と会員数の減少でした。クラブの将来像が見えてもそれを実現する会員が高齢で、プロジェクトに参加できない。やりたいプログラムを実施するには会員数が足りない。クラブの夢の実現には、奉仕の意欲と、行動力のある若い会員や女性会員の入会が急務であるという課題も見えてきました。「戦略計画をクラブに根付かせる」は、会員基盤強化を内包する問題でもあったのです。そこで会員基盤強化兼クラブ戦略計画セミナーを開催したところ、自クラブの将来に不安や危機感を感じて「今、何とかしなければクラブに明日はない」という「憂国の志士たち」が立ち上がってくれました。ロータリーに対する熱い思いを共有でき、ロータリーの将来にワクワクするものを感じました。

ロータリーはこれから大変革期の嵐の中に突入して、ますます面白くなるぞ!!

(税理士)



青森

小さなクラブの冒険物語

第 2840 地区

豊川 一男 ガバナー

(藤岡南 R C)



始まりは、突然でした。2014年3月中旬のことです。まさかその日が冒険物語の開幕とは、全く想像することができませんでした。藤岡南ロータリークラブ(RC)に当地区のガバナー指名委員長を務めていたパストガバナーが訪れました。彼と「小さなクラブの将来」「第2840地区の未来」などについて意見交換をし、次の話題は「小さなクラブの冒険物語」……当クラブへの2016-17年度ガバナー選出依頼でした。

彼は地区の将来を考える上で全クラブからガバナーを選出できる地区づくりが重要と熱く語り、「藤岡南RC(現在、会員数18人の小クラブ)が最も適任だ」と、「冒険への旅」へといざないました。会員はクラブ協議会を重ね、意見を集約して「冒険への旅」出発の決断をしました。

引き受けたものの、地区運営に関して知識がない上、自クラブでガバナー事務所のスタッフを構成できず、分区内7クラブに支援をお願いすることから始めました。各クラブに支援を約束いただき即実行に至ったことにはあらためて「ロータリーのフェロシップ」を実感した次第です。しかし、道標があるのに行き先がわからない、目的地に着いたと思ったら道半ばであったり、気付くとガバナーエレクトになっていて焦りを感じたり、冒険の中で道に迷った時期もありました。ある時、自己の基本「驚馬十駕」を忘れていたことに気付き、冒険の旅を楽しむことができるようになりました。さらに、地区内外のロータリアンに支えられ、守られた素晴らしい世界にいる自分を見つけられました。

ガバナーに就任し、地区行事と公式訪問に一日一日を大事に8か月が経過した現在、気付くと私たちの「冒険の旅」も後半。旅の終着点である2017年6月30日に向かって全力で疾走することで、「小さなクラブの冒険物語」は完結します。

ロータリーに乾杯!

(一般機械器具製造)



群馬

出会いを大切に

第 2580 地区

上山 昭治 ガバナー

(東京武蔵野中央 R C)



第 2580 地区は、1920 年に創立された日本最初のロータリークラブである東京ロータリークラブを含む、東京 5 分区 59 クラブと沖縄分区 11 クラブの計 70 クラブ、3,062 人(2016 年 12 月末現在)で構成されております。1 月までに全クラブの公式訪問を終えましたが、各クラブで会員の皆さまの温かいお迎えを受け、感謝しています。

私は今年度、「出会いを大切に」を地区のモットーとしました。これは、私が常日頃心がけて大切にしている言葉です。公式訪問などでの地区内各クラブの会長、幹事をはじめ会員の皆さまとの出会い、そして他地区のガバナーをはじめ役員の皆さまとの出会いがありました。

そして、地区の重点項目を「親睦と研修」としました。親睦は言うまでもないと思いますが、研修については、地区で研修会を年 4 回、開催することとしました。特に入会 3 年以内の会員にロータリーの良さや楽しさを知ってもらい、会員維持→会員増強に努めたいと考えていたからです。そこで研修会では、ロータリーの基本から学ぼうとしております。12 月までに 3 回行いましたが、ベテラン会員も含め、予想以上に多くの会員が参加してくれており、大変うれしく思っております。

私は今年度、ガバナー会の議長を務めています。ガバナー会の議長は、お隣の第 2750 地区と交代で務めることになっており、今年度は当地区に回ってきたものです。日本の 34 地区のガバナーで組織するガバナー会の議長という大役は、荷が重いと思っていましたが、おかげさまで副議長をはじめ、同期の方々のご協力ご支援をいただき、ここまで 8 か月間、何とか務めることができました。そのような多くの素晴らしい方々との出会いにより、より豊かな人間関係ができています。

東京・沖縄



これからも出会いを大切に、残されたガバナーの時間を地区内外の会員の皆さまとともに、歩んでいこうと思っています。

(公認会計士)

3 Mと新しいテスト

第 2590 地区

高良 明 ガバナー

(川崎西 R C)



ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長の掲げたテーマを基に、私は当地区の会員純増を目指し、地区方針を「クラブの魅力創りと活性化」としました。組織の魅力創りには、少なくとも次の 3 つの M の頭文字で表す事項(以下 3 M)が必要と考え、機会あるごとに強調してまいりました。①ロータリーの目的や意義、使命を理解すること(Mission) ②「組織は人なり」会員増強を図り、人を尊重し大切にすること(Member) ③クラブ運営をしっかりと適切に行うこと(Management)。

私は前年度、3 M実行の前提として全クラブの実態調査(『クラブの活動調査』)を発行し、クラブのビジョン策定および戦略計画の参考に資しました。公式訪問では、人間の「幸せ」「生きがい」といった人間の生き方の本質を皆さんと分かち合い、この 3 Mに結び付けて卓話をしました。活性化しているクラブではこの 3 Mがきちんと理解され、運用されていることがわかりました。

昨年 11 月の地区大会では、「四つのテスト」を模し上記の 3 Mに即して、新しいテストを公表しました。

- ・ロータリーの目的や使命をよく理解しているかどうか
- ・真の親睦を図り、良好な人間関係を築いているかどうか
- ・例会が充実し、自己修練の場となっているかどうか
- ・職業奉仕をはじめ、価値ある奉仕活動がなされているかどうか

人生の幸福のために、社会、世界の平和のために確認していただく価値があると信じます。

また今年度はインターシティーミーティングを統合し、ロータリー財団 100 周年記念事業として、神奈川県民ホールで 4 月に地区を挙げて「経営大講演会」を実施します。「企業の永続性」をテーマに、商工会議所を通して一般事業主の参加も募り、職業奉仕、会員増強、公共イメージ向上を狙い、クラブ活性化を後押ししたいと考えています。

神奈川



(公認会計士)

SERIOUS FUN

上質な楽しみ

新会員の興味を引くこと、強いクラブをつくること、未永い友情を築くことについて、イアン・ライズリーRI会長エレクトが語りました。

デスクから立ち上がると、イアン H. S. ライズリー氏は、いかにも長身。白髪で、握手は力強く、ネクタイはしていません。彼が深刻なものを楽天的なものに方向転換することができる精力的なやり取りを好むということに、皆さん早い段階で気づきます。このことで彼はとてもいい話し相手になっています。彼は有能さがにじみ出ている、やっかいな税金の問題について相談するのにうってつけのように思わせてしまいます。良い判断です。これこそ、ライズリー氏がこれまで 40 年間にわたってやってきたことです。

ライズリー氏は、オーストラリア・メルボルン郊外で開業している公認会計士で、Ian Riseley & Co. の社長として、地域や国際的なビジネスに関してのアドバイスをしています。2002 年、東ティモールでの活動がたたえられてオーストラリア政府から「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。さらに 2006 年には、地域社会への貢献が認められてオーストラリア勲章を受章しました。

1978 年にサンドリンガム・ロータリークラブ（RC）に入会。以来、国際ロータリー（RI）の財務長、理事、ロータリー財団管理委員、RI 理事会執行委員、タスクフォースメンバー、委員会委員と委員長、ガバナーを歴任しました。ロータリー財団ポリオのない世界のための奉仕賞と特別功労賞の受賞者でもあります。

ジュリエット夫人もロータリアン（ただし同じクラブではありません）で、パストガバナーでもあります。夫婦でマルチプル・ボール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

『The Rotarian』編集長ジョン・レゼックが、アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるロータリー世界本部ライズリー氏のオフィスでインタビューしました。

どのようにしてロータリーのことを知ったのですか。入会したのはいつでしたか。

会計事務所を開業してから 2 年ほどたったころ、一番大事な顧客は、オフィスの近くにある私立病院でした。その CEO（最高経営責任者）はロータリアンで、よほど切羽詰まった事情があったのだと思いますが、ある日、所得税の最新事情に関する興味深い話題について、クラブの昼例会で卓話をしてほしいと頼まれたのです。何とか居眠りをせずに最後まで聞いていただけました。その数週間後、その人から連絡があり、近くの新クラブが加盟認証（charter）される予定だと言うので、「加盟認証って何ですか」と尋ねました（これは、私たちがいかに無意識にロータリー用語を使っているかを物語る例でもあります）。すると彼は、サンドリンガムに新しいクラブを創立するのだと言い、その最初の会合に出る気はないかと私に聞いてきました。「ぜひ」と答えたものの、愚かなことに私は行きませんでした。2 回目の会合には出席し、最初の会合に出た 20 人ほどの人たちと会いました。この人たちは、サンドリンガムのビジネスエリートたちで、私は何という顔ぶれだろう、と思いました。その後も私は会合に出席し続け、1978 年 11 月、私たちは「加盟認証」を受けました。「加盟認証」というのは、そのクラブの始まりを意味します。

ロータリーはすぐに肌に合いましたか。それともなじむのに時間がかかりましたか。

こんなことを言うのは気恥ずかしいのですが、すぐに居心地の良さを感じました。これは、創立会員たちの人柄のおかげです。私たちは会社経営で成功した人たちについて話していますが、本当に皆さん親切で、人間として超一流の方ばかりでした。ですから、町はずれのちっぽけな会計事務所の経営者の私でも、引けを感じることはありませんでした。これこそ、全世界共通のロータリーの喜びの一つ

です。みんな平等。これは本当に大切だと思います。

友人の多くはロータリアンですか。

ロータリーの友人は、同じクラブの仲間に限られません。地区内のほかのクラブにも友人がいます。ロータリアンになるべき第一の理由はここにあると、私は思います。ロータリーでは本当に良い友人ができます。一番親しい友人のグループが皆ロータリーに入っているわけではありませんが、考えてみると、その多くがロータリアンになっています。私がロータリーと関わっていなかったら、彼らがロータリアンになっていたとは思えません。危険なのは、ロータリーが生活の大部分を占めてしまうということです。ロータリーにのめり込んでしまうんです。広報の学位を持つ私の娘は、こういうことに普通の人より詳しいのですが、かつてこれを「Rotarama（ロータリーだらけの生活）」と呼びました。私たちの生活は基本的にロータリーに乗っ取られてしまい、ほかのことはすべて二の次となっています。ゴルフのハンデは、悲しいことに、はるか遠くに消えつつあります。その一方で、ロータリーにいることはわくわくして、栄誉なことでもあります。

ロータリーの一員であることの大切さを実感したのは、どのような瞬間でしたか。

私は 34 歳でクラブの 3 代目会長を務めました。広い講堂で行われた P E T S（会長エレクト研修セミナー）に出席しました。会場に入って着席し、肩越しに振り返って見ると、以前に勤めていた会計事務所のシニアパートナーがいました。さらに、オーストラリアの会計士の間では有名なジョン・ハップワース氏もいました。ハップワース氏は、1921 年にオーストラリアで初めて創立されたメルボルン RC の次期会長だったのです。メルボルン RC には、メルボルンの有力者や実力者が大勢います。そこに、会員 35

人のサンドリングラム R C の次期会長である私が、対等な立場で出席していたのです。

なぜロータリーに入会すべきなのかと若い人に尋ねられたら、どのように答えますか。

4つの要素があります。1つ目は、友情です。ロータリーは、半社会的な環境で人々と出会い、素晴らしいことを成し遂げられる機会を提供します。

2つ目は、個人的な成長です。私は、会計事務所を立ち上げたばかりの若い時に、クラブの3代目会長になりました。人前で話すのは苦手でしたが、ロータリークラブに入るといことは、好意的な環境でのスピーチや、会議の進行、意欲の喚起などさまざまな事柄の経験を得ることが奨励されることを意味します。ロータリアンの仲間たちは、ちょっと間違えても責めたりしません。ですから、練習し、向上し、うまくなるのです。私は全く上ることがなくなりましたから、これは大きな恩恵です。

3つ目は、ビジネスの発展です。私たちは長年、この点について避けてきましたが、そうすべきだと思いません。サンドリングラム R C への入会を誘われた時、私は妻ジュリエットにこう尋ねました。「入会を誘われたが、このグループについて何か知っているか」と。妻も私と同様にロータリーについてあまり知りませんでしたが、「入会すれば新しい友人ができるかもしれない。願わくば、そのグループには会計士以外の人がいってほしい。なぜなら私たちの友達は会計士ばかりだから」と、半ば冗談でもなさそうに言いました。ロータリーはビジネスのためになります。このことを人々に伝えるのは、避ける必要があるのでしょうか。

4つ目、そして何にも増して重要な点は、世界に変化をもたらすチャンスがあることです。ポリオを撲滅してほしいと誰かに頼まれても、そうするための自分の力は限られています。しかし、志を同じくする 120 万人が集まり、ビル・ゲイツさん、メリンダさん夫妻のような人が目標達成のために寄付してくれば、成功のチャンスははるかに大きくなります。

ロータリーで一番好きな仕事は何ですか。

断然、地区大会での R I 会長代理です。この仕事が好きです。2017 - 18 年度に私の代理を任命する際、慎重に人選するつもりです。この役目は、外国や国内のほかの地域に行き、ロータリーがいかに素晴らしい活動をしているかを理解できるチャンスを与えてくれる仕事です。

ロータリーで最高位の役職に就く準備をする中で、同じクラブの仲間と通常の会話がしにくくなりましたか。

正直に「はい」と答える人などいるのでしょうか(笑)。答えは、「全くそんなことはありません」です。私がオーストラリア人だからかもしれません。オーストラリアには、人を図に乗せないための、とても良い方法があります。

これは「Tall poppy syndrome (出る杭は打とう症候群)」と呼ばれ、思い上がるとあつという間に引きずり下ろされ、あるべきところに戻されます。今、私に与えられたこの役割の最高の喜びは、人々を突き動かすものが何なのかを確認するために、いろいろなところに行って多くの人と出会い、対話できることです。

あなたの「やることリスト」には何がありますか。

3つの言葉があります。「計画」、「計画」、そして「計画」です。今は計画の時です。これまでと違うやり方で物事を実行する方法を考える機会が持てることを、うれしく思っています。特に、どのようにしてロータリーが若い人たちとよく関われるのかについてアイデアを探しています。

できるだけ多くの 2017 - 18 年度ガバナーエレクトと知り合い、コミュニケーションと理解を構築したいと思います。「プレッシャーを与えるつもりはないが、あなた方一人ひとりを頼りにしている」と伝え、またガバナーエレクトの皆さんも私を頼りにできることを、伝えるつもりです。

ロータリーでうまくいっていること、またうまくいっていないことは何でしょうか。

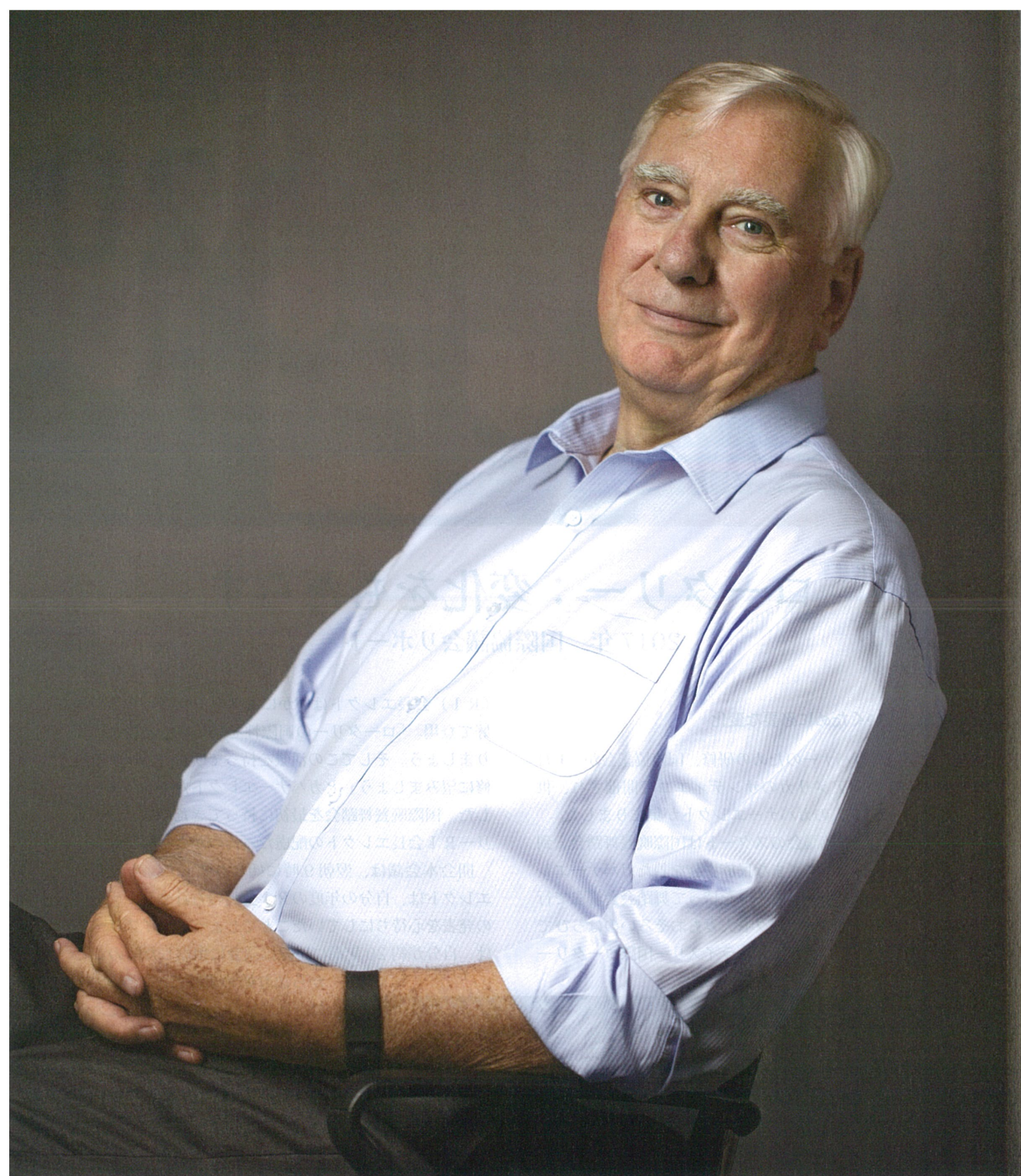
そうですね、人類への奉仕、これが私たちが特にうまくできていることだと思います。もっとうまくできるかと言えば、もちろん、できます。もっと計画的に活動ができるか、もっと地域社会と良い関係を築けるかと言えば、おそらくできるでしょう。しかし、ロータリーが実際に行っている奉仕活動は、ほかに類を見ません。これは素晴らしいことです。

ほかにうまくいっていることは何か。会員数はインドと韓国で増えています。中流階級が伸びている地域では、ロータリーへの入会希望者が急増しています。半面、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドなどの国では会員数が減少しています。これらの国では、新会員がロータリーに魅力を感じる事ができず、彼らを引きとめられていません。

会員の高齢化も進んでおり、望ましいことではありません。私たちはクラブの刷新を図っておらず、まずこのことにこそ本当に強い関心を向ける必要があります。衛星クラブ(従来型クラブがスポンサークラブとなる新しいタイプの潜在的クラブ)は、より柔軟さを必要とする若い人たちの参加を促す方法を提供します。女性ロータリアンは真の違いをもたらしてくれ、ロータリーはもっと多くの女性を必要としています。最も優れたクラブとは、地域社会に近いクラブです。

クラブのために、何か具体的な提案がありますか。

会員の職業を見直すことは、クラブの弱みを突き止め、勧誘の対象を決めるための良い方法です。また、クラブに

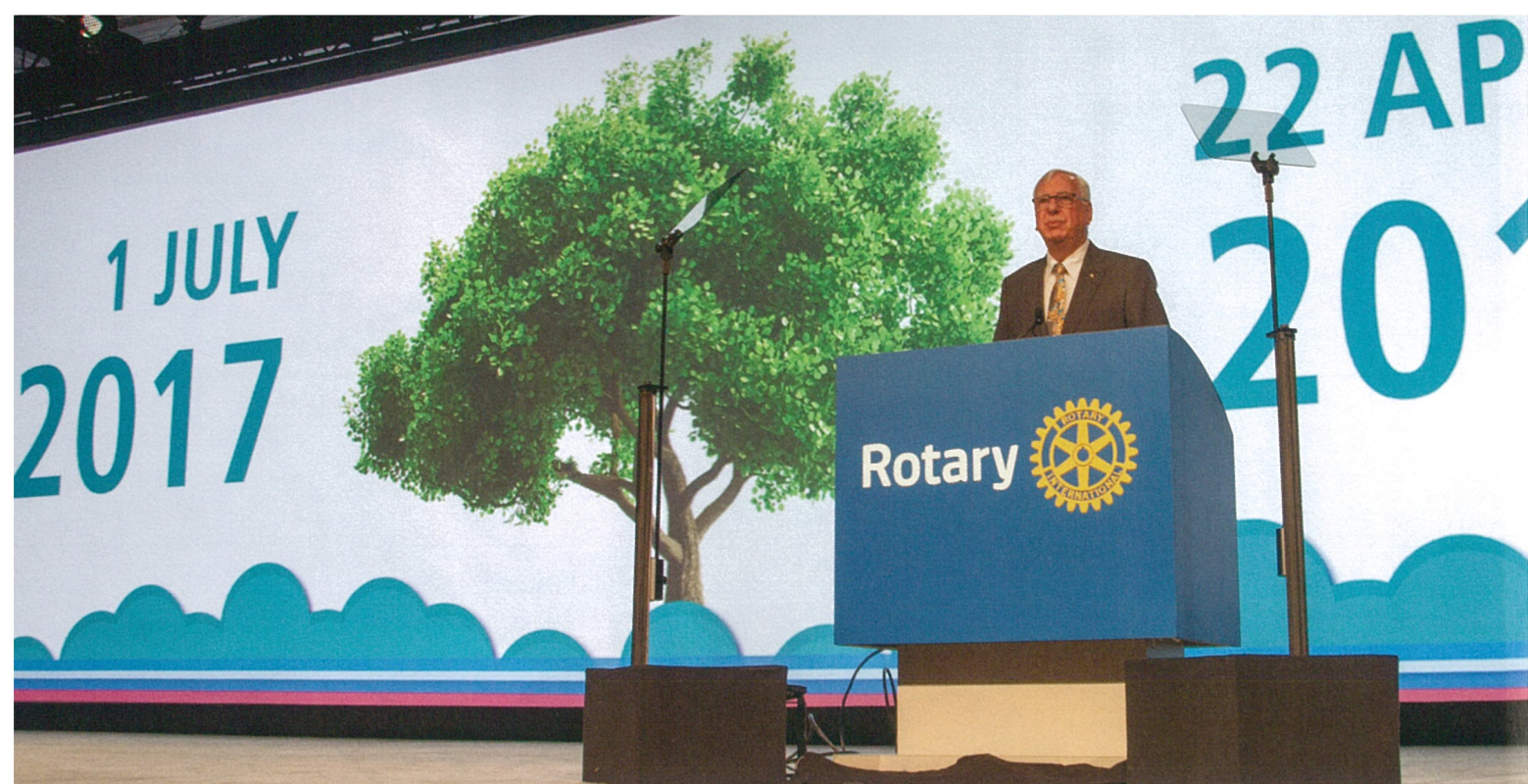


女性を増やさないことで、私たちは大きな機会を逃していると思います。口に出すのもはばかれることですが、女性会員が一人もないクラブもあります。さらに、管理委員会と理事会における上級の役職に、もっと多くの女性が必要です。

在任期間中、クラブや地区があなたに訪問してもらうに

は、どのようにすればよいのでしょうか。

招待状を出してください。私は、ロータリー世界の中で会長や会長エレクトがめったに訪れない地域を、優先的に訪れることにしました。現在までに、この条件に合う地域としてカナダの一部とカリブ海地域を訪問しました。私の予定表はあっという間に埋まってしまいますが、招待状を送ってください。可能な限り、喜んで伺います。



ロータリー：変化をもたらす

2017 年 国際協議会レポート

持続していくために必要な変化

次年度のガバナーのための研修、国際協議会が、1月15～21日、アメリカのサンディエゴで開催され、世界中から539人のガバナーエレクトが集まりました。

今年度の国際協議会のスタートは国際晩餐舞踏会。到着した日の夜、さまざまな民族衣装を着たガバナーエレクト夫妻は自国のプラカードを持って舞踏会会場まで行進。日本のガバナーエレクト夫妻もおそろいのはっぴで入場しました。イアン H. S. ライズリー国際ロータリー

(R I) 会長エレクトはいかにもスポーツ好きらしい格好で登場。「ロータリーの国際性を楽しみ、友達をつくりましょう。そしてこの活力を持って明日から始まる研修に望みましょう」とガバナーエレクトたちを激励しました。国際晩餐舞踏会を最初に持ってきたのは、ライズリー R I 会長エレクトの配慮だったのかもしれませんが。

開会本会議は、翌朝9時に始まりました。ガバナーエレクトは、自分の年度の R I 会長の方針や R I テーマの発表を心待ちにしていたことでしょう。ライズリー氏は、自分が約20年前に国際協議会に出席した時のこと

から語り始めました。「ガバナーに、国際協議会は『人生を変える経験だった』と言われていましたが、自分にとって人生を変える経験ではなかった」。これからどんなことを学べるのか期待に胸を膨らませていたエレクトの中には、驚いた人もいるかもしれません。

「人生を変えたのは、その後の一年です。ロータリアンの仲間たちと過ごした365日が私の人生を変えたのです。その一年間に、ロータリーの奉仕によって可能となった変化を目の当たりにし、自分がしっかりと役目を果たせば地



区が人々の人生に変化をもたらせると知りました」と、仲間とともに実践することが大切であると強調しました。

「変化をもたらす、という表現をロータリーでよく耳にします。世界に、地域社会に、人々の人生に『変化をもたらす』ために私たちはここに集まりました。これは2017－18年度の目標、そして、テーマです」と、来年度のテーマ「Rotary : Making a Difference (ロータリー：変化をもたらす)」を発表。そして「3つの優先事項（クラブのサポートと強化・人道的奉仕の増加と重点化・公共イメージと認知度の向上）を念頭に置いた上で取り

組めば、おのずとこのテーマに沿うものになる」と説明しました。「これらの優先事項をすべてまとめると、一つの言葉になります。それは『持続可能性』です」

「持続可能性」については、環境への取り組みが進んでいるオーストラリア出身のR I会長らしい、提案がなされました。「地球の持続可能性」です。「新年度の7月1日から2018年4月22日の『アースデー』までに各会員が少なくとも1本を植樹しましょう」。木を植えることで二酸化炭素を削減し、温暖化のスピードを遅らせる効果が期待できます。

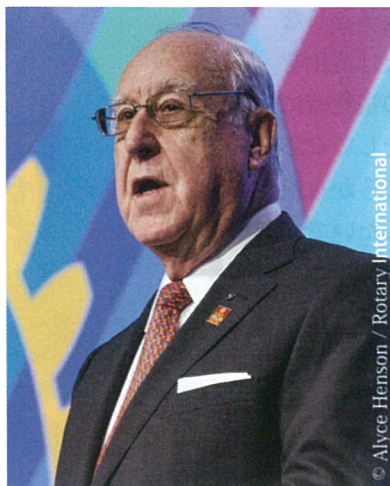
R I会長のジョン F. ジャーム氏は、『「フォーチュン500」(全米で上位企業500位がその総収入に基づきランク付けされる雑誌)が最初に発行された1955年当時のリストにある企業で、残っている企業はわずか12%です」と話し、そのような企業の共通点は、時代の変化への適応性があることだと分析しました。「ロータリーも112年生き延びています。それは、今残っている12%の企業のように、変化することを拒まなかったからです。私たちも、会員の声を聞きながら、効果的、効率的に変化をしてきています。規定審議会でも多くのロータリアンの声を反映することができました。この変更を、機会としてとらえ、クラブが直面している課題に取り組めば、クラブに変化をもたらすことができるでしょう」

変化を起こす人になりますか？

変化の犠牲者になりますか？

今回の国際協議会は、R I戦略計画の3つの優先事項を中心に進められました。

ライズリー氏は、「クラブのサポートと強化」に関して、現在クラブの強化すべき課題として「男女会員のバランス」「ロータリアンの平均年齢」の2つを挙げています。会員の男女比のバランスについては「ロータリーの女性会員は全体の20%強です。現在も増加しつつあります



ジョン・ジャーム R I 会長



イアン・ライズリー R I 会長エレクト

が今のスピードでは女性会員が50%になるまでに30年もかかってしまいます」と、危惧を表明。財団管理委員のバリー・ラシン氏も、「自分のクラブにもかつては女性会員が入会するのを拒否する人もいましたが、結果的に女性が入会し、クラブの多様性も広がり、以前より元気のよいクラブになりました」と自らの経験を語り、「変革をするのに反対意見はつきものですが、前向きな変革をする勇気があれば、サポートは受けられます。変革のチャンピオンになろう!」と、ガバナーエレクトたちに呼びかけました。

取材をしていて、女性ガバナーエレクトの多さに驚きました。ガバナーエレクト539人中103人が女性、約20%になります。世界の女性会員の比率と同じなので、別に驚くようなことではなかったのかもしれませんが(日本は34人中1人が女性)。日本と比べてこれほど女性が多い状況でも、女性会員が半数になるには30年かかるとのこと。それでは、日本は？

2つ目は、会員の年齢構成です。ライズリー氏は、ポール・ハリスがロータリーを創立した時、36歳(『友』2016年12月号横組みP36)だったことを挙げ、「現在、会員の年齢構成はオンラインでの登録によると、40歳未満の会員は5%で会員の大半は60歳以上です。今、若い会員の入会に取り組まなかったら、10年後、20年後、ロータリーがどのようになっていくかを考えてみましょう」と問いかけました。そして、ロータリーが世界で影響力を持ち続けていくために未来を担うリーダーとなる若い人の増強をする必要性を強調しました。

14歳の時にインターアクトクラブに入会し、奉仕を通じてロータリーの素晴らしさを学んだという現在28歳、シリコンバレーロータリーEクラブ会員のミッティー・チャン氏は、世界人口の半分以上が35歳以下であるにもかかわらず、ロータリーには4%しかいないと指摘。「このままではどんどんロータリーのことを知らない世代が増え、衰退してしまうと危惧します。変革

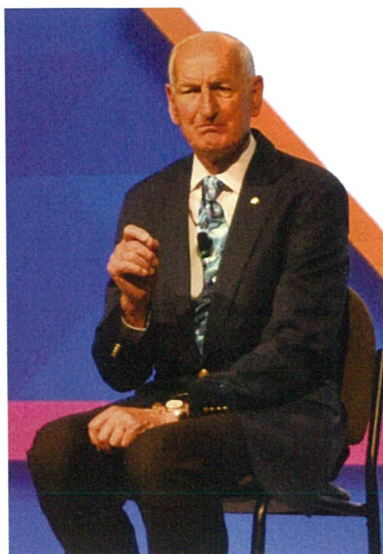
を起こすのは難しいことですが、変革をしなければ衰退してしまいます。あなたは変化を起こす人になりたいですか、変化の犠牲者になりたいですか。いつも同じことをして安心していいですか。安心できる場所から出て未来のニーズに合わせたことをしたいですか」と、エレクトたちに問いました。

ポリオの発症がゼロになる年度の ガバナーになる

「人道的奉仕の増加と重点化」に関して、ライズリー氏は、現在ロータリーの6つの重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）における活動の持続可能性を高めることが、奉仕の影響力を大きくすることにつながる、と言います。

その条件として、ホルヘ・アウフランク R I 理事は次のように述べました。「1つ目は観察をして地域社会のニーズを満たすプロジェクトであること。2つ目はニーズがある人たちを巻き込み一緒に活動すること。3つ目は政府や目的を同じくする人や組織と協力体制を組むことです。そして3つ目の協力体制によって、私たちの手から離れた後もプロジェクトが持続可能なものになります。受益者が多ければ多いほど、地域社会、私たち自身、そしてメディアの関心も高まります」

ロータリーの奉仕活動を行う上で、ロータリー財団は大切な存在です。財団管理委員長エレクトのポール・ネツェル氏はロータリーの最優先目標として、ポリオの撲滅を挙げ、「ポリオの撲滅があと少しと言われて久しいですが、いよいよ、先が見えてきました。このままいけば皆さんたちが、初めてポリオの発症がゼロになる年度



ウィリアム・ボイド氏



ポール・ネツェル氏

のガバナーになるかもしれません」と、ガバナーエレクトたちのモチベーションを喚起しました。同時に、最終段階でもこれまでのように、監視体制の強化、資金、サポートの必要性を訴えました。そして、「ポリオを完全に撲滅した後の世界で、ロータリーが次に何をするか私たちは考えていかなければなりません」と述べました。

世界を変える行動人

国際協議会の状況を見ようと、会期中に R I のウェブサイトをご覧になった方は、驚かれたことでしょう。デザインが変更されていたから。ライズリー氏は開会本会議で、R I のウェブサイトが今後、順次リニューアルされていくことを発表し、その際、「ロータリークラブ・セントラル」などオンラインツールが使いやすくなると紹介しました。

「公共イメージと認知度の向上」についてライズリー氏は、「会計士という職業柄、ロータリーに関する数字

を知りたいと思います」と前置きし、「各ロータリークラブが『ロータリークラブ・セントラル』や『ロータリーショーケース』を活用すれば、ロータリーの中身を表す具体的な数字が出てくるようになり、ロータリークラブが奉仕活動にどれくらい時間を費やしているのか、ポリオ撲滅に寄せた寄付額といったことを明示できるようになり、3つの優先事項の一つ、公共イメージと認知度の向上にもつながっていくことにもなっていくと思います」と述べました。

マーケティングを専門とする、ナイロビラビントン・ロータリークラブの



さまざまな言語が飛び交う会場は、まさにロータリーの国際性を物語っています

ジョー・オーティン氏は、ロータリーが2015年に行った15か国での調査をもとに、ロータリーの公共イメージ、認知度はよくなっているものの、組織、ポリオへの取り組み、青少年プログラムなどについては知らない人がほとんどであり、また認知はしていても、誤って理解されている場合もあることを指摘。「私たちは、広くロータリーのことを知ってもらい、将来の会員、プロジェクトのパートナー、寄付者などにロータリーに関わりたいと思わせるようなロータリーのストーリーを伝えていかななくてはなりません」と述べ、公共イメージと認知度向上のためのキャンペーン「People of

Action（世界を変える行動人）」を発表。地区、クラブで一貫性、継続性を持ってロータリーのブランドを発信していくことが大切だと強調しました。

このキャンペーンは7月1日からスタート、18か月間展開されることになっていますが、その間6つの重点分野に関連したツールが作成され、ブランドリソースセンターから入手できる予定です。地区・研修協議会などには間に合いませんから、地区やクラブの担当者は、R Iのウェブサイトを気にかけておく必要があるでしょう。

これらの視覚的なツールと「マイロータリー」にある資料を活用し、そこに一人ひとりの会員がロータリーのストーリーを加えれば、ロータリーの公共イメージと認知度向上にますます効果があると思いました。

8回にわたって行われた本会議の中で多くの講演者が、ロータリーが必要とする変化について語りました。その中で、ロータリーが大切に守っていかなければならない独自性を語ったのが、元R I会長のウィリアム・ボイド氏でした。

「ロータリーはいろいろな専門職、ビジネスに携わっている人から構成されており、その多様な経験、知識を生かし、さまざまな活動を行っています。またポリオ撲滅活動で示されるように、ロータリアンは辛抱強く情熱があります。この奉仕に対する献身は、友情のたまものではないかと思います。同じ志を持つ人が、友人となって集まり、そこから奉仕活動が生まれてくるのです。私たちは奉仕をしたいから活動しているのであって、報いを求めているから奉仕しているわけではありません。私たちの価値観、原則を結束するからこそ、ロータリーは非常に特別な存在なわけです。そして私たちの一番大切な価値観を、マザー・テレサの言葉を借りて表すことができます『この世の一番の悲劇は、無関心です』。関心



ジョー・オーティン氏

を持ち、活動をするということはロータリアンにとって大切な考えです。ロータリーの徽章を着けている人は、他人に関心を払う人、人のためにほかの人の人生を良くしてくれる人たちだということがわかります。奉仕、友情、誠実、信頼性、関心があるということが私たちの価値観であり、それを実行することがロータリーのユニークさです」

「親睦と奉仕」の関係について、ボイド氏がわかりやすく語ったことで、ガバナーエレクトも安心したのでしょうか。スピーチが終わるとスタンディング・オベーションが起こりました。

閉会晩餐会で、ライズリー氏は、ロータリーをアメリカンフットボールのチームに例えながら、「ロータリーには破る記録も、チャンピオンシップもありません。私たちが求めているのはもっとシンプルなことです。世界の人々、そして私たち自身の人生に変化をもたらすことです。そして、公共イメージと認知度の向上の大切さを強調し、ロータリーは世界を変える行動人であるということをアピールしていきましょう。R I会長賞は、ただそれぞれの項目に印を付けるというのではなく、目標に達するまでのロードマップという意味で賞を扱ってください。リーダーシップを発揮し、年度の終わりには年度の始まりより、良いロータリー、問題を見い出して私たちが解決し変化をもたらすロータリーをつくっていきましょう」と呼びかけました。

ガバナーエレクトたちからは、新しい年度を迎えるのが待ち遠しいといった気持ちを感じさせるかのような元気のよい返事がきました。クラブ、地区が、いま必要としている変化、そして未来のために必要としている変化をもたらしていく年度が、7月1日からスタートします。ガバナーエレクトにとって、人生を変える経験となる年度の始まりです。

取材『友』副編集長 野崎 恭子



“よねやま”から広がる新しい世界 ②1

米山がひらく未来、平和への道



札幌南 R C
(第 2510 地区 北海道)

2014 - 15 年度ガバナー

羽部 大仁 さん

日韓ロータリーの距離を縮めた功労者

ロータリーに入会してから長い間、米山記念奨学事業には人並みの関心しかありませんでした。私が米山に目を向けるようになったのは 1993 年、当時面倒をみていた財団奨学生が大学院への進学を希望し、米山奨学生として推薦し採用されたことがきっかけです。その頃は指定校推薦制度ではなく、クラブが奨学生候補を推薦することができたのです。親代わりだった私は安堵し、彼を通じて米山を身近に感じるようになっていったのです。

李英愛さんがクラブにやって来たのは 2002 年。金子勻会員がカウンセラーで、彼が亡くなってからは戸井敏夫会員が引き継いでくれました。二人とも李さんを自宅に招くなど、良い関係づくりに努めてくれました。私はといえば、李さんの凛とした美しさに、少々近寄りがたさを感じていたと思います（笑）。

奨学期間終了後も彼女の卓抜した語学能力を頼って、当地区の姉妹地区である韓国の第 3700 地区、また韓国姉妹クラブとの通訳をお願いしています。両地区の地区大会で毎年のように登壇するので、彼女はどのロータリアンよりも有名なのではないのでしょうか。韓国の会員と接する機会の多い私たちのために、李さんは多忙な仕事の合間を縫って韓国語を教えてくださいました。私は落第生ですが、ガバナーとして訪問した際には韓国語でスピーチしたいと思い、李先生の厳しい特訓を受け、第 3700 地区の地区大会で万雷の拍手を受けることができました。

彼女の存在で意識した、平和につながる道

2015 年 3 月、当クラブがスポンサーとなり、日本で 2 番目のロータリー衛星クラブ、札幌南 R C

イラックロータリー衛星クラブを創立しました。このクラブは米山学友と元ローターアクターで構成され、李さんを含め 11 人での船出となりました。李さんは今年度、地区米山学友委員となり、私以上に卓話に引っ張りだこ。彼女が話せば寄付が増えると評判が立つほどです。

李さんは会員になって以来、毎年、米山記念奨学会に 10 万円を寄付しています。非常勤講師で生計を立てる彼女にとって、それがどれほど貴重なお金か……。お礼を言うと、涙ぐんで「ようやく少し、恩返しができるようになりました」と言うのです。これこそ「超我の奉仕」だと頭が下がります。われわれはすぐに見返りを求めてしまいがちですが、利他の行は菩薩の修行、ロータリーの「超我の奉仕」を自分の胸に照らし、他人に役立つことを自分の喜びとしたいものです。

李さんと出会ったことで、奨学金の終わりが縁の切れ目という、諦めにも似た考えが消えたように思います。どの奨学生も良い人材ですが、李さんのようにロータリーが大好きで、しかもわれわれの仲間となり、これからのロータリーの未来を支えてくれる学友に出会えたことは、非常に幸せなことです。現在、日本にとって“近くて遠い国”は、中国と韓国と言えるでしょう。奨学金は、直接的には個人の学費を支援するものですが、国籍の壁を超えて交流し、真の友人となることで、米山から世界平和につながる道が必ず開かれるものと確信しています。日本からの 3 人目の国際ロータリー会長となった田中作次氏のテーマは「奉仕を通じて平和を」でした。まさに国際理解と世界平和はロータリーの悲願。米山奨学記念事業は、その大きな力となるはずです。



第三七〇〇地区の地区大会で（右から）李さんと羽部氏、韓国のバスターガバナー二人に挟まれ、羽部氏令嬢のさやかさん

ロータリー衛星クラブの会員となった元米山奨学生・李英愛^{イ・ヨンエ}さんは、ロータリーの一員になったことで意識が変わり、素晴らしさを実感しているそうです。そもそも李さんをロータリーへと結びつけたのは、米山との縁、それを支えたクラブ、会員との出会いからでした。また、李さんを迎え入れたことで、世話クラブや会員にどのような変化が起き、自身の心には何が生まれたのか、クラブを代表し、羽部大仁^{はふ だいにん}パストガバナーに語っていただきました。



米山学友
李 英愛^{イ・ヨンエ}さん

出身：韓国

奨学期間：2002 - 05

学校名：北海学園大学大学院

経験が育んだロータリーとの縁

奨学生当時は、男性ばかりの例会が苦手で、緊張のあまり食事が喉を通りませんでした。うまく立ち回ることができず、かわいげのない奨学生だと思われたかもしれません。そんな私でしたが、奨学期間に博士の学位が取れないことがわかったと、体調を崩して退会を決めていたカウンセラーの金子さんが「私がしてあげられる最後の仕事だから」と、延長支援のために奔走してくれたのです。クラブが奨学金の半額を負担しての1年を合わせ計3年間、他の奨学生の3倍もお世話になり、また、韓国の地区やロータリークラブとの通訳を任せていただいたり……。そうした経験の中で、「これからもずっと、ロータリーとの縁を大事にしていきたい」と思うようになりました。

自分を信じて行動するロータリアンとして

私は今、母校の北海学園大学で韓国語を教えています。残念なことに昨今の報道の影響もあって、韓国語の授業を選択する学生は減りつつあり、教え子たち

には、自分の体験から判断するよう指導しています。

6年前に亡くなった私の父は、日本の併合下で教育を受けた世代です。そう聞けば、さぞかし反日思想だったと思われるでしょう。でも、父は日本が大好きでした。日本人は勤勉で物を大切にする民族だと、私は幼い頃から聞いて育ったのです。大切なのは、自分の体験を信じる力です。国と国は損得で動かざるを得ません。一方で、ロータリーの素晴らしいところは、自分たちが良いと信じることを行動に移せることです。

私は2015年、札幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員になりました。米山奨学生から会員になったことは私の誇りです。奨学生・学友としてロータリーの活動に参加しても、それは“ゲスト”でしかありませんでした。会員として参加するのは、身に付くものも意識も違います。今は米山学友と会員の両方の立場で、現役の奨学生にアドバイスを伝えています。他クラブでの卓話は私の楽しみの一つで、米山記念奨学事業について関心が薄いクラブへも訪問できればと考えています。私が幹事を務める来年度はぜひ、各会員の経験と知識、力を合わせ、一人前のロータリークラブとして独立できるよう頑張りたいと思っています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



上海で米山学友会が総会を開催

上海米山学友会の年次総会が昨年12月17日に上海市内で開催され、学友36人とその家族ら総勢47人が参加しました。学友会の活性化に寄与した5人が年間優秀学友として表彰され、新会員が紹介されたほか、劉京榕^{リュウジンロン}会長からは、小学校への水ろ過装置設置といった奉仕活動の計画や、今後の中国の学友会の展望などが語られました。総会は終始、仲間同士のリラックスした雰囲気の中で行われ、歌やゲームで盛り上がり、学友同士の結束を強める会となりました。劉会長は「今回、わざわざ日本から参加してくれた学友もあり、今後も上海に限らず、中国や世界各地からの学友を歓迎したい」との意向を示しました。



総会出席のため集まった学友たち

一人、一本の木を植えましょう

1月に開催されたガバナーエレクトの研修会、国際協議会で、国際ロータリー（R I）会長エレクトのイアン H. S. ライズリー氏は、ロータリーの活動が「持続可能」なものであることの重要性について話しました。そして「持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面がありますが、この側面はロータリーではほとんど語られません。この側面について、私たちの責任ではないとして、これ以上棚上げすることはできません」と続けました。

ライズリー氏の言うもう一つの側面、それは「地球の持続可能性」です。そして、その一つの手段として、「新年度の開始から2018年4月22日の『アースデー』までの間に、各会員につき少なくとも一本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブにお願いしたいと思います」と述べています。

ライズリー氏は、この取り組みの意義について「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。ただ、私はそれよりもっと大きな影響があることを願っています。それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、私たちが住み、頼っている地球そのものを救う責任がロータリーにあると、私たちが気づくことです」と述べています。

新会員の皆さまは新鮮な提案に思われたかもしれませんが、クラブの大先輩に聞くと、「以前にもあったよ」と言って「われらの天体 地球の保全（Preserve Planet Earth）」という言葉で、懐かしそうに教えてくれるかもしれません。1990 - 91年度R I会長のパウロ V. C. コスタ氏が、地球の

環境保全を呼びかけています。前出の「われらの天体 地球の保全」は、環境保全プログラムの名称として出されたものです。

コスタ氏は11月1日を「ロータリー環境保全デー」としました。また、コスタ氏がR I会長に就任した1990年7月のR I理事会では、「1990 - 91年度から1992 - 93年度を通じて、R Iの試験的プログラムとして天体地球の保全プログラムを強調することを採択」しました。これに呼応して、植樹を実施したクラブも多かったようです。

植樹と言って次に思い出されるのが、2004 - 05年度、ロータリー100周年の年度です。100周年を記念して、地元の公園にサクラの木を1本植える活動から、山に何百本もの植林をする活動まで、『友』誌にはたくさんの植樹の記事が掲載されています。この年度、ロータリアンたちによって、日本中でいったい何本の木が植えられたのか……。

ところで、こんな話をご存じですか？ 2016年7月11日、インド北部のウッタル・プラデーシュ州で約80万人のボランティアが参加して、4,930万本の苗木が植えられました。たった一日です。この植樹はC O P 21で採択されたパリ協定を受けて実施されたもので、インド政府は60億ドルを費やして国土の12%を再植林化するとしています。この数字を聞いたら、120万本の植樹くらい「何とかなりそう」と思われたかもしれません。

しかし、ライズリー氏が強調したのは「持続可能性」。つまり、木を植えるだけでなく、間伐など、その後の手入れも考えなければいけないということです。これは、なかなか骨の折れる活動です。

横浜ロータリークラブ（第2590地区・神奈川県）では、横浜市の水源に1988年に植樹。以来、会員が、家族やインターアクターたちとともに、植林や間伐など、森の手入れを続けています。自分たちが実施するのか、地域の人たちを巻き込んで一緒に行うのか、または地域の人たちに任せるのか、いずれにしても、植えたあとの計画も大事です。

「地球の持続可能性」、それでも私たちが考え、実行しなければならない、大きな課題です。

『友』編集長 二神 典子





今月は数独。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

5			3		A		9	
		1			9	7		2
	7		1				3	
1		7	6				8	
							B	
	3				5	2		6
	9				3		5	
6		2	9			4		
	5				7			1

問題

二重枠のマスに入った数字をA B順に並べてできる2桁の数字をお答えください。

答

A

B

毎月10人にロータリーの友名前入り
オリジナルUSB（4GB）をプレゼント



応募方法

郵便はがきに、①「3月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 （一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた情報は誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただき、印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ベスト3」の集計に使用します。会員のご家族、クラブの事務局の方、インターアクター、ローターアクター、米山奨学生のご応募も大歓迎です。

締め切り 2017年4月10日（月）必着

正解と当選者発表 本誌6月号

* 12月号の答えと解説を横組みP 45に掲載しています。

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！



ロータリーが、 3,500万ドルの拠出を発表

ロータリーは、2016年1月から人道的な支援組織に1億4,000万ドルを提供していますが、2017年1月17日、ポリオ撲滅のための世界的な活動を支援するため、3,500万ドルの補助金を投じると発表しました。

ほぼ半分に当たる資金は、ナイジェリアとチャド湖沿岸（チャド、北カメルーン、南ニジェールと中央アフリカ共和国）での緊急活動支援に充てられます。2014年7月から発症がなかったナイジェリアで、2016年に4件の症例が発見されました。そのため、ナイジェリアとその周辺国でポリオの発生を止めるため、資金が必要とされて

います。

2016年に報告された発症件数は、35件でしたが、行政サービスが行き届いていない場所や紛争地域では、ポリオはいまだ脅威のままです。進展を維持し、すべての子どもたちをポリオから守るためには、15億ドルが必要だと専門家は言います。

チャド湖沿岸地域での活動支援に加えて、アフガニスタンなどにポリオ撲滅活動に資金が充てられ、最終的に、66万6,845ドル相当の補助金が、ユニセフ西・中央アフリカ地域事務所での技術援助に寄付されます。

1985年にポリオプラスを始めて以来、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せ寄付や、膨大なボランティアを含む16億ドル以上を寄付しました。1988年、ロータリーは、世界保健機関（WHO）やユニセフ、アメリカ疾病管理予防センターとともに、世界ポリオ撲滅推進活動の主要

パートナーとなりました。後に、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団も加わりました。この活動が始まってから、ポリオの発症率は99.9%以上減りました。年間35万件だった症例が、2016年は35件にまで減少、2017年は、2月1日現在で症例はありません。

国際大会 南部の見どころ

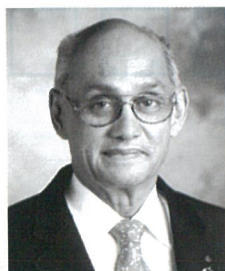


フロリダ州とサウスカロライナ州はなんといっても海岸が人気ですが、ジョージア州の自然豊かな海岸線は、いまだに観光客にほとんど知られて

ロータリー財団管理委員長の思い

人々の生活を変える皆さんの寄付

2016-17年度ロータリー財団管理委員長 カルヤン・バネルジー



皆さんがロータリー財団に寄付する時、ロータリアンの仲間たちによって、その寄付が6

つの重点分野に関して、人々の生活に貢献するプロジェクトに活用されることを確信できます。その確信があるからこそ、支援を続けようと思うのです。目覚ましい成果について考えれば、なおさらです。

「水と衛生月間」の3月は、何百万もの人に、きれいな水と適切な衛生設備をもたらしているロータリアンの奉仕プロジェクトについての認識を高めましょう。「水と衛生」は多くのロータリアンが長年にわたって高い関心を寄せている分野

ですが、それには理由があります。今日、きれいな水を利用できない人は6億6,300万人に上り、世界人口の3分の1はトイレ設備を利用できない環境で暮らしています。

毎日、水くみに何時間も費やし、赤痢、コレラ、メジナ虫、そのほかの水を介した疾病の脅威にさらされたら、生活がどんなに変わってしまうのか、考えてみてください。

きれいな水を供給する私たちの活動は、広範囲にわたる影響をもたらしています。推定1万ものクラブがロータリー財団の補助金を活用して水と衛生関連のプロジェクトを実施しています。また、2015-16年度だけでも、ロータリー財団は、1,900万ドルのグローバル補助金を水と衛生分野の活動に提供しました。

私たちの財団が今日取り組んでいる

6つの重点分野の一つの分野だけでも、これだけ多くの資金が活用されています。これに、疾病との闘い、母子の健康、平和推進、教育支援、経済の発展を含めると、2015-16年度に7,600万ドルがグローバル補助金として活用されました。これほど大きな支援ができるのは、皆さまからのご寄付があるからです。

私たちの財団は、1917年に、「世界でよいことをする」ために創設され、以来100年間活動を続けてきました。100周年の節目を記念して、世界中のロータリーの活動をこれからも継続していけるよう、すべてのロータリアンの皆さまが、特別寄付をご検討いただければ誠に幸いです。



RI 指定記事

いない穴場です。2017年6月10～14日開催のロータリー国際大会でアトランタを訪れた折には、この秘密の観光スポットを旅に加えることができます。車と数日の余裕があれば回れます。

とはいえ、ジョージア州の沿岸部で最大の人気を誇る観光地は、海岸でもなければ穴場でもないのかもしれませんが。サバナは1994年のベストセラー『真夜中のサバナ』のおかげで一躍脚光を浴び、それ以来観光客が大挙して訪れるようになりました。観光客だらけかと二の足を踏まないでください。この街の長い歴史と南北戦争以前の建築物には、3時間半かけてドライブしても見に行くだけの価値があります。

サバナから30分ほどでタイビーアイランドに着きます。地元の人が「タイビー時間」と言うように、時がゆったりと流れるタイビーアイランドで

は、人々はのんびりと落ち着いた生活を送っています。地元のシーフードレストランでの食事や、サイクリング、シーカヤック、イルカに合えるツアーなどが楽しめます。もちろん、大西洋での海水浴も。

さらに南に2時間ほどドライブすると、あまり人けのない静かな島々、ゴールデンアイルズに着きます。海岸だけでなく沼地や森林もあるゴールデンアイルズは、自然や釣りを愛する人々、乗馬やゴルフを楽しむ人々の聖域です。マイアミの豪華ホテルのプールサイドでくつろぐ、というのには程遠いですが、地元の人に言わせれば、そこが魅力なのだそうです。

－デブリナ・チャクラボルティー

事前登録割引は3月31日が締め切りです。riconvention.org/jaをご覧ください。

今後のR I 国際大会

2017年6月10～14日

アメリカ・ジョージア州アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,227,217人

クラブ数 35,263 クラブ

地区数 534 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 226,389人

クラブ数 9,843 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 483,230人

クラブ数 21,010 クラブ

国と地域 150 以上

2016年11月30日現在

* 2016年5月27日現在

** 2016－17年度

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

「パズル de ロータリー」(12月号)の答えと解説

12月号の答えは

「セービンハカセ」

当選者(敬称略・順不同)

応募総数 135人 正解者 133人
猪熊政和(前橋RC)、勝木育夫(小松東RC)、佐々木隆一(横手RC)、林秀彦(沼田中央RC)、田中裕司(大阪天王寺RC)、北村公史郎(びわ湖八幡RC)、三橋康彦(高松中央RC)、清永邦夫(熊本江南RC)、山田善彦(浜松RC)、住川誠一(尾張中央RC)

ト	ウ	ジ	シ	ラ	セ
ナ	ガ	イ	ス	ガ	リ
カ	イ	ス	キ	ー	
イ		ホ	ハ	バ	マ
	ヒ	オ	ラ		シ
ア	メ		イ	ジ	ワ
セ	イ	ボ		ヒ	ス
					イ

ところで「セービンハカセ」って？

ロータリーが最優先事項として取り組んでいるのが、ポリオ撲滅活動です。

ロータリアンが、まだポリオが根



©Alyce Henson / Rotary International

絶して間もない地域や、再発の恐れがある地域へ赴いて、子どもたちの口にワクチンを投与する写真をご覧になったことがあると思います。そのポリオワクチンを発明したのが、アルバートB.セービン氏(1906～1993)。答えのセービンハカセ(博士)です。

セービン博士の開発したのは弱毒性の経口ポリオワクチン。このワクチンは安価で、誰でも投与することができたため、ロータリーのポリオ撲滅活動はこの経口ワクチンが使われることになりました。1988年当時、125か国あった常在国は、現在はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3

か国となりました。

現在、ポリオのない国や地域では、ポリオの免疫を経口生ワクチンから、より安全な不活化ワクチンを注射で受けるのが一般的です。経口ポリオワクチンの投与が、昔話になる世界になるまで、ロータリアンは活動し続けます。

参考資料 京都モーニングRC太田和夫氏「日本のポリオ」(『友』2016年11月号掲載)『THE ROTARIAN』編集部ケアリー・シルバー「アルバート・セービン博士」(『友』2003年5月号掲載)

おまけ

『友』12月号
印象に残った記事ベスト3

1位(31人)

わが社の震災復興への取り組み

2位(18人)

クラブを訪ねて

田辺はまゆうRC

2位(17人)

・奉仕、その後……

・ようこそ Rotary



新クラブ

相模原ニューシティ (2780・神奈川県)

2017年1月25日承認

スポンサークラブ 相模原

会員数 38人

例会日 第1・3木 19:00

例会場 西もぐらホール

事務所 〒252-0239 相模原市中央区

中央3-12-3 相模原商工会館内

会長 大隈 秀仁 幹事 鈴木 高広

新ローターアクトクラブ

東京池袋西 (2580・東京都・東京池袋西)

発会 2016年12月25日 会員数 19人

事務所 〒171-0014 豊島区池袋2-18-2-201 東京池袋西 R C 気付

会長 坂田 悠人 幹事 吉田 陽香

2017 - 18 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中

今年もロータリー年度に合わせ製作、2017年6月～2018年12月の予定が記入できます。各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所・電話・Fax 番号・E メールアドレス、地区大会予定やロータリー関連事項も掲載、付録「ロータリー関連資料」も最新版です。印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使っています。手帳の色はロータリーカラーのロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は、ロータリークラブ宛2月1日付ご案内状をご覧ください。

定価 600 円 + 消費税 (送料別)

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し『友』事務所まで。在庫ある限りの受け付けとなります。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2016 年 12 月末現在)

地区	R C 数	会員数	15 年 12 月末 会員数
第 2500 地区	67	2,316	2,281
第 2510 地区	69	2,589	2,600
第 2520 地区	79	2,308	2,307
第 2530 地区	66	2,419	2,393
第 2540 地区	42	1,128	1,115
第 2550 地区	51	1,740	1,741
第 2560 地区	56	2,123	2,107
第 2570 地区	51	1,649	1,654
第 2770 地区	73	2,605	2,596
第 2790 地区	83	2,840	2,779
第 2800 地区	50	1,633	1,647
第 2820 地区	56	1,982	1,998
第 2830 地区	40	1,174	1,147
第 2840 地区	46	2,094	2,068
第 2580 地区	70	3,062	3,023
第 2590 地区	57	2,072	2,122
第 2600 地区	55	1,996	2,008
第 2610 地区	65	2,657	2,647
第 2620 地区	79	3,049	2,976
第 2630 地区	77	3,127	3,119
第 2750 地区	100	4,864	4,806
第 2760 地区	84	4,835	4,824
第 2780 地区	65	2,334	2,343
第 2640 地区	69	1,912	1,912
第 2650 地区	97	4,650	4,649
第 2660 地区	81	3,605	3,629
第 2670 地区	74	3,016	2,988
第 2680 地区	74	2,840	2,856
第 2690 地区	66	3,083	3,110
第 2700 地区	61	3,209	3,187
第 2710 地区	73	3,364	3,345
第 2720 地区	74	2,404	2,400
第 2730 地区	65	2,398	2,380
第 2740 地区	57	2,245	2,228
34 地区合計	2,272	89,322	88,985

日本のロータリー

会員概数 89,025 人

クラブ数 2,263

(左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 297 人 (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ) を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。15 年 12 月末 P B グループ 9 R C 会員数 290 人。

修正 本誌 1 月号横組み P 41 (10 月末) 表中、地区会員数: 2560・2,134 人、2780・2,349 人。34 地区合計会員数: 89,788 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数: 89,491 人は変更なし。

*『友』ホームページの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。

*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

4 月号主要記事予定

横組み インターアクト いま・むかし

女性会員が入会して活性化したクラブ

縦組み 母子の健康

対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長 対馬ルリ子

クラブを訪ねて 大船渡西 R C

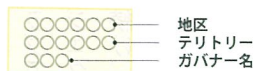
Rotary 

ご投稿・お問い合わせは——

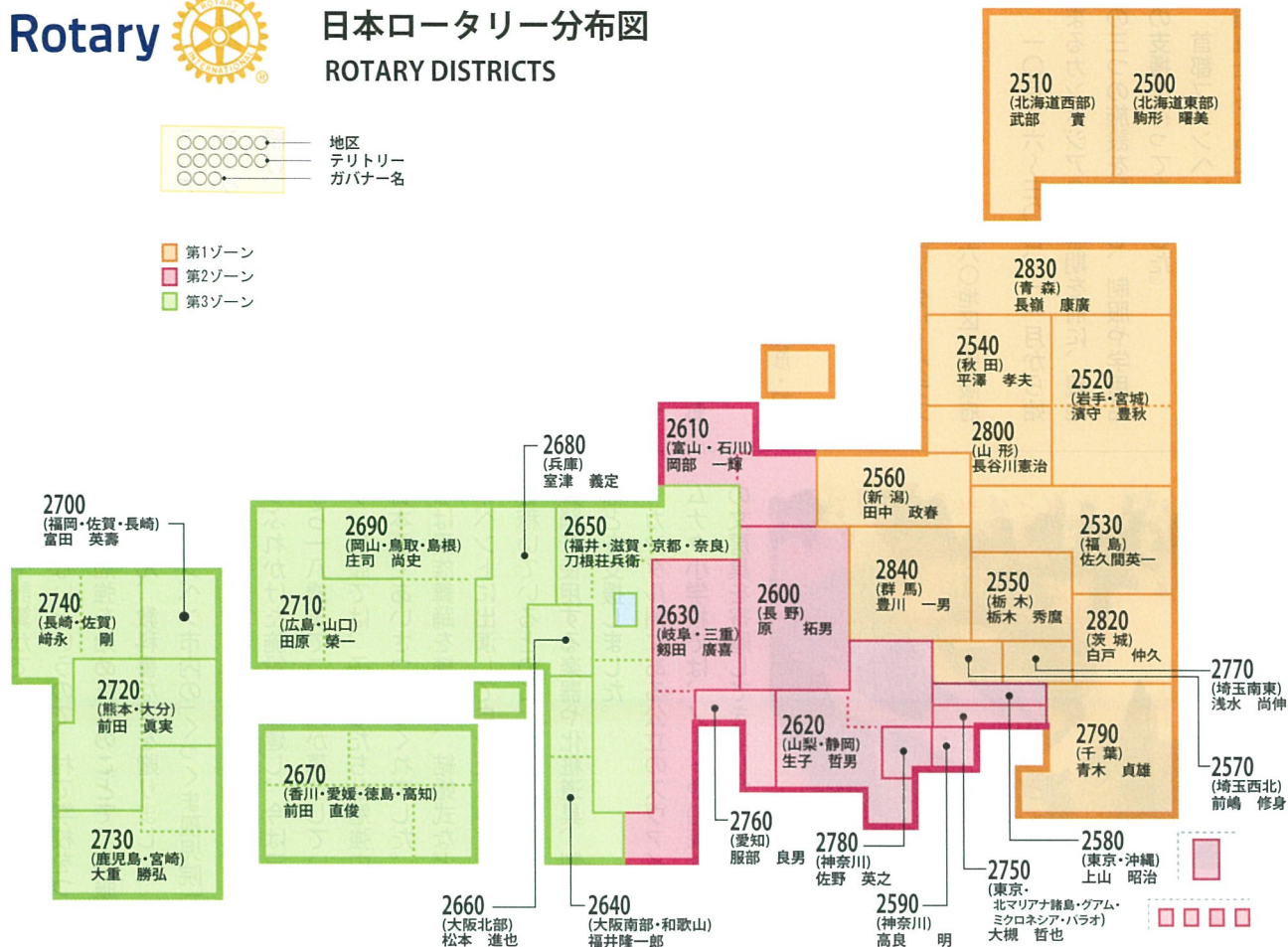
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp ロータリーの友 H P www.rotary-no-tomo.jp



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



ロータリーの友ホームページ www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第65巻 3月号

2017年2月28日印刷 2017年3月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
佐野 英之 (秦野)
松本 進也 (大阪北)

■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
井原 實 (さいたま新都心)
田中 賢三 (茅ヶ崎)
東 良輝 (宇都西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
監事 船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
相談役 板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)
中山 義之 (横浜南)

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
副編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 稔二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

き、当クラブは現地での組み立てや運搬費などを負担しました。

カンボジアには学校が少なく、一〇キロ以上歩いて通学する子どもが多くいます。遠隔地からの通学の利便を図るため、クラブでは二〇〇七年から国際奉仕プロジェクトの一環として、毎年度支援を続け、これまでに三七二〇台を寄贈してきました。

訪問の際、会員有志が里親制度を利用してアンホン・ダジー孤児院の子どもたちのうち、九人の里子一人につき一年分の奨学金として、各二四〇ドルを手渡しました。この里親制度での支援は、今年度で一〇年目となります。

今回は直接自転車を手渡すことができ、それらを受け取った子どもたち一人ひとりのキラキラ輝く瞳が、とても印象的な訪問となりました。

(瀧本典彦・記)

カンボジア学童支援

大阪帝塚山ロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

一〇月二六・二七・二八日、十一月から始まるカンボジアの新学期を前に、現地の三つの施設を訪問し、制服や学用品の支援を行ってきました。

首都プノンペンから車で三時間ほど離れたところにあるブレイベン州ブレ

イクラン村の寺子屋小学校を訪問。読み書きや計算ができないと貧困から抜け出せないというので、村で学校をつくって勉強を始めたとのことで、制服やかばん、教科書などを贈りました。

プノンペン市内の「くっくま孤児院」は日本のNPO法人が運営しており、つづれかいた施設を再建し、今は三歳から一八歳まで二五人が暮らしています。施設では、子どもたちが勉強中の日本語であいさつしてくれました。彼らは民族舞踊を練習し、結婚式などのイベントに出演して自分たちの生活費を稼いでいるとのこと。そこで、民族舞踊で使用する楽器や化粧道具、制服などを支援しました。

カンダル州にある公立のスヴァイドムナク小学校では、ノートや鉛筆などの文具を寄贈してきました。こども



カンボジアの子どもたちに学用品を手渡す会員

他の施設同様、子どもの数が急増していて、近くの空き地に四つの教室を増築中でした。ここでは前日の雨でぬかるんだ地面にテントと机を並べ、歓迎会を開いてくれました。

いずれの施設も子どもたちの笑顔と大歓迎に、感動の時間を経験させてもらいました。カンボジアの子どもたちに明るい未来が開けることを願いつつ帰国しました。なお、今回の奉仕活動は地区補助金を活用して行いました。

(川上富清・記)

留学生とのベンチ製作 国際交流プロジェクト

鳥取ロータリークラブ

第二六九〇地区・鳥取県

当クラブでは一〇月一五日、ロータリー財団一〇〇周年を記念し、初の移動例会として、間伐材を利用したベンチ製作プロジェクトを実施。会場の国際交流プラザとも関係の深い留学生に、多数参加してもらいました。

開催にあたり、会員から当クラブの奉仕活動と、間伐材が環境に及ぼす影響などをやさしく説明。留学生たちにもロータリーの活動の一端を理解してもらえたのではないかと思います。

そして、ベンチ製作を留学生と会員が一緒に開始したのですが、留学生の

大半はベンチ製作が初めてで、当初は戸惑いもみられました。しかし、会員の熱心な指導もあって、三〇分が経過する頃には留学生も要領を得て、テキパキと作業をこなすようになりました。予定の一二時半までに全てのスケジュールを滞りなく終えることができ、留学生と会員の間に好意と友情を深めることができました。

当日の様子は地元のテレビで放映され、ロータリーの公共イメージ向上にもつながりました。プロジェクトは財団一〇〇周年記念例会と位置づけましたが、今回を含め財団関連事業の実施を四年連続で達成。継続は力なり、ということ踏まえ、今後も「地域でよいことをする」を常に考えながら、地域貢献を果たしていきたいと思っています。

(倉下光明・記)



ベンチ製作に取り組む留学生たち



秋晴れの中、写生に励む子どもたち

秋の写生会

堺ロータリークラブ

第二六四〇地区・大阪府

十一月三日、堺市内にある三か所の児童養護施設の子どもたちと、仁徳天皇陵の周辺で写生会を実施。堺市と同市子ども青少年局の協力を得て、世界文化遺産登録を目指している百舌鳥・

きました。

活動中に穂積志秋田市長に会うことができ、団体の活動や思いを知ってもらえたのも大きな収穫でした。

秋田ののちの電話では、自殺予防公開講座を開くといった活動を展開しており、機会があれば、今後もクラブとして協力したいと考えています。

(小野貴信・記)

古市古墳群がある、貴重な場所で行うことができました。

当日は、爽やかな秋晴れの中、堺ロータリーアクトルクラブの会員がペットのタカを連れて参加。写生の合間にはタカと触れ合い、追いかけて遊ぶなどしました。

お弁当を食べて、午後の仕上げに頑張る子どもたちを、竹山修身市長が激励に訪れてくれました。子どもたちは予定の時間ぎりぎりまで制作に励んでいました。力作ぞろい、賞を決めるのにとっても悩みました。

後日、堺市の厚意により全作品を市庁舎ロビーに飾っていただき、多くの市民に見てもらうことができました。子どもたちの笑顔を見て、日頃の疲れが飛んだ会員一同でした。

ウォーキング&ゲームラリー大会を支援

佐世保北ロータリークラブ

第二七四〇地区・長崎県

精神障がい者支援組織であるNPO法人チーム・フォー・バイ・フォーが十一月三日、第一九回「ウォーキング&ゲームラリー大会」を開催しました。同大会は、ゲームやスポーツを通じて交流を通して体力の増進を図ると同時に、精神障がい者への理解を深め、



一緒にゲームを楽しむ参加者たち

偏見をなくするための活動として実施され、多くのボランティアで運営されています。今回は一二チーム、三三〇人の参加者とボランティアを合わせ約四〇〇人が参加しました。

クラブでは、これまで地区補助金を利用して精神障がいに関するパネルを制作したり、ボランティア用ジャンパーなどを寄贈し、大会を支援してきました。今回も支援金を贈呈した後は、会員とその家族を交えたチームを作って参加したり、ボランティアとして運営に関わるなどして、秋晴れの爽やかな一日を過ごしました。

終了後の抽選会には、会員の多くが景品を提供しました。今後もクラブとして、この大会の支援を続けていきたいと思っています。

(古賀新一・記)

カンボジアの子どもたちへ中古自転車四〇〇台寄贈

浜松西ロータリークラブ

第二六二〇地区・静岡県

一〇月三〇日〜十一月一日、クラブ会長ほか会員とその家族など総勢一八人で、カンボジアのシエムリアップ州を訪問。同州の小中学校一〇校の子どもたちに、四〇〇台の通学用自転車と、学用品としてノートやボールペンなどを寄贈してきました。

贈呈式は二二日、シエムリアップ州社会省が経営する児童養護施設で行われました。寄贈した自転車は、日本国内の放置自転車（公財）自転車駐車場整備センターの協力を得て、カンボジアまでの運搬を負担していた



自転車を受け取り、笑顔を見せる子どもたち

旨で、近年、クラブが行ってきた社会奉仕事業の写真を展示し、それらを説明して、市民の皆さんに理解と関心を持ってもらうことにしました。

二つのブリスを確保し、バザーと焼き芋の販売は会員と、当クラブでお世話するベトナム出身の米山奨学生、ブイ・クイン・チャンさん、二〇一七―一八年度派遣予定の地区補助金奨学生・須山恵里香さんにも手伝ってもらいました。おかげで有意義なイベントとなり、楽しく盛況のうちに終了しました。

売り上げ金とクラブからの浄財から、例年通り、地元の社会福祉協議会に五万円、ロータリー希望の風奨学金に五万円、そして今回はロータリー財団に三万円を寄付しました。

ロータリーの仲間と一緒に、二つのアニバーサリーを祝えたことを感謝しています。

(関谷永久・記)

ロータリーを発信 第二回ロータリーフェスタ

第二七七〇地区

埼玉県

冬の訪れを実感する一〇月三〇日、JR浦和駅前で、ロータリー財団一〇〇周年記念として、当地区主催の

「ロータリーフェスタ」を開催しました。ロータリーの認知度向上を目指すこの催しは、昨年度に続き二回目となり、地域の人たちや地区内会員の多大なる協力を得て盛大に行われました。

駅前の広場にボランティアによる露店が立ち並び、インターアクターたちが募金活動を行い、ステージでは子どもたちによるダンス、カクテルパフォーマンスコンテストのほか、米山奨学生による民族衣装の披露、会員やその家族によるバンド演奏など、日が暮れるまでさまざまなイベントが続きました。中でも、ロータリー財団学友である平澤仁氏のバイオリン演奏、新進のギタリスト・MASKROID氏によるミニライブは、多くの観客を集めました。

参加した会員にとっては、ロータ



好評だった財団学友によるバイオリン演奏

リーの活動を介して人と人とのつながりをあらためて実感できた一日となったのではないだろうか。また、一般の人たちにロータリーへの理解を深めてもらう良い機会になったのは言うまでもありません。

長らくロータリーは、陰徳の美学を貫いてきました。しかし、現代の情報化社会における認知度と公共イメージの向上は、ロータリーのさらなる発展に必要な不可欠な要素です。今回のように、クラブと地区が一体となって、ロータリーの意義やその行いを発信していくことは、ロータリーの裾野を広げ、新たなロータリーアン誕生の下地をつくるものに感じられました。

(浦和中RC 梶間順子・記)

秋田いのちの電話に協力し 街頭募金

秋田北ロータリークラブ

第二五四〇地区・秋田県

NPO法人・秋田いのちの電話は、一人ぼっちで悩んだり、困ったりしている人の話を聞き、自殺する人を少しでも減らしたいとの思いで活動しています。当クラブではその活動を支援するため、一〇月二二日、街頭で募金活動を実施しました。

午前一〇時過ぎにJR秋田駅前に集合、秋田いのちの電話の会員と合流しました。秋田いのちの電話の会員たちは団体紹介のリーフレットとポケットティッシュを配って活動の周知を図り、当クラブの会員たちは募金箱を持ち、活動支援を呼びかけました。天候に恵まれ、駅周辺は恒例イベントの「秋田かやき祭り」と「秋田醸しまつり」「秋の工芸品まつり」の開催もあり、多くの人でにぎわっていました。

募金の合間にリーフレットの配布を少し手伝いましたが、自殺予防を目的としていますので、家族連れなどにぎわう中では、渡す相手に戸惑ってしまいました。一方、募金はどなたが対象でも構わないので、多くの人たちに声をかけ、少しの時間でしたが、九〇五五円の浄財をいただくことがで



イベント会場で募金のお願



伝統文化、民俗遺産を守るため講演会を開催

地域住民には保存の意識が高く、残されることになり、現在は国の重要有形民俗文化財に指定されています。

ここでは舞台を活用して農村歌舞伎が演じられてきましたが、人材不足により継承が困難となり、一九九二年に佐用町立三河小学校が「南光子ども歌舞伎クラブ」を発足させ、伝統文化継承のための活動を展開してきました。しかし、それも少子高齢化、指導者不足、支援の弱体化により存続が難しくなってきました。

地域の伝統文化、民俗遺産である重要性を地域住民に広く理解してもらうため、当クラブは一〇月二二日に三河基幹集落センターで講演会を開催。講師には能楽の研究をされている田村民子氏に依頼。「歌舞伎をもっと、楽しもう！」『南光子ども歌舞伎クラブ』

のこれからを考える」と題して、将来の展望について地域住民に話してもらいました。当クラブからは当日、記録・研究のための収録視聴機器を寄贈。その後、上三河の舞台の見学会を行い、精巧な舞台の仕掛けについて説明を聞き、感銘を受けました。

最後に子どもたちから「これからもがんばって練習していきます」。上三河舞台保存会からは「応援してください。人たちがたくさんいることがわかり、未来の子どもたちのためにもがんばって守っていききたい」との、力強い言葉をいただきました。

樹齢六〇〇年シダレザクラ再生プロジェクト実施

行田さくらロータリークラブ

第二五七〇地区・埼玉県

私たち行田さくらロータリークラブは、さくらの植樹や行田市内の桜の名所の保全活動を行っています。

昨年、市内で最も樹齢の長い、満願寺のシダレザクラの幹中央部が枯死し、大きく崩れ落ちました。満願寺のシダレザクラは一八三五（天保六）年に出された『増補忍名所図会』に「広前に大木の垂桜あり、垂縁長くして花の頃は優艶なり」と記され、樹齢は約六〇〇年と推定されています。そこで、樹勢が



シダレザクラの保全に取り組む会員たち

あるうちに保全策を講じなければと、再生プロジェクトを立ち上げました。

日本一のさくら守といわれる京都の造園家、一六代目・佐野藤右衛門氏に相談し、現地に三度来ていただき、九月二七日には工藤正司行田市長が同席した例会で、卓話をしてもらいました。その際、崩れ落ちた部分を樹脂で補充して固めるのではなく、炭で補充して竹で幹回りを保護する方が良いとの指導を受けました。

一〇月一七日に雨の中で作業、次いで一二月二日に造園業を営む会員が作業し、再生プロジェクトを遂行することができました。今回の事業はプレスリリースし、新聞で取り上げていただきました。今春、無事に多くの花が咲くことを、会員一同期待しています。

（五十幡和彦・記）

二つのアニバーサリー 五〇・一〇〇

入間ロータリークラブ
第二五七〇地区・埼玉県

入間市市政施行五〇周年の祝賀行事が、恒例の市民祭り・入間万燈まつりで行われました。目を引いたのは舞台でのイベントの多様さ、また出店の多さで、特に初日の祝賀花火大会は最高に盛り上がりました。一〇月二九、三〇日の二日間の開催で、約四〇万人の人数があつたと聞きました。

今年度がロータリー財団一〇〇周年に当たることから、クラブとして地域への良いプレゼントを検討した結果、例年出店している焼き芋販売、バザーに加え、財団一〇〇周年を祝賀する趣



販売ブースでクラブの社会奉仕事業を紹介

ROTARY 文章編 AT WORK

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

盛岡の歴史解説本を寄贈 会員の遺作を青少年へ

盛岡南ロータリークラブ
第二五二〇地区・岩手県

当クラブでは今年度、青少年向けの歴史解説本『よくわかる盛岡の歴史』を、盛岡市と岩手県に一〇〇〇冊寄贈しました。同書はA五判、一二〇ページ。教科書の編集、出版で定評のある東京書籍（株）から、昨年八月に発行されました。

当クラブの会員で歴史学者である加藤章氏（元盛岡大学学長）が執筆者として中心的な役割を担い、研究者らと出版準備を進めていましたが、昨年二月に校了を待たずに急逝されたため、当クラブがその遺志を受け継ぎ、青少年奉仕活動の一環として資金面などで

支援しました。

盛岡市への贈呈式は一〇月一七日に開きました。菊池正敏会長が谷藤裕明市長に目録を手渡し、「若い世代に地域の歴史への理解を深めてほしいと願い、加藤先生が情熱を注いで執筆しました。広く読んでいただきたいと思います」と述べました。

また、谷藤市長からは「盛岡への郷土愛が込められた良書で、有効に活用します」とお礼の言葉があり、クラブには感謝状が贈られました。

現在、本は市内の小中学校や公民館、児童館、県立の公共施設、私立学校などに置かれ、社会教育に生かされています。会員への友情を成就させ、青少年の健全育成を促進する事業となりました。



盛岡市長（左）に本を紹介する菊池正敏会長

米子市の宝・米子城跡を知り守りつなぐ！

米子東ロータリークラブ
第二六九〇地区・鳥取県

米子市の中心地、標高九〇メートルの湊山に、国指定史跡・米子城跡があります。頂上からは米子市内、大山、中海、島根半島、弓ヶ浜半島、日本海などの眺望が三六〇度開け、市民に愛されている散歩コースであり、市民の宝の一つです。

当クラブでは、より多くの人たちに米子城跡に親しんでもらいたいという思いから、地区補助金事業として「米子市の宝『国指定史跡米子城跡』を知り守りつなぐ！」と銘打って、新たな案内看板と地図、米子城跡を紹介するパンフレットを制作し、市に贈呈することになりました。

一〇月二二日、米子城跡が国史跡の指定から一〇年を迎えるのを機に、山頂のあずまやに三〇年前に設置されて老朽化した案内看板をリニューアル。あずまやのテーブルに設置された中海と大山周辺の鳥瞰図を最新の情報に更新し、さらには米子松蔭高校インターアクトクラブ（IAC）の会員とともにあずまやを塗装し直し、登山口から山頂までの山道を清掃しました。



インターアクトと一緒に湊山で清掃などを実施

一月五日には市教育委員会主催の米子城ワークシヨップ「米子城わくわく遊日和」のイベントに先立って、当クラブと米子松蔭高校IACが協力して制作したパンフレット一万五〇〇部を、市に贈呈しました。

（岩崎浩・記）

子ども歌舞伎を支援し 伝統文化と民俗遺産の継承

上郡佐用ロータリークラブ
第二六八〇地区・兵庫県

兵庫県佐用郡内にはかつて六〇棟以上の農村歌舞伎舞台がありました。現在は江戸時代から伝わる「上三河の舞台」一棟だけになりました。この舞台も取り壊しの声が上がりましたが、

ROTARY AT WORK



在住外国人児童に交通安全ルールを

歩行中の交通事故による死傷者数は5〜9歳が最多との調査結果を知り、交通安全ルールを学ぶ機会が少ない地域在住外国人の子どもの対象に、交通安全教室を開催。44人が信号のある交差点の横断練習、トラックの死角体験など、交通安全ルールを学んだ。また、協力を得た近江八幡市国際協会、ヤマト運輸、自動車教習所職員と行ったじゃんけんゲームも子どもたちの交流を深め、有意義な活動となった。

(10月20日 第2650地区 滋賀県)

ROTARY AT WORK



ふるさと渋谷フェスに参加

渋谷区恒例、毎年約60万人が集う「渋谷区くみんの広場 ふるさと渋谷フェスティバル」に2回目の参加。今回はロータリー財団100周年記念も兼ね、活動報告の展示とバターゴルフ、絵手紙の紹介を中心にブース内で活動、約500人の来場者があった。会員と渋谷・青山学院大学RACの協力も得て盛況裏に終わり、笑顔あふれる2日間となった。

(11月5〜6日 第2750地区 東京都)

ROTARY AT WORK



中学生に災害、防災への意識向上を

11月30日、普通寺市民会館で、市立普通寺東・西中学校の1年生を対象に防災講演会を開催。生徒270人と市民30人が市防災管理課参事の西岡浩氏の講演を聴いた。28〜30日には香川県防災士会中讃支部の協力で、会場ロビーに防災パネルや用具などを展示。生徒は真剣に見学していた。また、クラブから地域の避難場所でもある両中学校にワンタッチテント一式を寄贈した。

(第2670地区 香川県)

(普通寺RC)

(普通寺RC)



創立30周年でロータリーの森を整備

茨城県有林の一部(0.7haを、5年前のクラブ創立25周年時に「ロータリーの森」として借り受け植栽。地域のハイキングコース、憩いの場となるよう整備を続けてきた。今回、創立30周年を記念し、水戸農業高校IACや県関係者、会員の総勢約50人が、植栽した木の間伐、下草刈りを行い、コース内4か所に案内表示板、2か所にベンチを設置。気持ちの良い汗を流した。

(11月12日 第2820地区 茨城県)

ROTARY AT WORK

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただき、必ず活動日を入れてください。記念写真集(合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



英語でクッキング!

〈大江RC〉

大江町中央公民館の調理室で、日本語NG、英語のレシピによる料理教室を開催。地区補助金を活用した地域奉仕活動の一環で行ったもので、幼稚園児、高校生、高齢者など幅広い参加者が、国際色豊かな15品のおいしい料理を完成させた。「楽しい」「次はいつ?」と、大好評のイベントとなった。

(11月13日 第2800地区 山形県)

ROTARY AT WORK



田植えから稲刈りまで 子どもたちが体験

〈大阪柏原RC〉

田植えや稲刈り体験を通して子どもたちにコメについて知ってもらいたいと、クラブに米作り奉仕委員会を新設。地域の水田約300坪を借り、柏原市内の3つの児童養護施設の子どもたち総勢約170人が、6月19日に田植え、10月16日に稲刈り、11月5日に脱穀を体験。腰の痛みを我慢しながら植えた苗が立派な稲穂に育ち、子どもたちは感動していた。

(第2660地区 大阪府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

子どもが芸術に触れる機会を

〈東京日本橋東RC〉

会員の事業所が秋田県仙北郡美郷町にあることが縁で、同町の子どもに芸術に触れる機会を持つてほしいと、地区補助金を活用し、町立美郷中学校に壁画を贈った。体育館の壁画として東京の画家・大小島真木氏に制作を依頼。除幕式を行った。生徒はもとより地域住民にも喜ばれた。

(11月4日 第2750地区 東京都)



ROTARY AT WORK

フットサル大会を通じて心の交流

〈桐生西RC〉

桐生西RC提唱の桐生西RACが主催、大間々高校IACも参加し、情緒障がい児短期治療施設「青い鳥ぐんま」の子どもたちとフットサル大会を開催。青い鳥チーム、インターアクトA・Bチーム、桐生西RAC&桐生西RC混成チームの計4チームがトーナメント形式で競い、青い鳥チームはインターアクトAチームに敗れ準優勝。楽しい時間を共有した。

馬県

群





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

高校生が市政を問う 「高校生市議会」を開催

伊万里西ロータリークラブ
第2740地区 佐賀県

11月11日、伊万里市議会本会議場でクラブ主催の「伊西地区高校生市議会」を開催。70年ぶりに公職選挙法が改正されて選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、新たな有権者が市議会という最も身近な政治の現場を体験することで、政治や選挙に意義を感じ、関心を高め、自分の将来を見つめ、さらに郷土愛を育むことを狙いとした、主権者教育の一助として実施。伊万里市、市議会、伊西地区の6高校、県・市明るい選挙推進協議会の協賛を得て、各高校（総勢1122人）からそれぞれ男子2人、女子2人の議員を選出。計24人が市政に対する一般質問を行った。高校生で互選した議長と副議長が議事の進行に当たり、答弁は塚部芳和市長ほか、市の執行部が応じた。実施に当たっては、高校生議員が市政や議会の仕組みを学ぶ事前研修や、各校の生徒会を中心にした全校での質問事項の調査・研究を行い、当日は厳粛な雰囲気の中、各校の特徴が表れた意義ある意見、提言が約5時間にわたり行われた。高校生議員からは「将来の町づくりの担い手となる高校生が、町の課題にきちんと目を向ける必要がある」「将来の伊万里の発展に向け行動を起こす必要がある」「政治や選挙の重要性を理解できた」「有権者としての自覚と責任を持つ」といった決意が示された。

今年度「伊万里に奉仕するロータリー」をスローガンに掲げる当クラブとしても、この事業を通じ、地域への奉仕とは何か、何をすべきかが問われ、感動と結束を生んだ奉仕の実践となった。山崎高広会長は「選挙に行きなさいと促すだけでなく、仲間に入れて意見を聞くことが大事。ふるさとを考え、行動を起こすきっかけにしてほしい」と語った。

（多久島隆・記）

仏心はこんなに赤く烏瓜

福井南 松山 古来

子の遺影妻の遺影や冬座敷

長崎北 三原 茂

日に影に風に紛れし秋の蝶

鹿児島東 柿元 敬一

今年酒父と飲みたき思ひかな

埼玉・川口中央 坪井 和枝

お雑煮やいつしかは味の味となり

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

瘦身を削りて鳴くやきりぎりす

京都・宮津 日下 義章

足袋の中紐在りて亡き妻は干す

千葉・市川 照井 親資

水の音水の匂ひや冬はじめ

埼玉・日高 高木 祥子

駅裏へ抜ける地下道昼の虫

富山南 升田 義次

小春日や一息入れて善光寺

埼玉・日高 原田 邦義

風音の乾ききつたる冬木かな

石川・加賀 折橋紀与美

俱に老い一つの柿を頒つ夜

兵庫・神戸西 土居 丈治

冬の日を受けて市電の帆み来る

福岡城南 吉武 草徑

池の鴨馴れてみな寄り来る気配

兵庫・神戸西 村野 利昭

吹きたまる落葉の匂ひ日の匂ひ

兵庫・芦屋川 廣瀬ゆきを

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

中興と言ふにふさわしき僧の友
逝きて山門の梅林静か

茨城・友部 矢吹 和夫

断捨離と氣前よく捨てないとい
捨てたこと忘れあちこち探す

埼玉・所沢西 大原 律子

亡き妻の寿ぎくるる声を聴く
八十六歳の誕生日今日

千葉・市川 照井 親資

歳老いて役を請わるる嬉しさは
心若やき老いを忘るる

新千葉 菊地 忠

そぞろ来て九体のみ仏おはします
み寺の庭に深秋を知る

東京 新 欣樹

やうやくに負はず借りずの身の上に
なりて清しき秋の青空

東京荒川 井上 久子

落葉松のおちばするみち踏みしめて
ふみしめゆけばこころ静もる

東京ワセタ 福地桂之助

水鳥の気配はあれど霧の中
草生けふりて姿は見えず

神奈川・川崎西 吉田 恵一

小糖雨のアンネの像の傍らに
冬ばらピンク微かに匂う

岐阜長良川 井戸 豊彦

雪吊りの終わりの朝の初あられ
いよいよ冬入るかくこする

石川・金沢百万石 石丸 恭子

ふれし手の冷たしと思ふ別れなり
またの出合ひを心に願ひ

奈良 吉田 佳代

ハロウィンの魔女とかぼちゃが町を行く
ボリスの笛と人波に揺れ

島根・出雲南 小村 尚子

地震後も残る古町奥座敷
老妓ひとりの舞ふ黒田節

熊本水前寺公園 北里美知子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

下心いつもと違うシルエット

高知西 山岡 陸宏

世界地図逆さに映る覇者の業

群馬・伊勢崎 秋山 春海

空気清浄機だけが相手にしてくる

香川・高松 大平 昇

走馬燈 とどこころに亡母がいる

青森・五所川原中央 小野 順蔵

結露窓思わず笑顔銀座線

東京日本橋東 井口 弘子

棕の木に香る蜜柑と小鳥たち

愛知・豊橋南 富安 美孝

まえがきとあとがき読んだだけの本

富山・射水 江守 正

長寿の湯早めに出てと妻が言い

鳥取 塩 宏

境内でご利益あるかとお花買う

埼玉・所沢西 大原 律子

前期でも後期でもない七十五

福岡イブニング 菊池 文彬

痒み止めお互いに置く洗面所

埼玉・入間南 大野 快三

朝風呂は降圧剤を飲んで行き

長野・辰野 岩田 清

禁じ手も平気で指せるへボ将棋

神奈川・横浜旭 吉原 則光

孤独ですケイタイ誰も掛けてこず

大分・中津 福澤 廣明

今の世は焚火もできず芋の山

奈良 寺田 康宏

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



長谷川 權 

ひとにぎり軽くしぼりて菊なます

奈良 吉田 佳代

「軽く」が絶妙。しぼらなくても、しぼりすぎてもいけない。それがこの「軽く」。菊なますという料理を作るとき、おそらくそれが大事なところなのだろう。

畑仕事軍手の励む風の中

兵庫・甲子園 田中 由子

自分自身あるいは人が畑仕事に励んでいる。それを「軍手の励む」と、軍手に焦点を絞って一句にした。酷使される軍手への労（いた）わりの思いもある。

初挑戦切干大根軒にゆれ

兵庫・神戸西 山地 宣子

生まれてはじめて作ってみた切り干し大根。軒端の風に吹かれているところを、「なかなかのでき！」と眺めている。「初挑戦」という言葉が気持ちを伝えている。

大声で別れて二軒年忘れ

三重・名張 城山 勝紀

じゃ、よいお年を！ 互いに一年の健闘をたたえあつて別れた。それからさらに二軒のハシゴ。一軒だけではなかなか終われないような気がする。酒好きの心理。

落葉なほ命燃やして風に舞ふ

埼玉・日高 犬竹 碗白

風が吹けば舞い上がり、もっともつと飛ぼうとする。「命のありて」だったただの説明だが、「命燃やして」には熱がこもる。人間もこうなくては思ったのかもしれない。



馬場あき子 

ひとときの冬の晴れ間を寛げり
南の友へ電話などして

秋田・能代 成田 繁穂

「冬の晴れ間」こんな言葉があるのはやはり秋田県なのだ。雪空に明け暮れる日々の中におとずれた青空。気も晴れ心もうれしくなつて「南の友」を思い出す。その心の動きが面白く、魅力もある。青空が思い出させた南。そこにあった友情、楽しかった笑いまで想像させてしまう。気張らないならかな調子の三句切れ。上下の照応もうまくいっている。

秋の日のジャズ演奏のサクスの
咽ぶ調べにかへる青春

神奈川・相模原 佐藤 清一

秋の晴れた日、高らかにびびくジャズ演奏を聞いている作者。管楽器の中でもサクスの音色はやわらかく変化に富む。「咽（むせ）ぶ」と形容しているの、その哀切な音調も想像されるのだろう。作者の心も当然「咽ぶ」思いになっているのだ。若き日にジャズ愛好の一時期があったのかもしれない。一首の中に「の」という助詞が四つ使われている。それが滑らかな調べを生むとともに、「咽ぶ調べ」につながるやわらかな抒情を生んでいる。

七五三可憐なおめかし健やかに
小春日和に晴れ着の姿

宮城・古川東 高橋 義宣

青空に鳶は大きく弧を描く
今朝の浅間は雪化粧して

長野・佐久コスモス 中澤 道保

大文字妙法文字万灯籠
旅ゆく京はくれないに染む

茨城・古河東 小山 幸子



てしま晩秋 

冬の坂こころに迷いなどはない

大阪西 鴨谷瑠美子

厳冬の坂に居ても「こころ」は、すっかり前を向いておられる鴨谷さん、もうすぐ暖かい春がやって来ますよ。そう言えば『春よ来い』という懐かしき童謡がありましたね。

折れたのも並べておこう夫婦箸

北海道・斜里 辻 舒宏

夫婦箸使い続けて折れ曲がる

東京池袋 小泉 博明

奇しくも夫婦箸が二組そろいました。当家でもかなり前から夫婦箸です。初めは温泉旅行に行った知人からのお土産からと記憶しております。辻さん、小泉さん、お二方のお家ではどうなのでしょう。———どちらのお宅とも「ほのぼの」とした温かい食卓が目につかびます。

「お父さん」と声かけられる他人から

鳥取・倉吉中央 牧野 芳光

そういうことがありますね。川柳の句会&大会に参加する際はおおむね鉄道を使います。その節、二・三度「お父さんどうぞ」と席を譲られました。牧野さん、『おじいさん』と呼ばれたのではないので、「好し」としましょうか。

大切に仕舞っておいた京言葉

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

モバイルネットワークの進化

(株)TOKS 代表取締役 岸鶴 浩司

携帯電話は、国内では一九八五年にレンタルが開始されました。見た目は携帯電話と呼べるような小型のものではなく、移動電話あるいは自動車電話というようなものでした。一九九〇年代はまだまだポケベルを持っていた人が多く、公衆電話も至るところにありました。

二〇〇〇年代に、今で言うガラケーの全盛期を迎え、好きな音楽の「着メロ」がはやり、写真を撮ってメールで送る、いわゆる「写メ」がはまりました。二〇〇七年にiPhoneが発表され、二〇一〇年代はスマートフォン時代となり、今はMVNO (Mobile Virtual Network Operator) と呼ばれる仮想移動体通信事業者であふれ、高性能で低価格の時代になってきています。

契約数で見ると、二〇〇〇年を境に携帯電話の契約数が固定電話を上回り、ついに契約者数は一億五〇〇〇万に達し、その半分がスマートフォンです。二〇一八年にはスマートフォン普及率が七〇％を超えると言われています。

総務省によって電波の周波数の割り当てが決まっており、携帯電話に使われている低い周波数帯は、直進性が弱い反面、障害物の陰にも回り込む特性があります。周波数が高くなるにつれ、電波の直進性が増す反面、障害物があると反射してしまう特性があります。それぞれの周波数帯がさらに移動体通信事業者に割り当てられて運用されています。

各携帯電話事業者は、使用周波数の増加とともに、「世代」と呼ばれるバージョンアップをしてきました。日本のモバイルトラフィック(通信量)は一年で一・七倍に増え、一〇年で一〇〇〇倍になると言われています。現在は、4G(世代)として高速で大容量のサービスで各社しのぎを削っています。そして、複数の異なる周波数を束ねるCA(キャリアアグリゲーション)が導入され、複数のアンテナを組み合わせてデータ送受信の帯域を広げるMIMO (Multiple Input Multiple Output)の高度化により、次の5G(世代)に向かっていきます。国内の携帯電話市場は飽和状態になっています。さまざまなパートナーと組んで、新しいサービスを提供する時代になってきたといえます。

(第三六〇地区大阪府大阪梅田RCCにて同RCC会員)

公益財団法人
米山梅吉記念館

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日
12月28日～1月4日
整理のための休館日
(5月、8月の特定日)

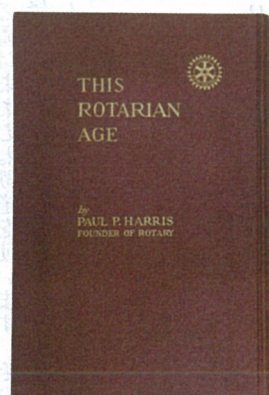
〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL 055-986-2946
FAX 055-989-5101
Email yumh@ai.tnc.ne.jp



目的としています。あなたの申し出はまさに私の目的にかなうものです。……もしよろしければ『THIS ROTARIAN AGE』の日本語版が印刷できたら、数冊送っていただきたいと思います」

米山とポール・ハリスは、ハリスが昭和一〇(一九三五)年二月に来日した折に初めて会っています。この時のことをポールは、米山が親身に世話を焼いてくれたこと、船の甲板からの富士山が壮麗であったこと、帝国ホテルでの月桂樹植樹が印象深かったことなどを、後日回想しています。

米山とポール・ハリスは互いに心が通じ合っていたように思います。



『THIS ROTARIAN AGE』訳書
『ロータリーの理想と友愛』
表紙

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

コーチング

香川ファイアアローズ
ヘッドコーチ ジョー・ナバーロ

人材の育成手法の一つにコーチングがあります。コーチングはまず、体を動かして学ぶ人、聴いて理解する人、目で見て学ぶ人など各人の学習スタイルに着目します。教えることとコーチングの違いは、教えるという行為が、その場その場で完了する直接的指導である一方、コーチングは共にあることで達成される、同士や仲間といった関係性を伴うコミュニケーション技法である点です。

コーチングでは、家族的环境をつくりまします。コーチングを受ける人は、自分の成功に関心を持つ人からの後押しによって、理

解を深めます。彼らはコーチがどれだけ知識を持っていたとしても、自分たちのことをどれだけ気にかけてくれているかがわかるまで、言うことを真剣に考えてくれません。

チームという組織の中では、共同体としての成功と、個人としての目標達成を実現します。全員が、チームの成功と個々のメンバーの失敗を共有します。

また、個々の決断を歓迎、促進します。チームのメンバーは、自分たち自身に決断する自由があり、必要なときに実際に決断できると信じなければなりません。このように信じることで、初めて指導する環境が整います。チームのメンバーにはどのようにプレーすればよいのかという原理原則を教えるのであって、プレーの型をたくさん教えるではありません。

コーチングでは楽しむことが大切です。人は楽しんでいるときこそより多く学ぶことができます。また、きょうだい愛を高めることが必要です。全員がチームのメンバーに対して、きょうだいであるかのように意識を向け合う必要があります。メンバーが自分たちの家を守らなければならない、という意識を持つことが大切です。

(第二六七〇地区・香川県・高松南RCにて)

米山梅吉没後七〇年シリーズ

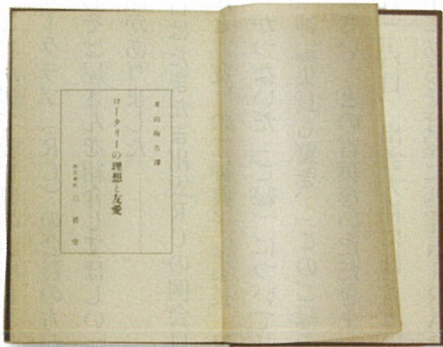
米山梅吉の一冊

ポール・ハリス著『THIS ROTARIAN AGE』
訳書『ロータリーの理想と友愛』

昭和十二年五月発行、二八〇ページ
定価一円八〇銭

米山梅吉が翻訳したこの本は、ポール・ハリスが書いた『THIS ROTARIAN AGE』を和訳したもので、米山がこれを『ロータリーの理想と友愛』として出版しました。この出版に関して米山が送った手紙の返事がポール自身から送られてきました。

「……私は、あなたが『THIS ROTARIAN AGE』を日本語に翻訳・出版するという考えに心から大賛成であることをお伝えします。大変うれしく思います。私の執筆物はロータリーの意義を広く伝えることを主な



『THIS ROTARIAN AGE』訳書
『ロータリーの理想と友愛』

台北滬尾RC姉妹締結 更新訪問

津島 寺島 淳一

の日本人はいぼっていたそうです。八田氏の行動は、今年度の国際ロータリーテーマ「人類に奉仕するロータリー」に通じていると感じました。(第二七八〇地区 神奈川県 不動産建物管理)



5年ごとに行われる姉妹クラブ更新締結式

当クラブは台湾の新竹市淡水にある台北滬尾ロータリークラブ(RC)と二〇〇六年一月に姉妹クラブを締結して一〇年間、互いのクラブを度々訪問し合い、友好を深めてきました。姉妹締結は五年ごとの更新となっており、最初の締結式には当クラブから台北滬尾RCを訪問、五年後の二〇一一年には台北滬尾RCの会

員に当クラブを訪問してもらい、更新の締結式を行いました。

満一〇年となる今年度は、当クラブから浅井彦治会長はじめ一〇人の会員が締結式に出席するため台湾を訪問しました。一〇月二六日午後六時半から始まった締結式には、台湾第三五二〇地区ガバナーやガバナー補佐をはじめ、近隣クラブの会長、幹事が出席して進められ、無事、締結書に調印し、姉妹クラブとしての新たな五年間が始まりました。

締結式後は懇親会に移り、「乾杯! 乾杯!」とあちらこちらで声が上がリ、酔いが進み、カラオケも始まりました。一〇年もの付き合いがありますので、会員同士、和気あいあいと遠慮することもない、楽しい宴となりました。翌日は台北滬尾RCの案内でクルージングなどの観光をして、楽しい一日になりました。この先もいろいろな形で友好が深まっていくのだろうと感じた二泊三日の訪問でした。

(第二七六〇地区 愛知県 塗装業)

『ロータリーの友』が つなぐ縁

出雲 石原 一徳

出雲といえば、連想するものは何でしょう? 出雲大社、出雲そば、ご縁などいろいろあると思います。先日、まさにこれらをつなぐことが『ロータリーの友』を通して起こりました。

『友』二〇一六年七月号本欄中の「わがまちの味」で出雲の名物「割子そば」を紹介しま

したが、これが縁で愛知県の西尾KIRARARARロータリークラブ(RC)の会員の方から「おいしいおそば屋さんを紹介してほしい」と事務局に電話がありました。

その日はたまたま出雲RCの例会日で卓話者なんと『友』の二神典子編集長。早速、この『友』がつかないだ「ご縁」について話したところ、二神編集長も驚き、「このご縁を大切にしてください」との言葉をいただきました。

一月二六日、出雲大社にほど近い出雲伝承館の中にあるそば屋に西尾KIRARARARの中根勝美会長をはじめ一四人の皆さんが訪ねて来られ、当クラブのバナーをお渡ししました。まさに出雲のご縁とロータリーの親睦を実感した瞬間でした。

(第二六九〇地区 島根県 蕎麦配布)



出雲のご縁とロータリーの親睦を実感

わがまちの味

人吉 つぼん汁



国宝青井阿蘇神社で行われる人吉球磨最大の秋祭り「おくんちさん」のお祝いに欠かせないのが「つぼん汁」。具材は、ニンジン、シイタケ、ちくわ、紅白かまぼこ、こんにゃく、ゴボウ、サトイモ、あげ豆腐、地鶏と必ずこの9種。それぞれ具材には意味があります。各家庭で微妙に味が異なり、こだわりを感じる味です。

本田 節（熊本県・人吉RC）

報恩の国際奉仕

長崎県 三浦 達美

一九四五年、太平洋戦争は終わったが、わが国は悲惨な状態だった。ことに食料不足が深刻で、このままでは一〇〇万人の餓死者が出る、と憂慮されるほどだった。苦境にあえぐわが国に、熾烈な戦争相手だったアメリカから恩讐を超えた、温かい援助の手が差し伸べられた。

ララ（LARA・アジア救援公認団体）というアメリカの団体から、粉ミルクなどの援助物資が次々に届けられ、日本の子どもたちはそ

のおかげで栄養失調を免れたのである。ララのほかにケア（CARE・国際ケア機構）という援助団体もあり、両団体からの援助を金銭に換算すると、五七〇億円に上るとも言われている。七〇年以上前のこの額である。ちなみに一九四六年の政府予算が約一二〇〇億円というからいかに巨額な援助であったかがわかる。

世界の真の平和と繁栄は、一人ひとりの国際奉仕の積み重ねを抜きにしてはあり得ない。ロータリー財団一〇〇周年にあたり、日本国民としてあらためて戦後の歴史を顧み、報恩の意味からも国際奉仕に努めたい。

（第二四〇地区 長崎県 仏教）

ふるさとの偉人 八田 與一氏の足跡を訪ねて

平塚北 佐々木重輝

二〇一六年一月四～五日、台湾の台南市にある烏山頭ダムを見学してきました。このダムは今から約九〇年前、石川県金沢市出身の八田與一氏（一八八六～一九四二）の指導により建設されたもので、ダムの完成により、この地方の食料難はなくなったそうです。また、八田氏は台湾全土の農業用の灌漑（かんがい）工事に携わったことから、今でも多くの農業関係の人々から深く敬愛されています。

ダムのそばには八田氏をしのぶ数々の遺品や、夫妻の銅像がありました。その尊敬の度合いは半端なものではありません。今でも小学校の教科書に載っているほどで、私たちが行った



烏山頭ダムで八田與一氏の功績を目の当たりにしました

時も多くの子どもたちが見学に来ていました。私が台湾に着いた時、「八田與一のダムを見た」とガイドに言くと、ガイドは「八田先生」と直立不動になり、「台湾で一番尊敬されているのは八田先生だ」と話し、同行していた八日市屋敏雄会員が金沢市出身だと知ると、握手を求め、涙ぐむほどでした。

今回、私たち平塚北ロータリークラブ（RC）の六人は、姉妹クラブの桃園RCの創立五五周年記念に招かれての訪台で、式典のあいさつの中で「日本人が知らなくて台湾で最も尊敬されている八田與一と同郷であることを誇りに思う」と話しました。食事会の時、「感動した」と握手を求めてくる人もいました。後でわかったことですが、八田氏はダムを造ったから尊敬されているのではなく、建設の過程において台湾の人たちと日本人と平等に接したからだそうです（当時の台湾は日本の統治下にあり、多く

という。

大事なことは、現地に則した指導ができること。歴史の断絶、寄付を含めた資本の流入、経済発展、政府から民衆までまん延する倫理観の欠如など、アンバランスさがこの国の混迷をより深めているのは間違いない。

一方で、サッカーの二〇一八年ワールドカップ・アジア二次予選で日本と戦い、善戦した様子に、国民は一体となつて応援し、敗退したとはいえ、国際試合で戦えるまでに成長したことに驚喜したという。また、かつて盛んだったシルク織物や陶芸の伝統技術を復活させる試みもあるという。「神が造つたと思つた」といわれるアンコール・ワットは間違いなく自分たちの祖先が造つたのだ、という誇りも再確認されているようだ。

一つひとつが彼らの自信となり、自分の国を知り、愛するきつかけとなつてくれればと思う。問題を抱えつつも、穏やかで親目的なカンボジアの人々の未来が、良い方向に向かうことを願ってやまない。

(第二六〇地区 大阪府 学校歯科医)

あらためて 心から願う世界平和

熊野 濱田 直美

当地区の今年度の目標は、「One profits most who attends most (最も出席するもの最も報いられる)」です。地区大会ではそれを受け、剣田廣喜方バナーが、皆出席を継続している会

員、長寿の会員などを表彰しました。受賞者代表として登壇した、郡上八幡ロータリークラブの大畑於左武氏（おきだけ）のスピーチを聞き、胸が熱くなりました。大畑氏のスピーチの抜粋を紹介したいと思います。

生きて戦うために手当たり次第、草を食い、ジャングルに無数にいるクモ、バッタ、コオロギ、トンボ、セミまで、口に入るものはすべて食つて、戦う。そして銃弾に倒れた戦友は、土はおろか落ち葉もかけてもらえぬ。

栄養失調か、食べ物の変化で五体は象の足のように膨れ上がって動くこともできない。抵抗力がなくなれば、マラリアの高熱で倒れても、起き上がる気力もない。下半身を負傷すれば、自分で草や木の実を拾って食べることができずに、その場所が彼らの終焉（しゆうえん）の場所となる。

国のために名誉の戦死と言われても、家族にも知らせてもらえず、人の命を塵芥（ちりあか）のように掃いて捨てる。これが戦場です。……地球上に



地区大会でスピーチをする

大畑於左武氏

人類が共存する限り、国が違い、人種が違い、経済、文化、宗教まで違えば当然争いは起こります。争いは、その結末は、時代が変わっても大同小異。したがって、『人類に奉仕する口』

タリー』『人類は一つ』を提唱するロータリーこそ、必要不可欠です。

思いを同じくする友達を一人でも多くロータリーに迎え、ロータリアンの愛の手で提唱する平和が、至極当たり前の平和になるように、子、孫のために念じます。

大畑氏は、六〇歳の誕生日にロータリークラブに入会され、現在九七歳です。若いころ、千葉県習志野市の騎兵第一五連隊に所属し、幾多の戦場に従軍。その後、終戦までの八年間に五回も銃弾を受けたそうです。戦争末期には、特設巡洋艦・清澄丸、戦艦・山城、駆逐艦・夕月などに乗艦し、南太平洋の戦地（ガダルカナル・ブーゲンビル島）での惨状を目の前で見聞き、肌で体験されました。

だからこそ、魂の叫びのような言葉でした。その大畑氏をして、ロータリーに対する思いを語られたことが大変感動的でした。スピーチが終わるとスタンディングオベーションが起きました。

私の祖父もニューギニア辺りで戦死したことでしかわからなかったそうですが、祖父の死を見届けてくださった人が、戦後二〇年かけて、家を探し当て、亡くなった折の話を家族に伝えてくれました。その話はまさに大畑氏のお話とかぶる壮絶なものでした。私の父は、常々平和を語っていましたが、いつも心の中には、戦争で亡くなった祖父がいたのだと思います。ロータリーの提唱する平和な世の中が来ることを願わずにはいられません。

(第二六三地区 三重県 不動産業)



「漁業者あつての職業です」と語る田中昭由会員

中から網揚げ用ドラムで網を巻き上げる際に、摩耗し切れやすい。盛漁期には一か月ほどで傷み、漁網ごと廃棄しなければならない。どうにかならないか」

さっそく改良に取り組んだ。約半年の歳月をかけ試行錯誤を重ね、何回もテストを繰り返した。試験的にその漁網を使った漁業者からは「傷みが少なくなった。これなら大丈夫だ」との報告を受けた。さっそく二〇一四年から新しい漁網の売り出しを始めた。

使用した漁業者から「これなら一年以上はもつようだ。網の手入れもしやすくなる」と称賛の声。高齢の漁業者からも「これならまだ漁業を続けられる」と喜ばれた。これまで取引のなかった地方の漁業者からも問い合わせや注文が舞い込んできた。だが、知り合いの漁業者から懸念の声が出た。「傷まない網を作ったら網は売れなくなり、お宅の会社は儲からなくなるの

では……」。田中会員はこう答えた。「漁業者あつての職業です。漁業者が安心して経営できるようにお手伝いするのが私の使命です」。まさに「損して得を取れ」。

その後、知人の勧めで改良した漁網を二〇一六年度の「北海道新技術・新製品開発賞」のものづくり部門に出品したところ、見事、大賞に輝き、高橋はるみ北海道知事から表彰され、この受賞が地元の新聞やテレビに大きく報道された。

「漁業者に少しでも役立ち、うれしいです。職業は金儲けでなく、やはり奉仕の心が大切ですね」と話す田中会員の事務室には「四つのテスト」が掲げられていた。

（第二五〇〇地区 北海道 観光事業）

カンボジア 医療支援活動レポート

豊中千里 五條 房己

関西国際空港を深夜に出発し、タイでのトランジットを経て、カンボジアへ。飛行機の窓から見えるカンボジアは、一面の緑の大地、蛇行したメコン川が流れ、集落に人々の営みを感じられる。九月一七日朝、定刻通りプノンペンに到着。翌朝、手配していた年季の人ったバンがホテルに到着。通訳を伴いプノンペンから約一時間かけて八〇キロメートル離れた保健医療センターへ向かう。

「最初はささいな鼻づまりで投薬を受ける。でも、薬を出す方も知識がない、もしくは、金

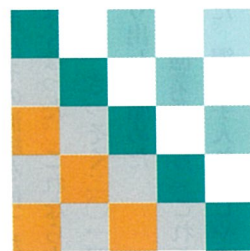
もうけのために大量の薬を出す。だから、今度は胃が荒れてしまう。そして今度は胃が痛い」と訴え、薬を飲む。どんどん悪化してしまう」「薬を買うことも財政的には厳しいが、助け合いの精神から、家族、親戚、友人が苦しい生活をしてながらも金を出し合う」「そんな思いをしてまで得た薬で体を壊したり、ひどい時には偽薬だつたりする」。これがカンボジアの医療の現状だそう。カンボジアにも薬剤師はいる。しかし、教育の質と学費側の意識の低さから、知識も志も乏しく、薬局を経営できる権利としてしか機能していないのだ。

保健医療センターに到着し、受付、診察スペース、問診スペースを確保して診療スタート。受付では現地のスタッフが、患者の持ってきた診察カードをもとにカルテを探して番号札とともに本人に渡す。簡単なことのようにだが、実はこのシステムが理解されるまで時間がかかった



受付では、事前に症状を尋ねます

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など、1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

庄原こども ミュージカル

庄原 児玉 節

一〇月三日、広島県庄原市民会館での庄原こどもミュージカル「ピーターパン」は大盛況のうちに公演を終えた。

スタートしたのは二〇〇〇年。いじめ、学級崩壊などの問題と、庄原も無縁ではなかった。子どもたちの暗い表情に危機感を抱いたのは、保健師たちだった。「子どもたちのいい顔が見たい。本物に触れさせてあげたい」という呼びかけにクラブとして賛同したものの、公演には経費として五〇〇万円、出演者は一般公募で五〇人以上が必要だという。本当にできるのだろうか。不安がよぎった。何の後ろ盾もなく、すべてが手探り、確かなのはプロの指導者だけだった。



このミュージカルの目標は「子どもたちのいい顔」

しかし、新聞記事やチラシで参加者を募集すると一〇〇人が募集に応じた。週一回のレッスン、このレッスンが実に楽しい。レッスンの場が自分を表現する場所になる。このミュージカルの目標は「子どもたちのいい顔」。目的は子どもたちの個性豊かな人格形成。引っ込み思案だった子どもが、レッスンを受けているうちに少しずつ手足が伸びるようになる。表情が豊かになり、自分にも他人にも優しくなり、自分に自信が持てるようになる。きらびやかな公演の場で子どもたちは自分を表現し、達成感で高揚する。

今回で一七回目を迎える庄原こどもミュージカルには、延べ一〇〇〇人が参加したが、参加した子どもはもちろん、保護者の評価も高い。大学を卒業し、帰郷し、実行委員として協力してくれる人もいる。

存続の危機は何度もあった。少子化の影響もあって参加者が減少、公演の費用が賄えない。これ以上の存続は無理という時に、広島東洋カープの松田元オーナーから呼び出しがかかった。カープとのコラボTシャツの寄贈と販売。マツダスタジアムでの始球式と踊りは夏の風物詩となっている。参加者が増加し、オーナーの助力もあって運営資金にもめどが立ち、存続が決まった。

今も、庄原こどもミュージカルは、有志による実行委員会や当クラブをはじめとして、多くの支援スタッフの熱意によって支えられている。「子どもたちのいい顔が見たい」。その熱い思いでこの一大イベントが一七年も継続できたことは、ある意味奇跡的なことである。

(第二七二〇地区 広島県 外科医)

光る職業奉仕 漁業に貢献

根室西 倉又 良春

「職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ」。これは一九八九年の規定審議会で採択された「ロータリアンの職業宣言」の一つである。当クラブの田中昭由会員は常にこの宣言を心に刻み、漁業者の悩みを聞き入れ、安定した漁業ができるよう漁網の改良に取り組み、ロープと漁網を連結する新たな技術を生み出して喜ばれた。「超我の奉仕」の話である。

漁業資材製造販売会社を経営する田中会員は、漁業者からこんな愚痴を聞かされた。「海



延岡東ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
NOBEOKA EAST



なっていました。その一年間、創立会員二十八人は一致団結、熱心に会に参加しました。その伝統が続いているのでは」

例会は冒頭、全員が起立してロータリーソング、「四つのテスト」の唱和など定番の進行。あっと思ったら、会員が誰彼となく相手を見つけては両手で握手しあっている。記者も近くにいた何人にも握手を求められた。この握手セレモニー、なかなか心地よい。こんなスキンシップも団結の証しではないだろうか。

「会長の時間」で、中島会長が牧水の歌を一首紹介した。

妻が眼を盗みて飲める酒なれば

惶て飲み噎せ鼻ゆこぼしつ

牧水は酒豪として知られる。一日に（一晚にはありません。朝から飲んでいた）一升二升は辞さなかったそうだ。これは医者に酒を止められた



例会風景。中島司人会長（左上）

最晩年の歌と見える。牧水の酒の歌にはもつとよいのがあがる、この歌はいじましい。塩月眞さんにいたいた著書『牧水の風景』（延岡東郷町人会刊）によれば、死因は急性胃腸炎兼肝臓硬変症。健康であつてこそ酒はおいしく楽しめる。

例会の前夜、延



カトレア会のみなさん

岡東RCの役員さんたちと会食したのは、会員の池田憲治さんの店「四季亭・仁吉」。ここで初めて、延岡で一軒だけの酒蔵であり清酒専門の酒蔵としては日本最南端の千徳酒造の冷酒貯蔵酒をいた

だく。すつきりしてくせがない。名物の深海魚メヒカリの唐揚げなどを肴にさらに同蔵の金雲を燗酒で。こちらも飲み心地がよい。千徳社長の門田賢士さんも延岡東RC会員だが、ご身内の葬儀があり会えなかった。翌朝、蔵を訪れると、早くから最高級の大吟醸を絞る作業で一步も蔵から出られなかった。かわりに先代社長で取締役相談役の田丸眞さん（延岡東RC元会長）が、話してくれた。「門田社長は当蔵初のはえぬきの杜氏です。それまでは丹波杜氏が来ていましたが、門田社長になって味が安定しました」。田丸さんはそれまで燗酒主体だった日本酒でいち早く冷酒を発売して、それが当たり。延岡市観光協会会長のころは「乾杯は冷酒で！」を市内に流行らせたそうだ。

例会の夜は、会員の竹内圭介さんの店「国技館」で、カトレア会と延岡東RC関係者が歓迎の宴を開いてくれた。カトレア会は延岡東RC会員の夫人たちの会で会員数六〇。三〇年以上の歴史をもつ。昨年の地区大会のお接待を中心になって担っ

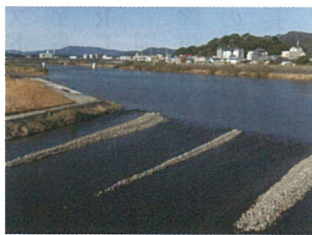
たのがカトレア会だった。内助ならぬ外助の功だ。乾杯はもちろん千徳の冷酒である。「国技館」は川を堰き止めスノコでアユを獲る伝統の鮎やなを唯一守っている店だ。地元名産へすブリはじめ新鮮な魚介類が並ぶ。延岡が発祥というチキン南蛮があったが、こちらは燗酒によくあう。宴たけなわ、塩月さんが牧水の歌を朗誦した。

それほどにうまきかと人のとひたらば

なんと答へむこの酒の味

酒宴の前、中島会長に柱の陰から呼ばれた。「はい、これ」。渡されたのは名刺の束だった。じつは記者としては恥ずかしいが、二十数枚持ってきた個人用の名刺が例会までに尽きてしまっていた。それを聞いた中島さんが、自分の会社で名刺をスキヤンし印刷してくれていたのだ。これが一番のびっくりだった。お接待も極まれり。恐縮して押し頂いた。その夜、詠んだ駄句だ。

身に沁むはお燗の酒にお接待



アユ漁で有名な大瀬川



千人殺しの石垣

岩田一平（いわた・いつぺい）ジャーナリスト、歴史作家。アサヒカメラ、朝日新書編集長など歴任。著書に『縄文人は飲んべえだった』『珍説奇説の邪馬台国』ほか。

熊谷武二（くまがい・たけじ）写真家、公益社団法人日本写真家協会会員。人物、歴史を取材テーマに、雑誌、出版物等に発表。写真集『神戸・消滅と再生』（講談社）。



愛宕山から延岡市内を一望



旭化成の工場



文化センター前の牧水フィールドミュージアム

化学工場といえば旭化成である。延岡に大正年間に創業。旭化成の企業城下町といわれ、高度成長時代の最盛期には従業員一万八〇〇〇人にのぼった。いまは五五〇〇人ほどになり、関連会社の仕事も減ったが、昨年はリオデジャネイロ五輪で旭化成柔道部の三選手が金と銅二つのメダルを獲得、今年正月は旭化成が一八年ぶりにニユーイヤー駅伝に優勝するなど存在感をアピールした。代々の旭化成延岡支社（現在は東京が本社）の総務部長は延岡東RCの会員になってきた。

「これまで延岡も経済第一主義の時代がありました。では、これから延岡東RCはどうするか。もともと郷土の文化に目を向けようとして着目したのが牧水です。二〇一五年に当クラブは『若山牧水ライフワーク宣言』をしました」と、野中さんが言う。牧水の本名は繁。同じ宮崎県の東郷町（現・日向市東郷町）の坪谷に一八八五年に生まれ、一九二八年に静岡県沼津市で亡くなったが、尋常高等小学校、延岡中学（現・県立延岡高校）と延岡で暮らし勉学に励む。短歌をはじめ、牧水を名乗り出したのも延岡時代。上京し、早稲田大学に進学する。

故郷に帰り来たりて先づ聞くは
かの城山の時告ぐる鐘

牧水の聞いた延岡城址の鐘はいまも撞かれています。旭化成の企業城下町の前は明治維新まで一四四年間にわたり、内藤家七万石の城下町だった。城には高さ二二メートルの「千人殺し」と呼ばれる急な石垣があるが、毎年一月、その前で演じられる天下一薪能が有名だ。吉岡さんは、新能の前の時期に、切り立った石垣に登って雑草取りをするボランティアを三〇年余りしているという（「そんなこと、書かないでください」と釘を刺されたが、いい話なので書いてしまった。ごめんなさい）。

**例会出席率はいつも上位
固い団結で結ばれた仲間たち**

延岡東RCは牧水生誕一〇〇周年に当たりクラブ創立二〇年の一九八六年に浄財を集め牧水の銅像を延岡市に寄贈し、牧水の誕生日八月二十四日は毎年、生誕祭を行い周辺の清掃奉仕をしてきた。だが、像は延岡総合文化センターの目立たないところに置かれた。それを、二〇一六年の生誕一三〇周年、延岡東RC創立五〇周年、加えて文化センター三〇周年を機に、像を建物の正面入り口前に移動し、牧水の業績を紹介するパネルを設置したフィールドミュージアムに整備して、新たに市に寄贈した。カラーグラビア付き九六ページ

の冊子『繁が牧水になったまち延岡 若山牧水』も刊行したが、こちらは地元書店で販売するとともに三〇〇冊を「市内の子どもたちに」と延岡市に贈っている。編集委員長は牧水と同郷で若山牧水延岡顕彰会会長の塩月眞さんだ。宮崎日日新聞で文化部長、報道部長などを務めたジャーナリストで、以前は延岡中央RCの会員でもあった。子息の隆久さん（建設コンサルタント）は延岡東RC会員である。

創立五〇周年事業の実行委員長は薬剤師の佐藤隆俊さん（第二〇代会長）。二八人いた創立会員の最後の一人だ。副委員長は電気機器販売会社会長の飯干喬啓さん（第三九代会長）。

「わたしも早稲田です」と飯干さんに言われ、思わず背筋が伸びた。記者もじつは早稲田出身。飯干さんは一六歳も先輩にあたる。早稲田大学校友会延岡稲門会会長。牧水の母校、延岡高校の同窓会長でもある。

さて、延岡東RCの例会は月曜日一二時半から、結婚式場ガーデンベルズ延岡で開かれた。特筆すべきは例会出席率の高さである。昨年度も九八・五二％だったが、「五〇年にあたり九七・九八％を維持しています」（中島会長）というから、これまでびつくり。なぜ高いのか尋ねると、いささか首をひねり、「はて。初めから出席するのが当たり前になっています。段取りがよいのも関係あるかな。たとえば、会はず定刻に始め、きっちり定時に終える」。

飯干さんが、こんな解説をしてくれた。

「スポンサークラブは延岡RCですが、じつはテリトリイ分割の調整がなかなかつかないなどで、一九六六年に創立したのに認証は一年後に



弘法大師像

高い弘法大師像に早くも三つ目のびつくりだ。一九五七年建立だから今年選歴の記者と同じ年。吉岡さんは産業廃棄物処理や木材リサイクル品製造などのエコ・リサイクルセンターの社長である。今山大師では住職の野中玄雄さんが待っていた。二〇一五―一六年度の第二七三〇地区（鹿児島県・宮崎県）ガバナーであり、任期中に延岡市で地区大会を開催した。延岡東RCから出た二人目のガバナー。この時の大会コンセプトが、こちら。「集えロータリアン！ 水郷とお接待のまち延岡へ！」

今回の取材を通じて、「お接待」こそ延岡東RCを語るキーワードだと感じることになる。

今山大師は江戸後期の一八三九（天保一〇）年、延岡で流行した疫病退散を願って高野山金剛峯寺から弘法大師座像を勧請したのに始まる。弘法大師が開いた四国霊場八十八箇所めぐりのお接待の美風も延岡に息づく。見返りを求めず客人を篤くもてなし功德を積む行いだ。大師の命日の旧暦三月二日を祈念して四月の第三金土日開催される今山大師祭は「九州三大春祭り」の一つ。九州一円から参拝客が訪れる。延岡東RCのみなさんの多くがボランティアでお接待に当たる。

「一五年の地区大会でも会場でのお接待が好評

で、『おもてなし以上の延岡のお接待』として、地元に戻って紹介くださった鹿児島島のクラブ会長さんもいました」と、野中さんが言う。

昼時で「手打ちそばをどうぞ」と勧められる。厨房を覗くと俳優の故・金子信雄さんに似た男性が忙しげにそばをゆがき水にさらしている。会員の中山優治さんだ。整体師だが、そば打ち名人に師事し、「晨翁蕎麦」の看板を許された。

「できたら、すぐ食べて！ どんどん鮮度が落ちちゃうんだから」

あれ、何だかべらんめえ調だ。聞けば東京・浅草の出身。以前は神奈川県にいたが、どこか島に住みたいと思い立ち奥さんと全国行脚、一年前に延岡の島浦島に移住した。整体師の分厚く柔らかな手が紡ぐそばはごく細い。新そばが香り立つ。さつと炙った鴨肉が浮く、ほどよく甘辛いつゆにたぶたぶとつけ、つるつる。この、のどごし。感激のおそば接待。

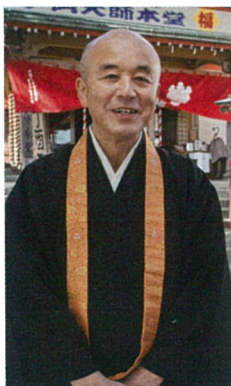
延岡東RCの創立は一九六六年だ。昨年五〇周年を迎え、今年度は「伝統を受け継ぎ、百年に向けて新たなスタート！」を

スローガンの冒頭に掲げる。会員六三人（うち女性三人）。「若手からベテランまで本当に仲の良いクラブです」と語る中島会長は印刷会社社長。鹿

児島大学卒業後、エンジニアとして東京に本社のあった日産自動車でターボエンジンの設計をしていたが、家業を継ぐため



達富脩さん



野中玄雄さん



中山優治さん



田丸眞さん

飯干喬啓さん(左)と創立会員の佐藤隆俊さん



にふるさとに戻った。「延岡のいいところですか。水と空気が良いところかな」。延岡東RCの最高齢、八六歳の達富脩さん（第二四代会長）が言う。住宅機器販売会社の現役社長だ。京都出身。週二回は仕事で宮崎市との間を行き来している。

お会いした夜も米山記念奨学金の面接選考を終え、会場の都市市からとんぼ返りしたところだ。たいそうお元氣。「確かに社長を長くやっていますが、そう自慢できませんわ。後進に託していかねばならないのですが」

延岡東RCのバナーは延岡の美しい海と空と、海を象徴する青が基調だ。そこに化学工場のシルエットと水郷延岡の名物アユを組み合わせた図柄がある。

「お接待」がキーワード 水郷のまちで郷土の文化を守る

文・岩田一平 写真・熊谷武二

延岡は若山牧水「青春の地」
奉仕活動で顕彰する

びっくりした。宮崎空港に降り立つと暖かい。
真っ青な空が広がっている。何しろ、この日は北
海道から本州まで今季最強の寒気団がすっぽり覆
い、東京は最低



気温マイナス二、
三度、大阪も雪景
色だったのだ。空
港駅から特急にち
りん10号で延岡駅
に着くと、またも
びっくり。改札を
出るや歓迎の赤い
文字と私と熊谷カ
メラマンの名前を
大きく印字した紙
が目飛び込んで
きた。いささか面

映ゆい。わざわざ延岡東ロータリークラブ(RC)
の中島司人会長、高橋寿副会長ら延岡東RC役員
の方々が四人も迎えに来てくれていた。

「さ、まずは、おだいっさんに参りましょう」。
促され、広報委員長の吉岡宜彦さん運転の車で
今山大師に向かう。青銅製で高さ一七メートル、日本一



クラブが贈った若山牧水像を囲んで



なく、私たちも表情が足りないのです、このところを意識してください。

喜怒哀楽のうち、自分はそれに伴った表情で言葉をもって伝えているのかどうか。こんなことが、近所の子たちと接する時にも、重要なことだと思います。おじさんが怒る、おばさんが叱つてくれる。これが、子どもにとって大切なことだと思えます。「そんなことをしたらダメ！」と言っただけではだめ。子どもにはわからないのです。表情を加えて伝えましょう。

風土・絆・文化の共通項は？

観光客が多い町・倉敷には「風と土の会」という集まりがあります。他所から来た人は風の人。土の人は、ずっとその土地に息づいて、その土地で暮らしている人のこと。

「風土」という言葉自体を考えると、春・夏・秋・冬の季節のサイクルが繰り返され、その土地ならではの風土というものができ上がっていきます。それと、風の人と土の人の関わり方によっても、町ができ上がっていつているのは。風の人が訪ねて来た時に、ここで暮らしている土の人と関わり、風と土が交わることもよっても、風土は生まれてくるものです。

人と人もそうですね。世代を超えてもそうですね。六〇代と二〇代の人が関わると、縦の関係になりますが、クロスオーバーする部分があります。ここに生まれるのが、信頼、信用といったもの。さまざまなことを話したり、ざっくばらんに素朴な話ができるようになったりします。

地元の偉人である実業家の岡崎嘉平太さん（一八九七～一九八九）、「備中聖人」と呼ばれた幕末の儒家・山田方谷（一八〇五～七七）にもそうした考え方は見られます。その岡崎嘉平太さんに教えていただいた言葉が、「信はたて糸、愛はよこ糸、織り成せ、人の世を美しく！」です。縦のつながりの信頼関係、その土地の信というものを紡いでいく。そして今の時代の横の繋がりに愛を持ち、互いに支え合うことで、人の世は美しく織り成していきけるのだよ、という意味です。

東日本大震災の年、京都の清水寺で書かれた今年の漢字は「絆」でした。私たちの町では、人が繋がることとか、「絆」が、きちんと息づいているのでしょうか。町にとって、とても大切なことだと思えます。これを深めていくためには、どうすればいいか。宿題ですね。答えはありません。絆という文字は、糸偏に半と書きます。

絆という文字は、一人ひとりの皆さんもお持ちなのです。これを完結させるために、どうしたらいいのでしょうか。糸の半分は相手、半分は私が持っています。糸の半分と糸の半分为「繋ぐ」。どうやって繋ぐかというと、手を出して握手をします。半分と半分が繋がって「一本」になりました。握手をすることではありません。お互いが気持ちの中を吐露する、吐くのです。正直に。そうすることによって、切っても切れない縁、絆というものが生まれるはず。町では、今、これが必要だと思えます。縦の世代、横の世代。隣近所。こういった繋がりををもっとと深めていかなければいけません。

日本列島の下真ん中は、あなたが住んでいる町です。東京でも大阪でもありません。地方の各地

の都市で「ここが日本列島の下真ん中だ」という強い意識を持つて、若い人たちに自信と誇りを伝えていかななくてはなりません。次世代へバトンタッチしていくのだ、という強い気持ちが地方創生、玉島創生に繋がると思えます。

その土地の人が培ってきた文化を伝えていきましょうよ。文明ではなく、文化をどう伝えていくかが、われわれの役割・仕事ですよね。

少し前、各地の自治体では平成の大合併が行われました。これにより、地域の小さな文化一つひとつが全部壊されてしまったのでは……。例えば、花火大会はそれぞれの町で行われていたのに一か所にまとめられてしまいました。それは財政の関係です。何で、金勘定で文化まで操るのですか。私は大反対でした。

小さな町の小さな文化が、なぜ必要か。「文」は「あや」なのです。「あや」というものは目には見えません。人と向き合った時に、間にあるのが人の「あや」なのです。昔の小さな藩単位の文化というものが、少なくとも江戸時代から続いてきました。その何百年の歴史の中で、それぞれの土地の文化が育まれてきたのです。

人との関わり方、ものとの関わり方、自分の仕事との関わり方、そういうものの「あや」が、姿形を変え「化けていく」のが文化です。「文（あや）」が「化（ばける）」＝文化、私の解釈です。私たちは思いつき、この「あや」をつくることによって、文化を継承していくのです。若い人に伝える。人を一人ぼっちにしない。自分も一人ぼっちにならない。そういう心意気を持つて、わが町らしい地方創生に繋がっていくことが、大切だと考えています。ありがとうございます。

言うのです。撮影中にそんな声を掛けられたのは、これが初めてのこと。前にも後にもありません。「どうしたのですか?」「町の伝統的なものを知するために、教育委員会と町の人たちが協力して、小学生は必ず、金沢の伝統工芸をグループに分かれて訪ねる授業があるのです」

小学生は、事前に郷土の伝統工芸の勉強をしてから現地を訪ねます。加賀友禅なら、子どもたちは実際に川の中に入って、工程を体験させてもらえます。金箔も、工房でたたかせてもらえます。

金沢はリターン率が高い、東京に出ても金沢に帰ってくる人が多いと言われます。それはおそらく子どもの頃、経験・体験して学んだことを通して金沢のことが大好きになり、自信と誇りを持っているからに違いありません。

金沢には城があります。兼六園があります。伝統文化があります。そして、金沢には若い人が戻って来ても、ちゃんと仕事があります。仕事があるから人が集まり、町が元気になります。仕事があるんだん活動性化すると、さらに人が集まってきます。なかなか論理的には進まない部分もあるかと想像しますが「ひと・まち・しごと創生事業」が上手なサイクルで自然に回っています。魅力度増す一〇〇割の金沢発の情報発信は、われわれの学びの、大いなる参考になると思います。

言葉だけでは……

「伝える」から「伝わる化」を図るには?

「メラビアンの法則」というのがあります。これはカリフォルニア大学の教授、心理学者でもあ

るアルバート・メラビアン（一九三九）の「この力の力」はどの程度あるのか、という統計結果による法則です。彼は、言葉がいかなる力をもつて相手にちゃんと伝わっているのか、何千人もの統計を取りました。言葉で何かを伝える時、言葉の力というのはどの程度あるものでしょうか。

人と人がコミュニケーションを図る時、言葉にどれくらいのパワーがあつて相手に伝わるのか。言葉の力+話の内容+表情を合わせ一〇〇割とすると、個々の言葉・内容・表情は何割ずつの力があるか? というものです。コミュニケーション能力がビジネスシーンで重要視される時代でもあり、本当に必要なことですよ。

ロータリアンは会社を経営していたり、病院を営んでいたりされていると思いますが、トップにいて部下と話をする時に、これは使えます。メラビアンの法則、つまり統計結果の答えです。言葉の力は七割、話の内容は三八割です。つまり、表情は五五割の力を持っていることになります。

何かを伝える時、言葉に添った形の表情が五五割の役割を果たしているのです。ところが私たちは、いつの時代からか表情を削ぎ取られてしまっ

ています。無機質になっています。当然、すべての人ではないにしても、多くなっている状況にあります。いい笑顔でお客さまをお迎えしたとしても、それは借り物の笑顔だと、お客さまに全てが伝わってしまいます。「おもてなし」などと言われておりますが、「おもてなし」は心からの素直な表情で、お迎えしなければなりません。

サービスが徹底していれば「おもてなし」になるか、というところでありません。プラスアルファのアルファに「お客さまファースト」の思いがあるのかが重要です。

「CGM+I症候群」、これは私がつくったものですが、Cはコミック、Gはゲーム、そしてMはメール。私の時代はメールでしたが今はラインです。それから、CGLと置き換えてもいいかもしれません。そして+I、これはアイ、目のことです。冷静に見てみると、今の若い人たちは人と話を直接していません。人の顔を見て、人の目を見て話すことが、今の若い人たちは本当に少ないのです。

しかし、私たちにも同じことが言えると思います。表情が大げさにならない程度に、きちんと言葉に合った表情になっているのか。若者だけでは



■倉敷芸術科学大学客員教授 演家 輝雄

一九四八年 広島県生まれ。神奈川県横浜市で育つ。明治大学法学部卒業。七二年 山陽放送（RSK）入社。二〇〇八年三月 山陽放送を定年退職。
同年四月 倉敷芸術科学大学客員教授、RSKラジオセンター理事を兼任し、現在に至る。フリーアナウンサーとしても活動中。著書に『ハマイエ本』山陽放送、一九九四年など。



現在の玉島の町並み…写真提供 倉敷市観光課

経験から言っても、テレビとか新聞・雑誌など媒体で出合ったものや見たもの・聞いたもの・触れたものが若い人の夢を育ててくれます。これは今も昔も変わらないことだと思います。

若い人たちにどれだけ自分の町を愛してもらうのか。それには、町をよく知ってもらう、歩いてもらうことが大切になります。まず、自分たちの住んでいる町の素晴らしさを語り合ってください。そして、町の活性化のためには何をしたらいいのか、若い人自身の力で考えていく道を創（つく）ってあげることも必要となります。若い力を町づくりを生かしてください。

伝統・文化を 継承できていますか？

比叡山では千日回峰の修行を積み高僧・阿闍梨（あじかり）が誕生しますが、俗世間も修行の場と言えるかもしれません。例えば、先代からの家業を自分が受け継いだら、フェードアウトさせるわけにはいきません。高度経済成長の時代は、知名度・認知度を上げ、売り上げを少しでも増やしてという、大量消費に結び付けることが美徳とされる時代でした。平成の時代は「ブランディング」の時代で昭和とは違ってきています。量よりも質の時代になってきたのです。地域にも言えることで「町の文化度」の質を向上させるための工夫です。人口減少地域はピンチでもありますが、新たなイノベーションの時でもあり、既存概念を超えた価値観を生み出すチャンスでもあります。

ひとつの文化として挙げられるのが言葉です。「方言」と言われる地方の言葉が、若い世代に伝わっていません。地元の伝統とか文化を次の世代に継承できていない証しのひとつでもあります。既存概念を超えて表現してみると、「方言」を故郷の「お国言葉」と置き換えることだけで、方言と言われる言葉に輝きが加わると思うのですが、いかがでしょうか？

地方創生は、地域の創造力のオリンピックです。新たな価値を模索する時でもあります。ものの見方・考え方を転換する、自己変革のグッドタイミングです。ひとりでは考えるもよし、みんなで考えるのもよし、行うのはいつですか？ 自信

と誇りを自分のものにするために！ あなたの順番です！

江戸時代、ここ玉島は、風待ち潮待ちの港町だったのですが、高梁川上流にある備中高梁の延長線上にある地で、倉敷と同じく「備中三白（塩・米・綿）」で栄えました。玉島港は備中綿を求める北前船で賑わいました。北海道からは鮭や昆布が、ニシンも運ばれてきました。倉敷では紡績業が繁栄しました。しかし、外国産の綿の輸入や繊維業の衰退で、山地の備中での綿栽培が消えていき、やがて、瀬戸内海沿岸の都市は衰退していくことになるのです。

倉敷美観地区近くの商店街を歩いたら駄菓子屋があつて、バクダンキャンディー（氷菓）を売っていました。おもちゃのウルトラマンを売っていました。こまやけん玉も売っていました。古臭いと思いますか？ いいえ、お客さんがすごいのです、子どもたちを中心に。「なんだ、昭和って力があるな」と思いました。私たちは単に「昔懐かしい」と思ってしまう、それで終わってしまいがちですが、「昭和をいかに取り戻すか」をキーワードにしても面白いですね。白壁となまこ壁の倉敷の町並みも、高層ビルの町から来た若い世代にとっては、実に新鮮な町に見えるそうです。

放送局に勤務していた頃、石川県金沢に取材で出掛け、加賀百万石は「一味もふた味も違う」という体験をしたことがあります。金沢には加賀友禅や金箔、そして大樋焼きなどさまざまな伝統文化があります。

金箔屋さんで撮影をしていると、女将さんが「ちよつとすみません、子どもたちが来ましたので、撮影を少しの間だけ止めてもらえますか」と

SPEECH

地方創生～
ひと・まち・しごと



江戸時代から、倉敷市の玉島港は大切な地域の宝 写真提供：倉敷市観光課

を少々間違えてしまった反省が、浮かび上がってきます。

私たちが暮らしていく上での幸福感というものは何でしょうか？ 昭和三〇年代の経済成長の指標だけでは計れない、表せないような新たな時代に入ってきたのは、間違いありません。

ですから、私たち大人と言われる世代が、若い人たち、子どもたちの世代へ、幸せとは一体何なのか、実感を持って掴めるものを一緒に考え伝えていく必要があります。

若い人はそれぞれ、自分の夢を持っています。しかし、彼らの夢の実現の方法は、私たちの時代のようなガムシヤラなエネルギーを投入せず、何となく流れに任せているようにも見えます。不透明な時代であることも背景にあるようです。

少し昭和の時代を振り返りましょう。昭和二三（一九五八）年、東京タワーができました。日本の高度経済成長の象徴的な建物です。ほかに当時の象徴的なものとして、長嶋茂雄選手、一万円札が登場したことも挙げられます。まさしく高度経済成長の入り口です。働けばお金がどんどん入ってきました。消費は美德という時代です。

昭和三九（一九六四）年、東京オリンピックが開催された年は、カラーテレビが一般的になった時代です。東京タワーができた頃は、白黒テレビでした。戦後、先進国・一流国に追いつけ追い越せの心意気が開き、なんとか先進国の仲間入りを確認できた第一歩が、東京オリンピックと云っても過言ではありません。

個人的な話ですが、オリンピック開会式の中継をテレビで見たことが、私の将来の夢、アナウンサーになることを描いた瞬間でもあります。私の

地方創生～ ひと・まち・しごと

どれほどの若い人たちが自分の町に自信と誇りを持っているでしょうか？ その町ならではの歴史・伝統・慣習・文化などが次世代に継承されているのでしょうか？ 今、「ふるさと」が地域経済の低迷や農林水産業の衰退などにより危機に直面しています。人口減少、少子高齢化の波にのみ込まれようとしています。地域に住む若者と語り合ってください。自分たちの住んでいる町の素晴らしさを伝えてください。そして、町を元気にするためには何をしたらいいのか、若い人自身の力で考えていく道を創ってあげてください。ふるさとの賑わい創生に向けて!!

倉敷芸術科学大学客員教授 濱家 輝雄
Teruo Hamaie

地域の「らしさ」とは…… 可能性と課題

今日は「地方創生」というタイトルを持ってきました。ひと・まち・しごと創生事業。国が主体となり行うのが地方創生？ そうではなく、「地方」を自分たちの町の名前に置き換え「〇〇創生」とした方が具体的に、ふるさとの原風景や豊かな心を取り戻す創生事業になるのでは？ ここでは「倉敷玉島創生」です。全国各地それぞれが本気の勝負に挑もうとしているのが地方創生です。その地域「らしさ」の知恵比べでもあります。可能性への挑戦です。

私は、大学で教鞭を執っておりますが、人は「言葉」で語り掛け「言葉」で考え・気づき、形にしていくものだと思っていて実感しております。最近、心に刻んでいる言葉があります。「往く道は精進にして、忍びて終わり、悔いなし」数年前、雑誌を読んでおりましたら、この言葉と出合いました。俳優の高倉健さん（一九三二～二〇一四）が心の中に刻んでいた言葉です。

「往く道は」――命あるもの全てが必ず、あちらの世界へ出掛けることになります。当然、「復路」はありません。人生は箱根大学駅伝のように

はいきませんよね。自分は精進しているかなと気になっております。往く道、しっかりと遣り遂げなくてはなりません。

この言葉は、比叡山延暦寺の僧侶・酒井雄哉（ゆうざい）師（一九二六～二〇一三）からいただいた言葉で高倉健さんの心に常々刻まれていたそうです。

私にとっては「ゴールに辿り着くまでに、何か残せるもの、伝えられるものを、しっかりと若い人たちにバトンタッチしようとしているのか？」と問い糾（き）されているようにも思えるのです。

容赦なく時代が流れて行く中、私たちはふるさとで暮らし、気がついたこと、経験したこと、体験したことの詳細を世代を超え、地域の縦糸として伝えていかなければならないのです。

「世界で最も貧しい大統領」が、話題になりました。南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領（一九三五～）です。この人の言葉にも考えさせられました。大統領としてインシアチブを取り、随分頑張られました。月給は、日本円で一〇万円ほどだったそうです。大統領官邸には住みませんでした。大統領専用車もなく、自分でクルマを運転し、行政、政治を「つかさど」っておられました。その人が「人類にとって幸せとは何か？」というキーワードを投げ掛けてくれました。

日本では、昭和三〇年代に始まった高度経済成長が頂点に向かいつつあった頃「今だけ・金だけ・自分だけ」という「三だけ主義」に到達してしまい、真の豊かさとは何であるのか、自問自答した時代がありました。あの頃の右肩上がりの成長は、確かに経済を指標にして考えれば間違いない現象であったのですが、ムヒカ元大統領の「幸せとは何か」となると、日本は登るべき「幸せの山」

3月は水と衛生月間です
3月13～19日は世界ローターアクト週間です

THE ROTARY-NO-TOMO

地方創生とひと・まち・しごと.....4

■倉敷芸術科学大学客員教授 濱家 輝雄

シリーズ クラブを訪ねて.....9

「お接待」がキーワード 水郷のまちで郷土の文化を守る

延岡東RC・第2730地区

文・岩田 一平 写真・熊谷 武二

友愛の広場.....13

庄原こどもミュージカル 庄原 児玉 節

光る職業奉仕 漁業に貢献 根室西 倉又 良春

カンボジア医療支援活動レポート 豊中千里 五條 房己

あらためて心から願う世界平和 熊野 濱田 直美

報恩の国際奉仕 長崎東 三浦 達美

ふるさとの偉人 八田與一氏の足跡を訪ねて 平塚北 佐々木重輝

台北滬尾RC姉妹締結更新訪問 津島 寺島 淳一

『ロータリーの友』がつなぐ縁 出雲 石原 一徳

●わがまちの味

卓話の泉.....18

コーチング ジョー・ナバーロ

モバイルネットワークの進化 大阪梅田 岸鶴 浩司

米山梅吉の一冊.....18

ロータリー俳壇 ◆長谷川 權 選.....20

ロータリー歌壇 ◆馬場あき子 選.....20

ロータリー柳壇 ◆てじま晩秋 選.....20

ロータリー・アット・ワーク.....22

高校生が市政を問う

「高校生市議会」を開催

伊万里西ロータリークラブ

〈写真〉大阪柏原／大江／東京日本橋東／桐生西／

東京渋谷／普通寺／近江八幡／東海那珂



盛岡の歴史解説本を寄贈 会員の遺作を青少年へ

米子市の宝・米子城跡を知り守りつなぐ！ 米子東

子ども歌舞伎を支援し伝統文化と民俗遺産の継承 上郡佐用

樹齢六〇〇年シダレザクラ再生プロジェクト実施 行田さくら

二つのアニバーサリー五〇・二〇〇 入間

ロータリーを発信 第二回ロータリーフェスタ 第二七七〇地区

秋田いのちの電話に協力し街頭募金 秋田北

秋の写生会 堺

ウオーキング&ゲームラリー大会を支援 佐世保北

カンボジアの子どもたちへ中古自転車四〇〇台寄贈 浜松西

カンボジア学童支援 大阪帝塚山

留学生とのベンチ製作 国際交流プロジェクト 鳥取

表紙 横組み ◎ Monika Lozinska / Rotary International

縦組み ◎ Alyce Henson / Rotary International・平塚湘南RC

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。

●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



©Monika Lozinska / Rotary International

Rotary



THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

3

2017
MARCH
VOL.65 NO.3



SPEECH

地方創生～ひと・まち・しごと

濱家 輝雄

クラブを訪ねて

延岡東ロータリークラブ

Rotary

